ライオン誌12月号 2007年（平成19年）11月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第50巻第6号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

December 2007

12

THEME I テグ・フォーラム

THEME II ライオンズクラブ統計

ふるさと探訪 長野県伊那

第50巻第6号

「革の宝石」と称されるオーストリッチを紳士のために。

②バッグ（ブラック）

①3点セット
（バッグ、長札財布、名刺入れ）
※3点セットはすべてブラックとなります。

②バッグ（ブラウン）

名刺入れ
※名刺入れはハーフポイントとなります。

③長札財布

フルポイントとよばれる突起模様が全面に入った最上級オーストリッチ。ゴージャスな気分も満喫できます。

最高級のオーストリッチを贅沢に使ったワンランク上の革製品。

最高級皮革のオーストリッチ。なかでもフルポイントといわれ、クイル（突起模様）が全面に入った革は最上級とされています。バッグは全面に突起模様が揃った上質品。クラッチバッグとしてお使いいただけるサイズでありながら、A5の本が入る余裕の収納力が魅力です。長財布も裏・中面とも突起模様のあるオーストリッチを使用しています。

手提げ部分もオーストリッチを使用。クラッチバッグとしても使えるお手軽なサイズです。

A5サイズの書類や雑誌が楽々に入るマチ幅が、ビジネスシーンにはうってつけ。

ファスナー式の携帯電話入れ。携帯もバッグに入れれば、スタイリッシュな着こなしが可能。

前面のフラップポケットは取り出しやすい構造で、メモなどの収納に最適。

②バッグ（ブラウン）

内側までオーストリッチの革を使用。使うほどに満足感が上がります。

200枚の札を収納可能です。セレブな方にお薦め。

カード用ポケットも多くつき、実用性にも優れています。

③長札財布

オーストリッチ革フルポイント
バッグ＆財布＆名刺入れ

タイプ	税込価格（本体価格）	商品番号
①3点セット（ブラック）	39,800円（37,905円）	00118-114948-01
②フルポイントバッグ	26,800円（25,524円）	00118-114947-01（ブラック）-02（ブラウン）
③長札財布（ブラック）	16,590円（15,800円）	00118-115161-01

税込送料　共通 ♣470円

〈サイズ（約）〉バッグ：縦16×横26.5×マチ9.8cm、長財布：縦9.3×横18.5cm、名刺入れ：縦7×横10.5cm〈素材〉オーストリッチ革、他〈仕様〉バッグ：開口部Wファスナー、携帯入れ×1、かぶせポケット×1、後ファスナーポケット×1、中ファスナーポケット×1、オープンポケット×1、長財布：札入れ×1、カード入れ×11、ファスナー式小銭入れ×1、オープンポケット×3（内側×3）　※中国製

ご注文は通話料無料のフリーダイヤルで。

0120-22-2500

年中無休　9時から21時まで受付 ※お電話はおまちがいなく。

ご注文は、ファックスおよび郵便ハガキにても承ります。
記入事項●商品番号●商品名（タイプ）●支払い方法（代引き・カード・一括）●氏名（フリガナ）●住所●生年月日●年齢●電話番号●勤務先名●勤務先電話番号●ご覧の雑誌名
FAX／0120-25-7750（24時間受付）
ハガキ／〒270-8625 千葉県松戸北局私書箱29号　二光（株）118係宛
●ご注文以外のお問い合わせは、お客様サービス係へ（日・祝日除く、朝9時～夕5時30分）
0120-25-9902（携帯電話・IP電話・PHSからの場合 04-7172-9900）

●商品のお届けは、お申込み受付後7～10日前後（ご注文の集中等により、商品のお届けが遅れる場合がございます。）●お支払いは、①代金引換払い②クレジットカード払い（お申し込み時にカード名、番号、名義人、有効期限、お支払い方法をお知らせください。）③商品お届け後の現金一括払い　※コンビニエンスストア・郵便局で。（手数料無料）〔信用情報機関への登録と利用の同意について〕申込者は後払いに係る取引上の判断にあたり、当社が加盟する信用情報機関（株式会社シー・アイ・シー）に照会・登録することに同意するものとします。※当社規定により、お支払い方法を変更させて頂く場合もございます。※一括後払いの場合は、生年月日をお伺いさせて頂きますので、ご了承ください。※携帯電話・PHS等でのご注文は、代金引換払いのみになります。●送料／♣印：何点でも一律470円（税込）となります。●万一、商品が異なったり、破損等があった場合は交換いたします。●お客様のご都合で返品される場合は到着後8日以内（返送料お客様ご負担）●印刷の為、商品の色調は現品と多少の違いがある場合もございますので、予めご了承ください。■当社の個人情報に関する基本方針についてはホームページ http://www.nicoh.co.jp/ をご覧ください。※当社では、商品のご注文やカタログのご請求をいただいたお客様に、西友及びグループ各社をはじめ当社の審査を経た企業の情報をご案内させて頂くことがございます。

広告有効期限／2008年2月末日

（社）日本通信販売協会会員 JADMA

二光株式会社
〒270-8625 千葉県柏市青葉台2-26-63-0118

We Serve

CONTENTS

THEME I

韓国・テグ／2007年10月12日～15日

胸の光を結集し 第46回OSEALフォーラム開催

開会式を彩ったパレード。地元韓国は趣向を凝らした衣装や演出で華を添えた（写真右）フォーラム開会を力強く宣言するキージュン・ウー・フォーラム組織委員長（写真左）主賓のハン・ドクス国務総理とマヘンドラ・アマラスリヤ国際会長夫妻

2007年10月12日～15日、韓国第3の都市・テグで、第46回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムが開催された。フォーラム・テーマは「LIGHT（光）」。民族と人種を超え尊重し合ってすべての人類に光明を、また視力ファーストを通じて暗闇を照らしライオンズの未来を約束する光となろうという意味が込められている。

韓国は世界第4位の会員を擁し、日本と共にOSEALをリードするライオンズ大国。今回は2万4千人を上回る参加者を得て、歴史に残るフォーラムとなった。

会期中は秋の陽が眩しい程の好天に恵まれ暖かな日が続いた。路上や店頭にはテグ特産のりんごの山、松茸やオレンジ色の大きなカボチャが並び実りの季節を演出する。

開会式は2002年に日韓共催のサッカー・ワールドカップの会場となった韓国最大の競技場、テグ・ワールドカップ競技場で開催された。会場では朝からさまざまなブースがオープン。フードフェスティバルでは唐辛子をふんだんに使った赤い料理が熱気をあおり、スタジアムでは式前行事の伝統的な太鼓やアリランの演奏、兵隊による隊列行進とアクロバティックな銃使いなどがお祭りムードを盛り上げる。6万5千人を収容する大会場の半面を使用した観客席は参加者で埋め尽くされ、定刻の13時30分、開会

三つのセミナー（写真上）には日本の参加者の姿も多く、「チーム20K」では谷野徹、後藤隆一両国際理事、「元地区ガバナーのリーダーシップ」では山田實紘元国際理事、「CSFⅡ」では福井正憲アポインティー、伏見龍元国際理事がスピーカーを務めた。

ジャパン・レセプションでアルバート・ブランデル第1副会長の激励を受ける杉本候補（写真左）

式がスタートした。

今年のフォーラムでは、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長のテーマ「変化への挑戦」を受け、フォーラム委員会による挑戦的な試みが成されていた。その一つが開会式での各議長のあいさつ。前日に録画したメッセージ・ビデオが開会前から大型ビジョンで上映されていた。冗長になりがちなあいさつをコンパクトにかつ印象的に見せ、途中退場者を減らすのが狙いだ。

各国代表団の入場はパレード形式で行われ、韓国の代表団には民族衣装やユニークな扮装のにぎにぎしい行進が続いた。韓国のハン・ドクス国務総理、ボムイル・キム・テグ市長の歓迎のあいさつに続いて、アマラスリヤ国際会長がOSEAL地域の会員増強の伸びと、CSFⅡにおいては世界全体の半分近くを占める貢献であることに謝辞を述べ、フォーラムの成功を祈念した。最後はテグ市内で開催されているシティー・フェスティバル、カラフル・テグにちなんだファッション・ショーで締めくくり。

フォーラム3日目は三つのセミナー（チーム20K、元地区ガバナーのためのリーダーシップ、CSFⅡ）が開催された。いずれも200人前後が参加する盛況ぶり。ライオンズの前進に寄与するために各国が問題点を出し合いアイデアを共有した。例えば日本ライオンズはOSEALで最多の会員を有するが毎年の減少に歯止め

閉会式で抱負を述べる3人の国際理事候補者。右からライオンクワンスー・チャン（韓国）、ライオン杉本忠夫（日本）、OSEAL地域初の女性候補ライオンエリス・オスマー・スリヤティ（マレーシア）

が掛からない。会員増強においては、日本に次ぐ会員数の韓国及び第3位の台湾の力強い前進に学ぶ点が多い。一方、CSFⅡでは比類ない組織力の強さを誇り世界に手本を示す。

夜はジャパン・レセプションが開催され、2009～11年国際理事に立候補しているライオン杉本忠夫（北海道・札幌ライラック・ライオンズクラブ）に現職国際理事らから激励が送られた。アマラスリヤ国際会長、ロス前会長らも応援に駆けつけた。杉本候補は「国際理事になりましたら、重松、後藤理事らと共に和をもって、OSEAL地域及びライオンズ国際協会のために力を尽くしたい」と力強く語った。

最終日、この盛大なイベントの最後を飾る閉会式に700人のライオンが集った。今回のフォーラムの特徴は教育的で充実したセミナーが催されたこと。そして大変多くの参加者を得たこと。キージュン・ウー・フォーラム委員長から登録者総数が2万4020人（日本3285人）に上ったことが発表されると大きな拍手が起こった。フォーラム決議委員会からはライオン杉本を含む3人の国際理事候補者の推薦や、次回のフォーラム日程（香港／2008年12月4日～7日）など決議事項が報告された。

第47回OSEALフォーラム開催地、香港にフォーラム旗が譲り渡され、韓国・テグでの「光」に満ちた4日間が終了した。

THEME Ⅱ

2006・07年度 ライオンズクラブ統計

世界のライオンズ分布図

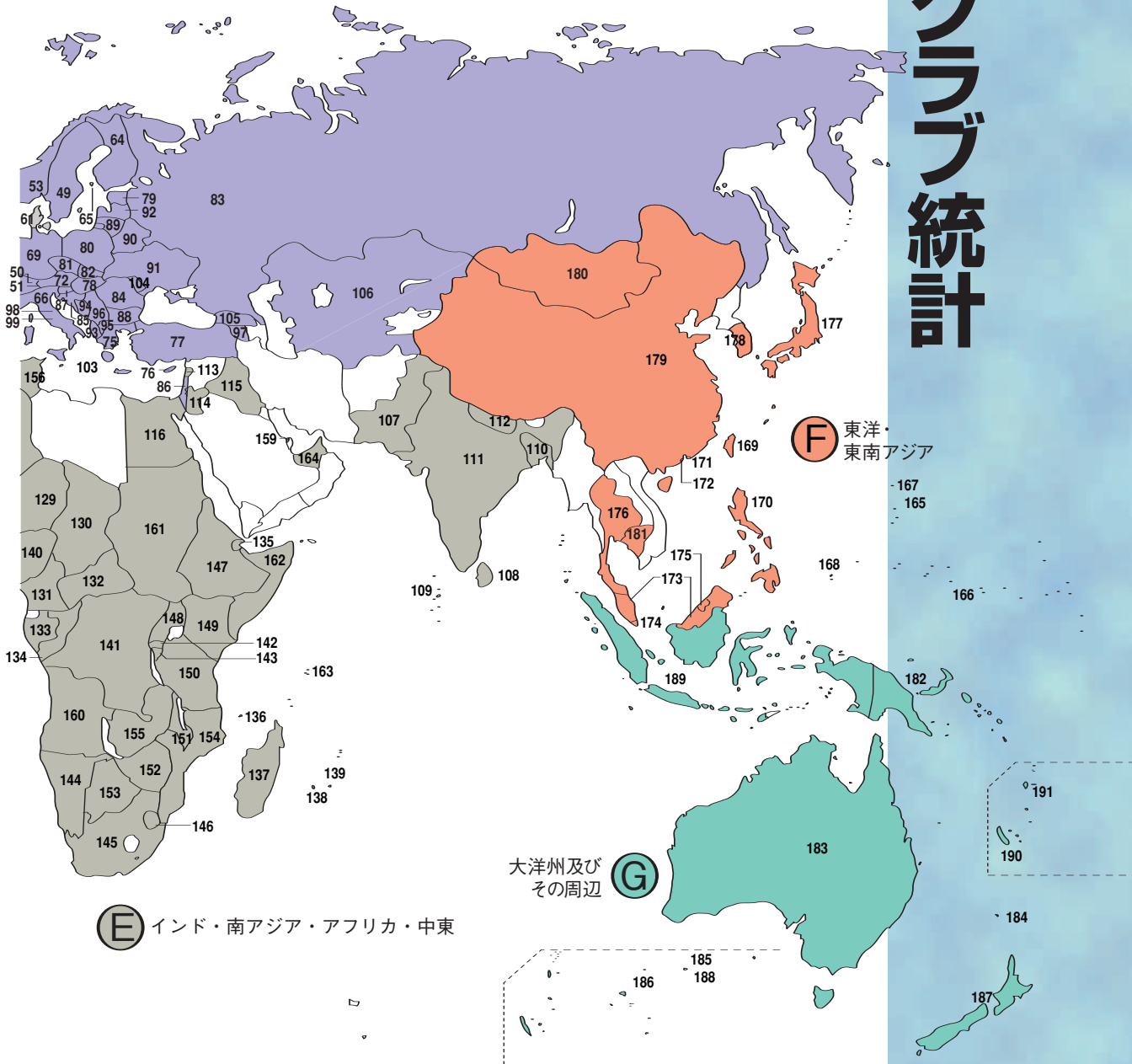
［2007年6月30日現在］国際本部集計

昨年度末の世界のライオンズは約4万5千クラブ、129万人

2007年6月末の世界のライオンズクラブは200の国及び地域

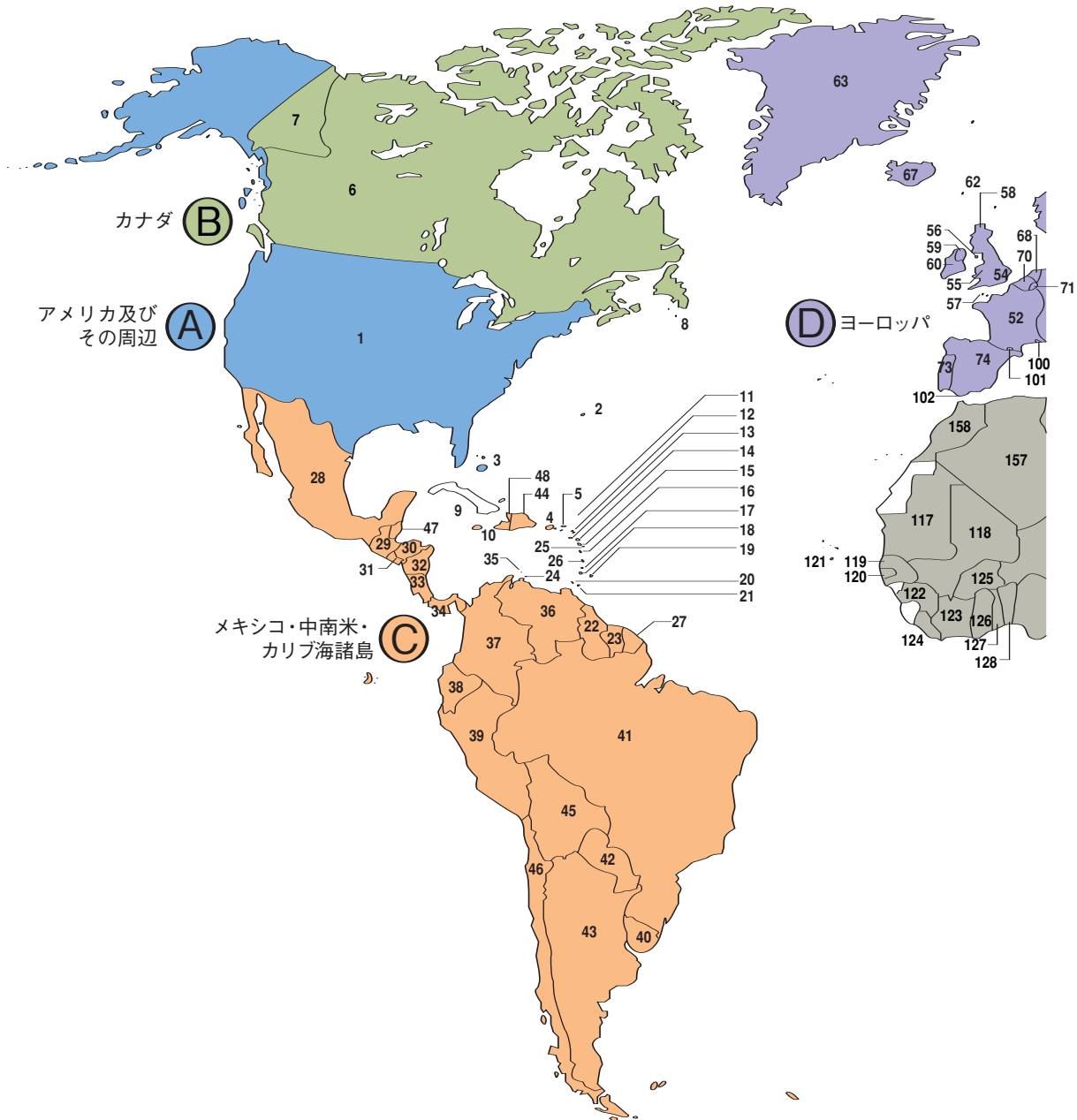
E　インド・南アジア・アフリカ・中東

F　東洋・東南アジア

G　大洋州及びその周辺

に4万4920クラブ、会員129万0003人だった。06年度にはライオンズ国の増減はなかった。昨年度は新たに約1222クラブが結成され、1276クラブが解散した。会員は16万5697人の入会に対し、17万8719人が退会し、年間で1万3022人減となった。七つの会則地域別の会員数は、インド・南アジア・アフリカ・中東地域のみが6378人もの大幅純増。残る6地域は軒並み減少し、特にアメリカ及びその周辺では1万1345人を減らした。

東洋・東南アジア地域は2597人の純減だったが、これには日本の4千人強の減少が大きく響いている。同地域内会員数2位の韓国は1742人、3位台湾が514人の純増。首位の日本を追う。

主要10カ国ではインド、韓国、ドイツ、台湾が会員数純増。特に韓国とドイツはこの10年間でプラス30％の躍進を遂げている。

次ページに掲載した「世界のライオンズ国一覧」の中で、国名の前にある番号は本地図の番号と対応しているので、比べて見て頂きたい。

	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
58	スコットランド（英）	105	21	345	1952
59	北アイルランド（英）	105	21	371	1958
60	アイルランド	105	96	2,372	1955
61	デンマーク	106	305	6,960	1950
62	フェロー諸島（デ）	106	5	141	1966
63	グリーンランド（デ）	106	5	89	1988
64	フィンランド	107	948	26,346	1950
65	オーランド島（フィ）	107	5	183	1955
66	イタリア	108	1,289	49,961	1951
67	アイスランド	109	86	2,155	1951
68	オランダ	110	408	11,580	1951
69	ドイツ	111	1,379	45,986	1951
70	ベルギー	112	276	7,521	1952
71	ルクセンブルク	113	21	864	1953
72	オーストリア	114	222	7,359	1952
73	ポルトガル	115	110	2,932	1953
74	スペイン	116	102	2,611	1964
75	ギリシャ	117	78	2,010	1954
76	キプロス	117/未	34	1,226	1954
77	トルコ	118	354	8,149	1963
78	ハンガリー	119	54	1,056	1989
79	エストニア	120	53	1,197	1989
80	ポーランド	121	55	1,176	1989
81	チェコ	122	24	581	1990
82	スロバキア	122	18	396	1990
83	ロシア	123/未	26	458	1990
84	ルーマニア	124	46	1134	1990
85	クロアチア	126	58	1,469	1990
86	イスラエル	128	31	901	1960
87	スロベニア	129	46	1,359	1990
88	ブルガリア	130	27	587	1992
89	リトアニア	131	24	545	1990
90	ベラルーシ	未	7	150	1990
91	ウクライナ	未	5	122	1991
92	ラトビア	未	5	93	1991
93	アルバニア	未	6	115	1993
94	ボスニア・ヘルツェゴビナ	未	5	135	1996
95	マケドニア	未	15	370	1996
96	セルビア・モンテネグロ	未	2	43	1990
97	アルメニア	未	3	63	2000
98	サンマリノ	未	1	41	1959
99	バチカン	未	0	0	2003
100	モナコ	未	2	71	1961
101	アンドラ	未	1	42	1985
102	ジブラルタル（英）	未	1	26	1977
103	マルタ	未	5	179	1958
104	モルドバ	未	6	153	2002
105	グルジア	未	1	21	2003
106	カザフスタン	未	2	50	2005

E インド·南アジア·アフリカ·中東

	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			7,296	192,104	
107	パキスタン	305	355	6,210	1956
108	スリランカ	306	422	11,750	1958
109	モルディブ	306	1	22	2005
110	バングラデシュ	315	420	8,712	1958
111	インド	321～324	4,868	138,929	1956
112	ネパール	325	228	5,281	1971
113	レバノン	351	80	1,538	1952
114	ヨルダン	351	10	226	1953
115	イラク	351	1	21	2006
116	エジプト	352	36	748	1976
117	モーリタニア	403	3	77	1975
118	マリ	403	6	142	1957
119	セネガル	403	6	142	1955
120	ガンビア	403	0	0	2003
121	カボベルデ	403	2	45	1998
122	ギニア	403	5	95	1986
123	コートジボアール	403	15	391	1954
124	リベリア	403	1	41	2002
125	ブルキナファソ	403	14	431	1958
126	ガーナ	403	12	274	1982
127	トーゴ	403	9	222	1957
128	ベニン	403	20	628	1981
129	ニジェール	403	5	159	1960
130	チャド	403	3	50	1956
131	カメルーン	403	14	317	1955
132	中央アフリカ	403	3	58	1955
133	ガボン	403	8	172	1957
134	コンゴ人民共和国	403	29	651	1954
135	ジブチ	403	1	43	1966
136	マヨッテ	403	2	57	1981
137	マダガスカル	403	20	452	1956
138	レユニオン（仏）	403	5	119	1958
139	モーリシャス	403	6	167	1967
140	ナイジェリア	404	129	2,787	1964
141	コンゴ民主共和国	409	10	252	1957
142	ルワンダ	409	1	27	1959
143	ブルンジ	409	2	57	1957
144	ナミビア	410	10	184	1958
145	南アフリカ	410	157	2,538	1957
146	スワジランド	410	1	14	1979
147	エチオピア	411	6	174	1966
148	ウガンダ	411	45	1,047	1959
149	ケニア	411	69	1,503	1958
150	タンザニア	411	22	534	1963
151	マラウイ	412	18	472	1960
152	ジンバブエ	412	32	602	1959
153	ボツワナ	412	17	357	1968
154	モザンビーク	412	1	25	1993
155	ザンビア	413	58	1,303	1961
156	チュニジア	414	35	700	1968
157	アルジェリア	415	28	463	1953
158	モロッコ	416	37	731	1953
159	バーレーン	未	3	65	1978
160	アンゴラ	未	1	20	2000
161	スーダン	未	1	20	2005
162	ソマリア	未	1	25	2005
163	セイシェル	未	1	30	2006
164	アラブ首長国連邦	未	1	4	2006

F 東洋·東南アジア

	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			7,432	258,566	
165	グアム（米）	204	16	401	1949
166	ミクロネシア	204	1	11	1990
167	サイパン（米）	204	2	41	1991
168	パラオ	204	0	0	1996
169	中華民国［台湾］	300	976	32,039	1953
170	フィリピン	301	338	9,585	1949
171	香港（中）	303	60	1,333	1955
172	マカオ（中）	303	2	40	1971
173	マレーシア	308	241	6,438	1959
174	シンガポール	308	69	1,656	1958
175	ブルネイ	308	2	34	1970
176	タイ	310	295	8,348	1959
177	日本	330～337	3,386	114,868	1952
178	韓国	354/355	1,954	81,571	1959
179	中国	380/381/未	81	2002	2002
180	モンゴル	未	6	140	1993
181	カンボジア	未	3	59	1996

G 大洋州及びその周辺

	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			1,897	43,361	
182	パプアニューギニア	201	1	8	1962
183	オーストラリア	201	1,276	27,264	1947
184	ノーフォーク島（豪）	201	2	34	1964
185	西サモア	202	1	18	1965
186	フィジー	202	5	61	1963
187	ニュージーランド	202	428	11,250	1955
188	米領サモア（米）	202	1	35	1982
189	インドネシア	307	166	4,297	1969
190	ニューカレドニア（仏）	未	13	294	1961
191	バヌアツ	未	1	8	1978
192	タヒチ（仏）	未	2	60	1960
193	東ティモール	未	1	32	2003

本表は国際本部集計を基に作成したものです。クラブ数、会員数が0の場合も含め、ライオンズの国及び地理的領域を200と公式に発表しています。が、集計表には193の国及び領域のみの記載しかなく、その他7カ国は不明です。
※1米領バージン諸島＝クラブ数7、会員数185

●国名及び領域名は『世界の国一覧表』（外務省外務報道官編集）を参考にしました。

略号：未:地区未編成　(蘭)オランダ　(デ)デンマーク
(米)アメリカ　(豪)オーストラリア　(フィ)フィンランド
(英)イギリス　(カ)カナダ　(仏)フランス　(中)中国

ライオンズ国一覧

本表は世界のライオンズ国または地理的領域の地区番号、並びにクラブ数、会員数とその結成年の一覧である。2007年6月30日現在、国際協会は200の国及び地理的領域に44,920クラブ、1,290,003人の会員を数える。

また七つの地域別にクラブ数と会員数を表示した。

なお、国及び領域名の前の番号は、前ページの地図上の数字と合致する。

A アメリカ及びその周辺

	国または地理的領域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			13,083	391,488	
1	アメリカ	1〜50	12,952	386,804	1917
	イリノイ州	1	588	18,748	1917
	テキサス州	2	939	28,731	1917
	オクラホマ州	3	212	5,833	1917
	カリフォルニア州	4/21/36/46	776	22,784	1917
	ネバダ州	46	46	1,408	1920
	ミネソタ州	5M	578	21,169	1918
	ノースダコタ州	5	114	3,293	1921
	サウスダコタ州	5	89	2,643	1921
	コロラド州	6	160	4,423	1917
	アーカンソー州	7	166	4,395	1917
	ルイジアナ州	8	190	5,615	1917
	アイオワ州	9	360	10,527	1920
	ミシガン州	10/11	510	15,113	1919
	テネシー州	12	211	5,812	1917
	オハイオ州	13	474	14,354	1920
	ペンシルベニア州	14	816	25,175	1920
	ワイオミング州	15	56	1,451	1920
	ニュージャージー州	16	234	6,446	1920
	カンザス州	17	305	7,565	1919
	ジョージア州	18	248	6,850	1920
	ワシントン州	19	248	8,357	1920
	アイダホ州	19/39	102	2,701	1923
	ニューヨーク州	20	564	16,865	1921
	アリゾナ州	21/40	138	3,721	1923
	メリーランド州	22	192	6,435	1921
	コロンビア特別区	22	7	169	1921
	デラウェア州	22	37	1,409	1922
	コネチカット州	23	156	5759	1921
	バージニア州	24	307	9,097	1921
	インディアナ州	25	433	13,184	1920
	ミズーリ州	26	418	11,742	1917
	ウィスコンシン州	27	571	20,531	1921
	ユタ州	28	79	1,683	1921
	ウエストバージニア州	29	198	5,009	1921
	ミシシッピ州	30	138	3,481	1921
	ノースカロライナ州	31	376	8,936	1922
	サウスカロライナ州	32	160	4,655	1922
	マサチューセッツ州	33	242	8,248	1922
	アラバマ州	34	157	4,156	1922
	フロリダ州	35	291	7,355	1922
	オレゴン州	36/39	181	4,993	1921
	モンタナ州	37	80	2,121	1921
	ネブラスカ州	38	154	4,131	1920
	ニューメキシコ州	40	65	1,493	1923
	メーン州	41	86	2,697	1923
	ロードアイランド州	42	34	1,382	1922
	ケンタッキー州	43	204	6,054	1920
	ニューハンプシャー州	44	88	2,557	1923
	バーモント州	45	44	1,356	1924
	アラスカ州	49	69	2,497	1944
	ハワイ州	50	61	1,695	1926
2	バーミューダ諸島（英）	20	5	152	1946
3	バハマ	35/未	2	45	1953
4	プエルトリコ	51	123	4,468	1936
5	米領バージン諸島（米）※1	51(/60)	1	19	1966

B カナダ

		地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			1,714	40,468	
6	カナダ	5M/5/19/37/41/49/A/U	1,712	40,420	1920
	オンタリオ州	5M/A/U	565	14,391	1920
	マニトバ州	5M	85	1,738	1921
	サスカチワン州	5	171	3,933	1928
	ブリティッシュ·コロンビア州	19/37/49	228	5,201	1921
	アルバータ州	37	213	4,574	1929
	ノースウエスト·テリトリーズ	37/49	2	19	1951
	ニューブラウンズウィック	41	61	1,372	1938
	プリンスエドワード島	41	26	492	1952
	ノバスコシア州	41	69	1,842	1945
	ニューファウンドランド州	41	93	2,178	1948
	ケベック州	A/U	192	4,549	1922
7	ユーコン・テリトリー（カ）	49	7	131	1951
8	サンピエール・ミクロン諸島	U	2	48	1953

C メキシコ·中南米·カリブ海諸島

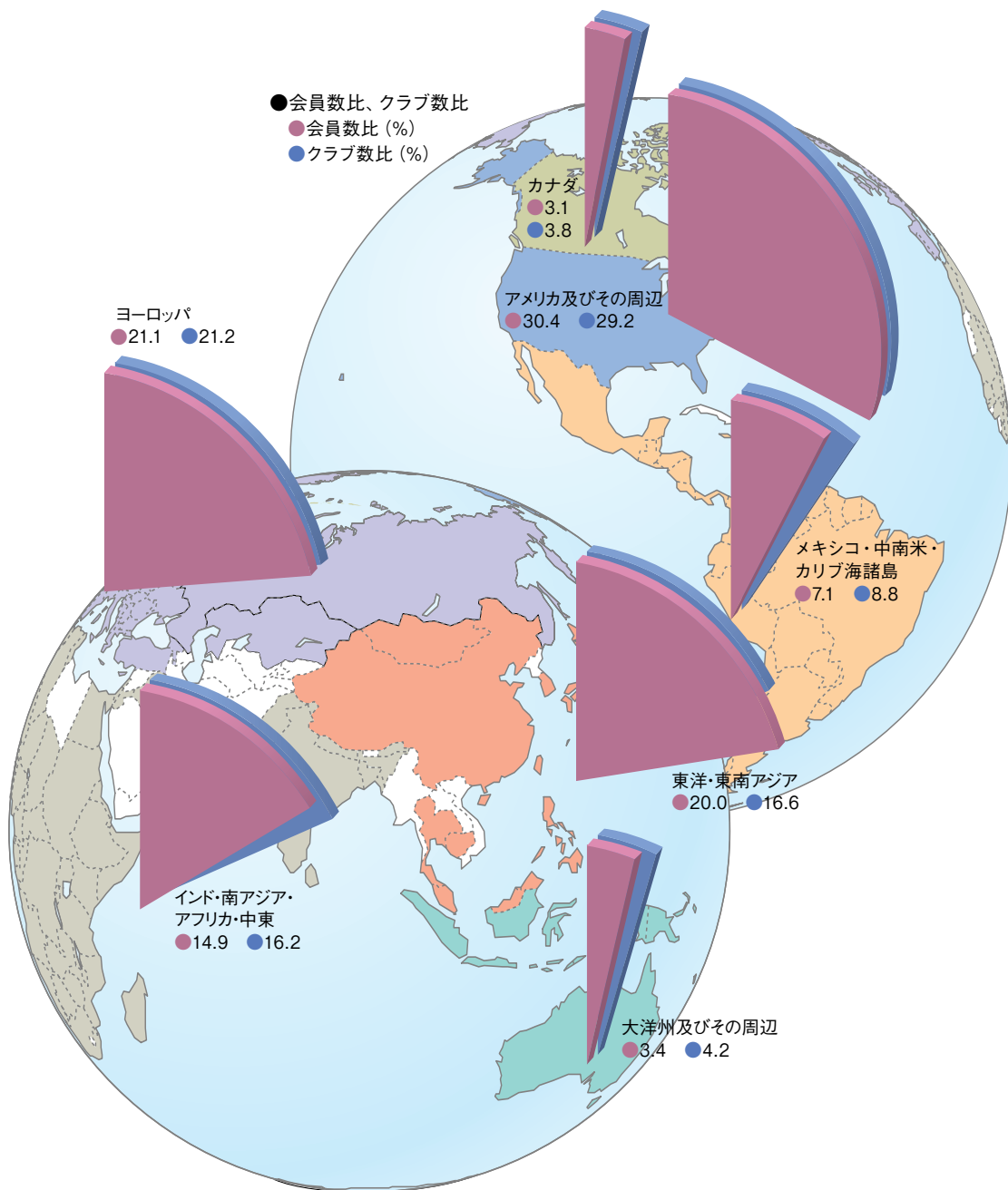
		地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			3,972	92,212	
5	米領バージン諸島（米）※2	60(/51)	6	166	1966
9	ケイマン諸島	60	3	174	1972
10	ジャマイカ	60	25	746	1965
11	アンギラ	60	1	17	1979
12	英領バージン諸島（英）	60	2	64	1972
13	セントクリストファー・ネイビス	60	2	68	1971
14	アンチグア・バーブーダ	60	1	54	1968
15	モントセラト（英）	60	1	23	1985
16	ドミニカ（英）	60	2	37	1968
17	セントルシア	60	5	101	1967
18	セントビンセント（英）	60	3	65	1964
19	バルバドス	60	8	262	1961
20	グレナダ（英）	60	2	50	1965
21	トリニダード・トバゴ	60	28	732	1962
22	ガイアナ	60	19	458	1960
23	スリナム	60	13	367	1957
24	蘭領アンチル（蘭）	60/E	5	208	1946
25	グアドループ島（仏）	63	12	247	1969
26	マルチニーク島（仏）	63	9	196	1967
27	仏領ギアナ（仏）	63	8	241	1970
28	メキシコ	B	464	11,490	1931
29	グアテマラ	D	31	771	1941
30	ホンジュラス	D	32	932	1942
31	エルサルバドル	D	29	992	1942
32	ニカラグア	D	18	458	1942
33	コスタリカ	D	59	1,543	1944
34	パナマ	D	53	1,237	1935
35	アルバ（蘭）	E	1	68	1947
36	ベネズエラ	E	131	3,391	1943
37	コロンビア	F	237	4,451	1945
38	エクアドル	G	86	2,467	1946
39	ペルー	H	229	5,036	1944
40	ウルグアイ	J	127	2,607	1951
41	ブラジル	L	1,587	37,625	1952
42	パラグアイ	M	71	1,830	1952
43	アルゼンチン	O	278	5,057	1954
44	ドミニカ共和国	R	128	3,621	1964
45	ボリビア	S	57	1,118	1948
46	チリ	T	192	3,031	1948
47	ベリーズ	未	4	142	1973
48	ハイチ	未	3	69	1982

D ヨーロッパ

		地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			9,526	271,804	
49	スウェーデン	101	515	13,616	1948
50	スイス	102	230	8,912	1948
51	リヒテンシュタイン	102	1	50	1953
52	フランス	103	1,245	29,954	1948
53	ノルウェー	104	504	12,963	1949
54	イングランド（英）	105	690	13,696	1949
55	ウェールズ（英）	105	43	786	1963
56	マン島（英）	105	2	61	1968
57	チャネル諸島（英）	105	2	72	1963

統計I 世界のライオンズ

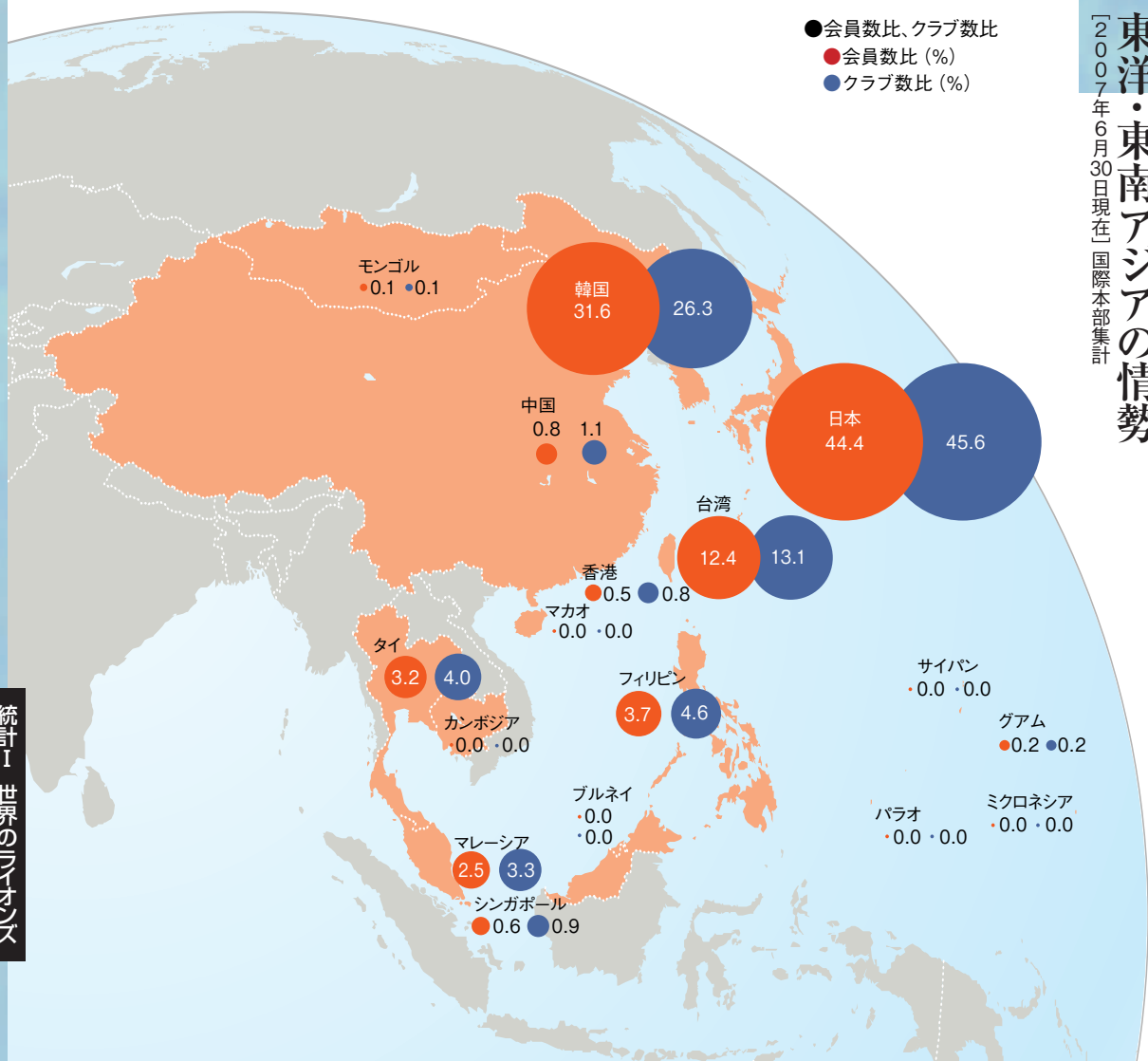
各地域の情勢

［2007年6月30日現在］国際本部集計

地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ及びその周辺	13,083	132	333	−201	29.2	391,488	42,265	53,610	−11,345	30.4
カナダ	1,714	12	46	−34	3.8	40,468	4,538	5,348	−810	3.1
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	3,972	82	149	−67	8.8	92,212	12,031	13,721	−1,690	7.1
ヨーロッパ	9,526	159	128	31	21.2	271,804	23,254	24,964	−1,710	21.1
インド・南アジア・アフリカ・中東	7,296	617	493	124	16.2	192,104	40,450	34,072	6,378	14.9
東洋・東南アジア	7,432	198	152	46	16.6	258,566	37,649	40,246	−2,597	20.0
大洋州及びその周辺	1,897	22	75	−53	4.2	43,361	5,510	6,758	−1,248	3.4
合計	44,920	1,222	1,376	−154	100.0	1,290,003	165,697	178,719	−13,022	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

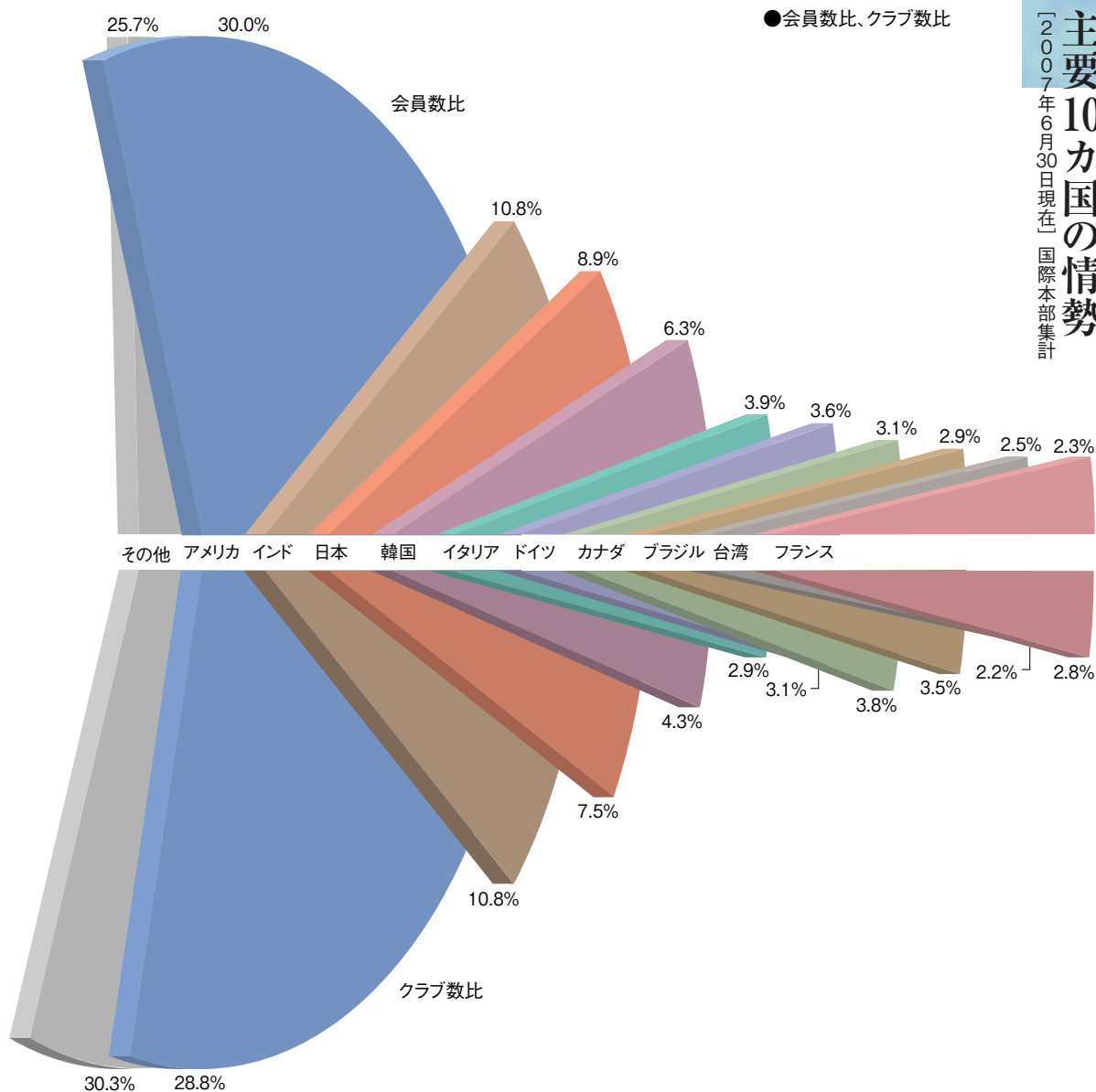
東洋・東南アジアの情勢

［2007年6月30日現在］国際本部集計

●会員数比、クラブ数比
●会員数比（％）
●クラブ数比（％）

地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
グアム	16	0	1	−1	0.2	401	43	76	−33	0.2
ミクロネシア	1	0	0	0	0.0	11	3	5	−2	0.0
サイパン	2	0	1	−1	0.0	41	4	13	−9	0.0
パラオ	0	0	1	−1	0.0	0	0	16	−16	0.0
台湾	976	37	18	19	13.1	32,039	6,619	6,105	514	12.4
フィリピン	338	20	27	−7	4.6	9,585	1,706	1,878	−172	3.7
香港	60	1	0	1	0.8	1,333	232	201	31	0.5
マカオ	2	0	0	0	0.0	40	3	1	2	0.0
マレーシア	241	11	3	8	3.3	6,438	1,005	719	286	2.5
シンガポール	69	0	3	−3	0.9	1,656	301	317	−16	0.6
ブルネイ	2	0	0	0	0.0	34	0	5	−5	0.0
タイ	295	5	19	−14	4.0	8,348	1,181	1,498	−317	3.2
日本	3,386	25	45	−20	45.6	114,868	9,585	13,884	−4,299	44.4
韓国	1,954	87	29	58	26.3	81,571	16,225	14,483	1,742	31.6
中国	81	12	5	7	1.1	2,002	739	1,032	−293	0.8
モンゴル	6	0	0	0	0.1	140	3	13	−10	0.1
カンボジア	3	0	0	0	0.0	59	0	0	0	0.0
合計	7,432	198	152	46	100.0	258,566	37,649	40,246	−2,597	100.0

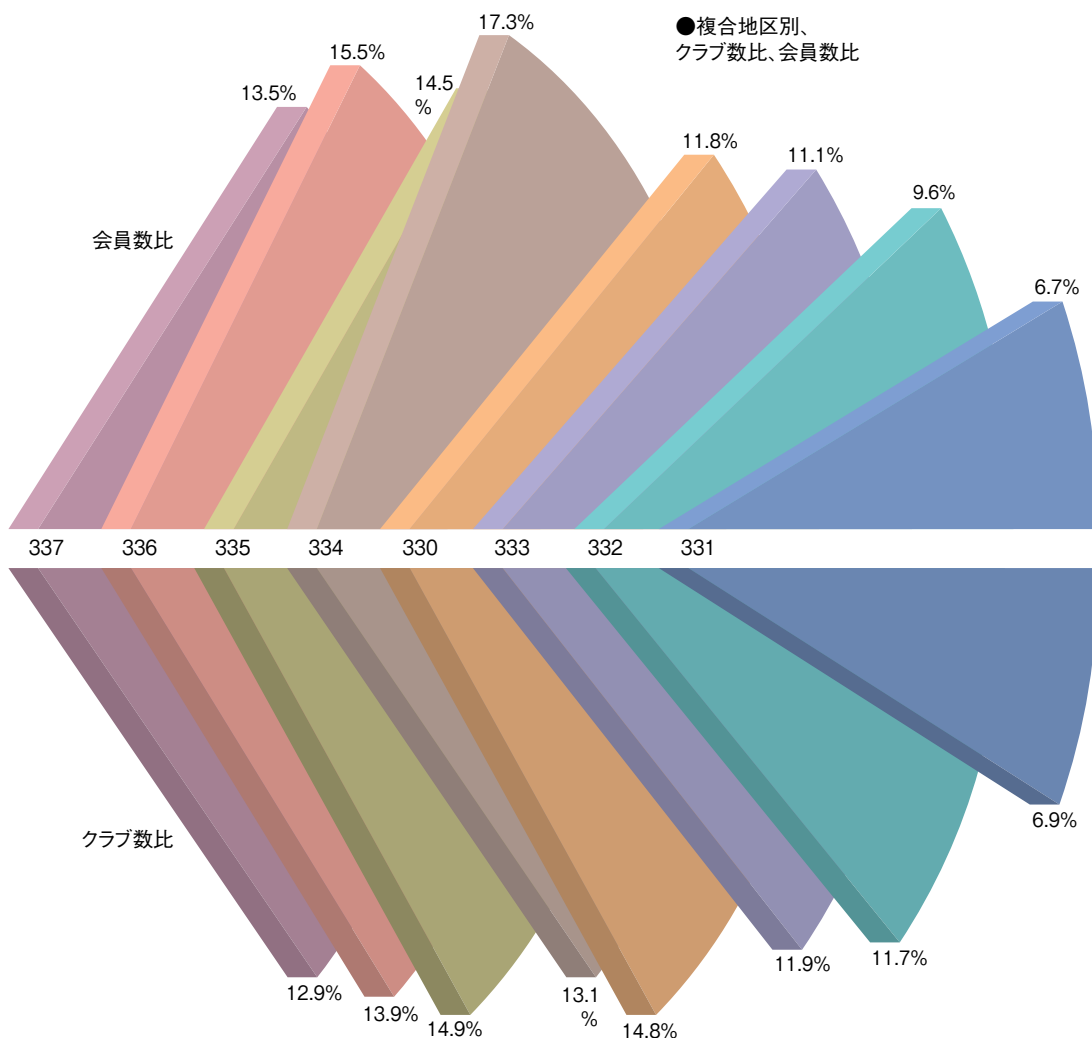
主要10カ国の情勢

［2007年6月30日現在］国際本部集計

●会員数比、クラブ数比

	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ	12,952	130	330	−200	28.8	386,804	41,849	52,914	−11,065	30.0
インド	4,868	325	346	−21	10.8	138,929	26,734	23,771	2,963	10.8
日本	3,386	25	45	−20	7.5	114,868	9,585	13,884	−4,299	8.9
韓国	1,954	87	29	58	4.3	81,571	16,225	14,483	1,742	6.3
イタリア	1,289	33	8	25	2.9	49,961	4,266	4,497	−231	3.9
ドイツ	1,379	22	1	21	3.1	45,986	4,281	3,819	462	3.6
カナダ	1,712	12	46	−34	3.8	40,420	4,537	5,346	−809	3.1
ブラジル	1,587	29	63	−34	3.5	37,625	5,126	5,646	−520	2.9
台湾	976	37	18	19	2.2	32,039	6,619	6,105	514	2.5
フランス	1,245	11	12	−1	2.8	29,954	2,416	2,926	−510	2.3
その他	13,572	511	478	33	30.3	331,846	44,059	45,328	−1,269	25.7
合計	44,920	1,222	1,376	−154	100.0	1,290,003	165,697	178,719	−13,022	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

［2007年6月30日現在］国際本部集計

複合地区	準地区	クラブ数 2007.6	会員数 2007.6	クラブ増減	会員増減
330	330-A	204	5,278	−3	−221
	330-B	192	5,483	−1	−206
	330-C	105	2,860	−2	−39
小計		501	13,621	−6	−466
331	331-A	79	2,761	2	−72
	331-B	95	2,878	−2	−188
	331-C	61	2,008	−1	−154
小計		235	7,647	−1	−414
332	332-A	68	2,033	−1	−80
	332-B	56	1,773	−1	−109
	332-C	83	1,687	0	−147
	332-D	77	2,173	−4	−121
	332-E	57	1,958	1	−54
	332-F	54	1,449	−2	−145
小計		395	11,073	−7	−656
333	333-A	80	2,971	1	−4
	333-B	136	4,193	−1	−129
	333-C	131	3,523	2	−71
	333-D	56	2,068	0	−119
小計		403	12,755	2	−323
334	334-A	118	5,835	0	−131
	334-B	87	3,995	−1	−113
	334-C	84	3,472	0	−77
	334-D	100	4,310	2	−48
	334-E	53	2,266	−2	−106
小計		442	19,878	−1	−475
335	335-A	106	2,864	−4	−185
	335-B	204	6,901	1	−317
	335-C	123	4,571	0	−172
	335-D	69	2,285	−1	−156
小計		502	16,621	−4	−830
336	336-A	156	6,363	0	−140
	336-B	101	3,688	−1	−210
	336-C	106	4,034	0	−93
	336-D	109	3,668	0	−185
小計		472	17,753	−1	−628
337	337-A	120	4,924	1	−108
	337-B	88	2,832	−2	−156
	337-C	85	3,253	1	−79
	337-D	143	4,511	−2	−164
小計		436	15,520	−2	−507
合計		3,386	114,868	−20	−4,299

2006-07年度会員数の推移

国際本部集計

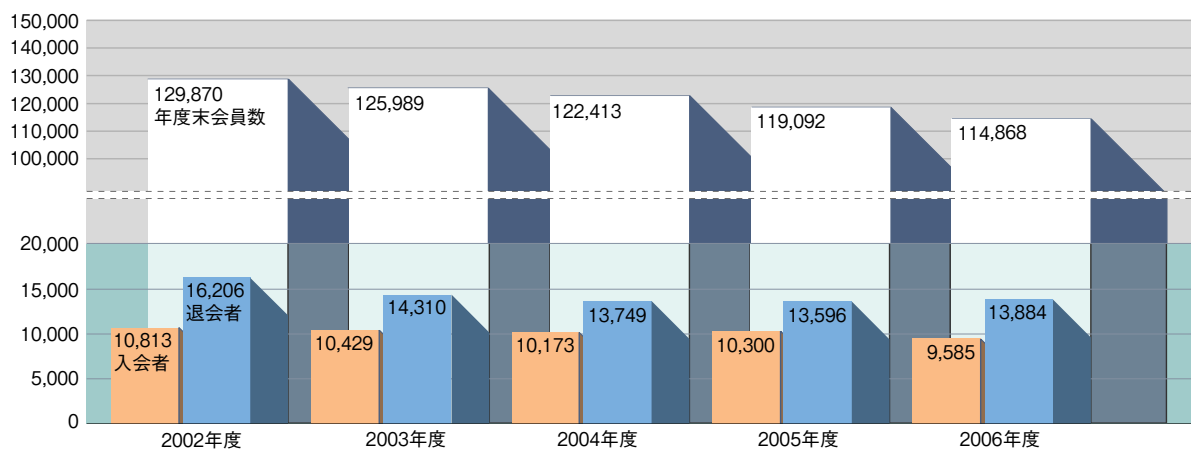
全地区で会員純減の厳しい結果

2006年度日本のライオンズは11万9092人でスタートし、年度末は11万4868人と、約4300人の純減。14年連続のマイナス成長となった。前期は7月～11月まで会員数が増加し続け、10、11月には一時12万人台に盛り返した。が、例年6月に次いで退会が多く出る12月に、退会者が入会者を902人上回り、期首から98人純減に。後期の1～5月は11万9千人台をキープしたが、6月に700人の入会に対し4993人が退会。期首から4299人純減、準地区別に見ても1件も純増なしという厳しい結果となった。

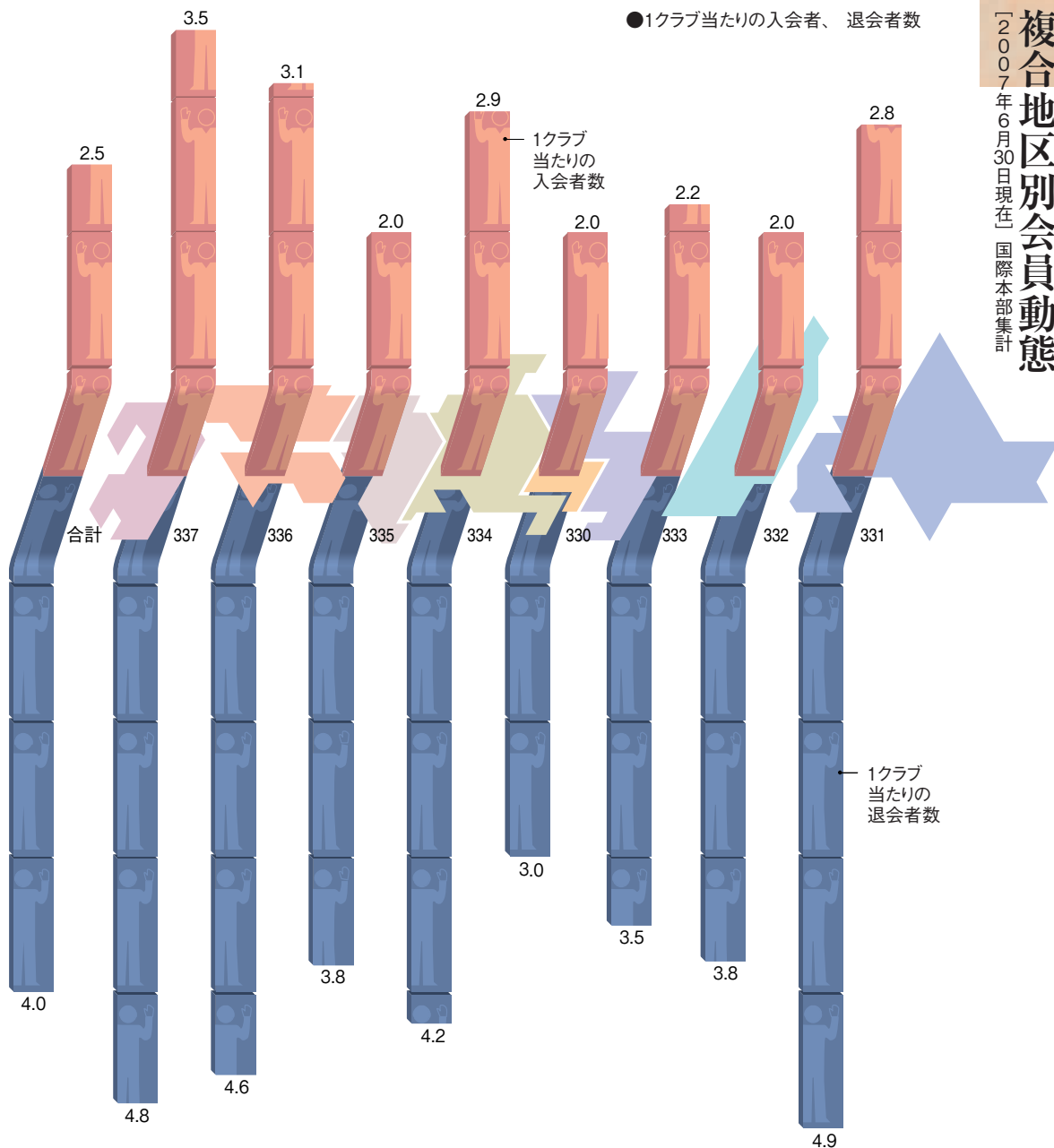
17ページの「年度末会員数と入退会比較」を見ると、06年度はこの5年間で初めて入会者が1万人割れとなり、過去3年は3千人台だった純減数が4千人台に上った。5年前の会員数と比べると1万5千人の減少である。会員増強の必要性は誰もが認識しており懸命に取り組んではいるが、結果に表れてくるには更なる努力が必要なようだ。

複合地区別に見ると、333、334複合地区で入会者が多く、336、337複合地区で会員減少率が低かった（18ページ参照）。

2007年1月			2007年2月			2007年3月			2007年4月			2007年5月			2007年6月			年間合計		
新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	増減
23	32	5,510	29	19	5,520	30	37	5,513	31	39	5,505	65	77	5,494	30	246	5,278	499	720	−221
22	30	5,726	20	18	5,728	37	44	5,721	22	29	5,714	31	57	5,688	27	232	5,483	430	636	−206
14	8	2,933	9	10	2,932	16	13	2,935	11	13	2,933	19	7	2,945	11	96	2,860	201	240	−39
62	61	2,822	21	20	2,823	79	48	2,854	36	31	2,859	46	43	2,862	25	126	2,761	411	483	−72
21	8	3,045	9	18	3,036	9	31	3,014	33	55	2,992	9	21	2,980	12	114	2,878	207	395	−188
18	18	2,139	10	6	2,143	9	38	2,114	12	13	2,113	7	29	2,092	6	90	2,008	146	300	−154
24	15	2,144	9	11	2,142	12	19	2,135	11	14	2,132	14	17	2,126	6	99	2,033	167	247	−80
11	38	1,850	5	5	1,850	25	10	1,865	12	21	1,856	7	15	1,845	5	77	1,773	142	251	−109
8	14	1,780	3	9	1,774	25	17	1,782	11	13	1,780	3	22	1,761	13	87	1,687	122	269	−147
34	25	2,282	16	11	2,287	11	14	2,284	8	9	2,283	7	31	2,262	8	97	2,173	188	309	−121
11	8	2,012	12	5	2,019	6	9	2,016	25	8	2,033	6	14	2,027	17	87	1,958	145	199	−54
3	13	1,567	4	7	1,564	7	3	1,568	2	8	1,562	3	11	1,553	3	107	1,449	84	229	−145
31	19	3,049	25	8	3,066	19	19	3,066	7	12	3,061	12	10	3,064	10	103	2,971	276	280	−4
42	43	4,288	22	15	4,295	67	27	4,335	27	20	4,342	21	37	4,330	23	160	4,193	346	475	−129
19	36	3,565	38	16	3,587	38	20	3,605	14	10	3,609	18	39	3,596	62	135	3,523	327	398	−71
15	18	2,164	23	7	2,180	6	21	2,165	10	18	2,157	6	14	2,148	7	87	2,068	151	270	−119
39	28	5,997	29	25	6,001	23	14	6,010	16	20	6,006	18	23	6,003	27	194	5,835	359	490	−131
25	26	4,127	10	8	4,129	25	17	4,137	18	13	4,142	14	27	4,130	10	148	3,995	249	362	−113
33	12	3,596	19	8	3,607	26	27	3,606	17	23	3,600	13	19	3,599	10	137	3,472	270	347	−77
29	24	4,417	19	18	4,418	43	18	4,443	45	18	4,470	19	17	4,472	8	170	4,310	354	402	−48
12	5	2,412	15	12	2,415	16	8	2,423	14	10	2,427	5	19	2,413	4	151	2,266	163	269	−106
14	12	3,023	14	11	3,026	15	12	3,029	15	8	3,036	4	22	3,027	25	188	2,864	200	385	−185
40	58	7,165	43	21	7,187	88	30	7,245	29	32	7,242	35	47	7,243	30	371	6,901	528	845	−317
28	24	4,741	27	20	4,748	20	28	4,740	8	23	4,725	15	22	4,715	11	155	4,571	284	456	−172
11	20	2,410	3	12	2,401	3	14	2,390	10	9	2,391	8	12	2,392	7	114	2,285	130	286	−156
60	31	6,565	34	51	6,548	38	80	6,506	68	57	6,517	40	28	6,529	84	252	6,363	663	803	−140
14	34	3,855	21	20	3,856	25	41	3,840	36	28	3,848	20	24	3,847	24	183	3,688	307	517	−210
38	29	4,194	16	18	4,192	11	18	4,185	22	25	4,182	13	21	4,173	18	157	4,034	290	383	−93
40	31	3,823	42	18	3,847	20	26	3,841	31	32	3,840	30	32	3,839	16	187	3,668	328	513	−185
49	23	5,074	54	24	5,104	32	23	5,113	24	29	5,108	21	30	5,099	36	211	4,924	487	595	−108
16	32	2,943	20	13	2,950	16	33	2,933	19	20	2,932	24	50	2,911	50	129	2,832	292	448	−156
18	38	3,314	34	25	3,323	34	26	3,331	24	22	3,333	31	28	3,341	42	130	3,253	373	452	−79
29	30	4,668	40	20	4,688	18	41	4,665	44	61	4,648	53	60	4,651	33	173	4,511	466	630	−164
853	843	119,200	695	509	119,386	849	826	119,409	712	743	119,378	637	925	119,157	700	4,993	114,868	9,585	13,884	−4,299

2002～2006年度　年度末会員数と入退会比較　国際本部集計

地区	2006年7月			2006年8月			2006年9月			2006年10月			2006年11月			2006年12月		
	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末
330-A	88	55	5,531	38	21	5,548	59	39	5,568	50	53	5,565	35	29	5,571	21	73	5,519
330-B	90	58	5,721	73	21	5,773	19	21	5,771	47	16	5,802	19	34	5,787	23	76	5,734
330-C	64	21	2,942	7	5	2,944	13	12	2,945	18	18	2,945	11	18	2,938	8	19	2,927
331-A	56	44	2,845	22	16	2,851	20	28	2,843	16	9	2,850	20	20	2,850	8	37	2,821
331-B	54	46	3,074	12	15	3,071	14	9	3,076	18	18	3,076	10	22	3,064	6	38	3,032
331-C	35	23	2,173	12	18	2,167	14	13	2,168	9	13	2,164	7	16	2,155	7	23	2,139
332-A	36	17	2,135	21	9	2,147	9	9	2,147	9	10	2,146	8	7	2,147	8	20	2,135
332-B	36	21	1,899	9	9	1,899	8	12	1,896	6	3	1,899	14	11	1,902	4	29	1,877
332-C	27	18	1,843	15	27	1,831	6	15	1,822	3	11	1,814	5	17	1,802	3	19	1,786
332-D	42	39	2,292	22	29	2,287	10	7	2,290	15	5	2,300	10	17	2,293	5	25	2,273
332-E	35	18	2,026	5	8	2,023	7	6	2,024	11	4	2,031	6	12	2,025	4	20	2,009
332-F	29	26	1,598	11	6	1,603	2	8	1,597	10	6	1,601	5	11	1,595	5	23	1,577
333-A	36	29	2,981	20	10	2,991	20	13	2,998	69	12	3,055	8	17	3,046	19	28	3,037
333-B	50	47	4,321	36	27	4,330	14	10	4,334	18	27	4,325	10	10	4,325	16	52	4,289
333-C	49	47	3,588	15	18	3,585	26	18	3,593	8	14	3,587	28	18	3,597	12	27	3,582
333-D	20	18	2,190	12	16	2,186	17	17	2,186	8	14	2,180	16	14	2,182	11	26	2,167
334-A	104	51	6,018	24	15	6,027	16	18	6,025	26	18	6,033	13	17	6,029	24	67	5,986
334-B	63	15	4,152	15	11	4,156	13	12	4,157	19	13	4,163	20	8	4,175	17	64	4,128
334-C	40	30	3,554	19	17	3,556	23	14	3,565	27	14	3,578	21	13	3,586	22	33	3,575
334-D	69	30	4,396	14	14	4,396	15	13	4,399	20	13	4,406	17	14	4,409	56	53	4,412
334-E	40	22	2,390	18	6	2,402	3	7	2,398	16	3	2,411	10	4	2,417	10	22	2,405
335-A	40	21	3,059	19	9	3,069	19	12	3,076	13	14	3,075	7	13	3,069	15	63	3,021
335-B	60	56	7,210	38	33	7,215	41	24	7,232	46	23	7,255	24	29	7,250	54	121	7,183
335-C	58	40	4,764	28	30	4,762	26	25	4,763	24	25	4,762	20	25	4,757	19	39	4,737
335-D	26	11	2,452	9	5	2,456	4	11	2,448	36	14	2,470	5	13	2,462	8	51	2,419
336-A	98	77	6,522	42	33	6,531	54	47	6,538	96	41	6,593	30	27	6,596	19	79	6,536
336-B	50	52	3,893	22	17	3,898	29	18	3,909	22	15	3,916	16	32	3,900	28	53	3,875
336-C	49	26	4,151	30	13	4,168	21	20	4,169	29	9	4,189	27	14	4,202	16	33	4,185
336-D	58	64	3,846	19	12	3,853	14	21	3,846	24	14	3,856	21	22	3,855	13	54	3,814
337-A	101	55	5,078	37	20	5,095	33	31	5,097	52	36	5,113	19	33	5,099	29	80	5,048
337-B	46	55	2,974	25	37	2,962	17	15	2,964	15	16	2,963	22	20	2,965	22	28	2,959
337-C	55	39	3,343	41	26	3,358	17	20	3,355	28	34	3,349	25	24	3,350	24	40	3,334
337-D	89	81	4,673	48	46	4,675	26	23	4,678	37	24	4,691	27	26	4,692	22	45	4,669
合　計	1,793	1,252	119,634	778	599	119,815	629	568	119,877	845	559	120,163	536	607	120,092	558	1,460	119,190

複合地区別会員動態

［2007年6月30日現在］国際本部集計

	新入・再入会	退会	純増	チャーター・メンバー	純増 ※含新クラブ	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数	転籍	年度末会員数	年度末クラブ数
330複合地区	987	1,516	−529	63	−466	2.0	3.0	27.2	80	13,621	501
331複合地区	658	1,148	−490	76	−414	2.8	4.9	32.5	30	7,647	235
332複合地区	796	1,490	−694	38	−656	2.0	3.8	28.0	14	11,073	395
333複合地区	897	1,404	−507	184	−323	2.2	3.5	31.7	19	12,755	403
334複合地区	1,270	1,841	−571	96	−475	2.9	4.2	45.0	29	19,878	442
335複合地区	1,026	1,927	−901	71	−830	2.0	3.8	33.1	45	16,621	502
336複合地区	1,461	2,180	−719	91	−628	3.1	4.6	37.6	36	17,753	472
337複合地区	1,508	2,075	−567	60	−507	3.5	4.8	35.6	50	15,520	436
合計	8,603	13,581	−4,978	679	−4,299	2.5	4.0	33.9	303	114,868	3,386

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

クラブ・アンケート

［2007年9月～10月］
ライオン誌日本語版事務所集計

在籍3年未満の退会者減らず

国内の全クラブを対象に実施したクラブ・アンケートの結果から、06年度の入退会者の実像を探る。入会者の年齢層は、05年度と比べ40、50歳代で2～3％減少、その分60、70歳代が増加した。退会者は4人に1人が在籍3年未満。全退会者の4割が5年未満で退会している。50、60歳代の退会が多く、仕事上の理由が半数を占めている。

入会金は3～6万円が最も多い。入会金なしのクラブも1割強ある。複合地区ごとの特長を見ると、330は入会金0円が2割を超え、331、332では0～3万円が7割を占める。年会費は332、333、336、337で10～15万円に集中。335は入会金、年会費とも他地区よりも高額域に分布している。

アンケート結果の詳細は、『ライオン』誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）に掲載している。

調査時期／2007年9月25日～10月19日
調査対象／全国 3,370クラブ
回答数／2,158クラブ
回収率／64.0％
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

Q1. 昨年度（2006-07年度）中に入会した新会員の年齢層。

1. 20歳代 ……0.8%
2. 30歳代 ……8.8%
3. 40歳代 ……20.4%
4. 50歳代 ……33.1%
5. 60歳代 ……25.2%
6. 70歳以上 ……11.7%

Q2. 昨年度（2006-07年度）中に退会した会員の年齢層。

1. 20歳代 ……0.3%
2. 30歳代 ……3.4%
3. 40歳代 ……10.8%
4. 50歳代 ……29.4%
5. 60歳代 ……30.8%
6. 70歳以上 ……25.3%

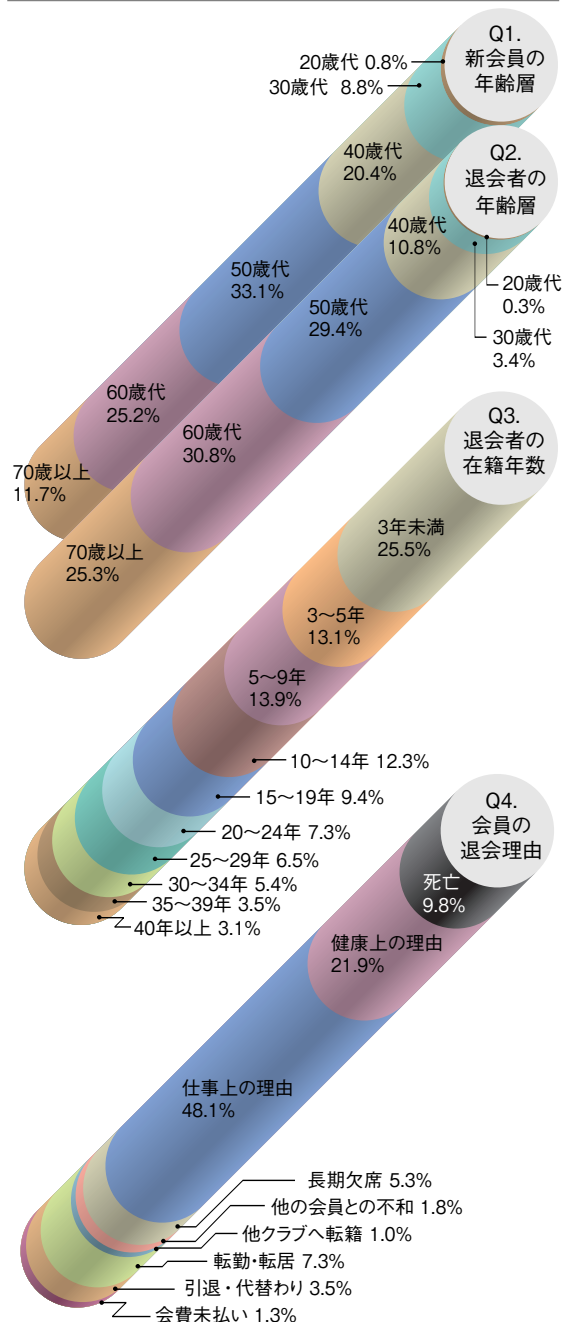
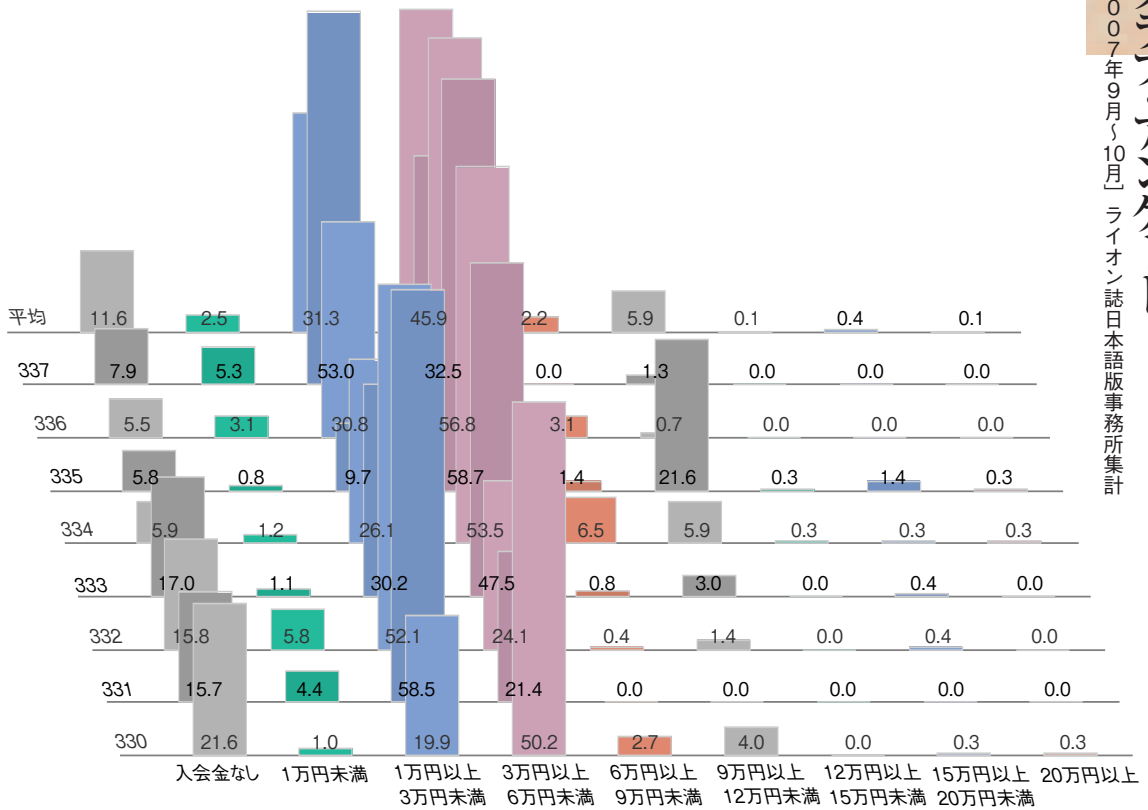
Q3. 昨年度（2006-07年度）中に退会した会員の在籍年数。

1. 3年未満 ……25.5%
2. 3～5年 ……13.1%
3. 5～9年 ……13.9%
4. 10～14年 ……12.3%
5. 15～19年 ……9.4%
6. 20～24年 ……7.3%
7. 25～29年 ……6.5%
8. 30～34年 ……5.4%
9. 35～39年 ……3.5%
10. 40年以上 ……3.1%

Q4. 昨年度（2006-07年度）中に退会した会員の退会理由。

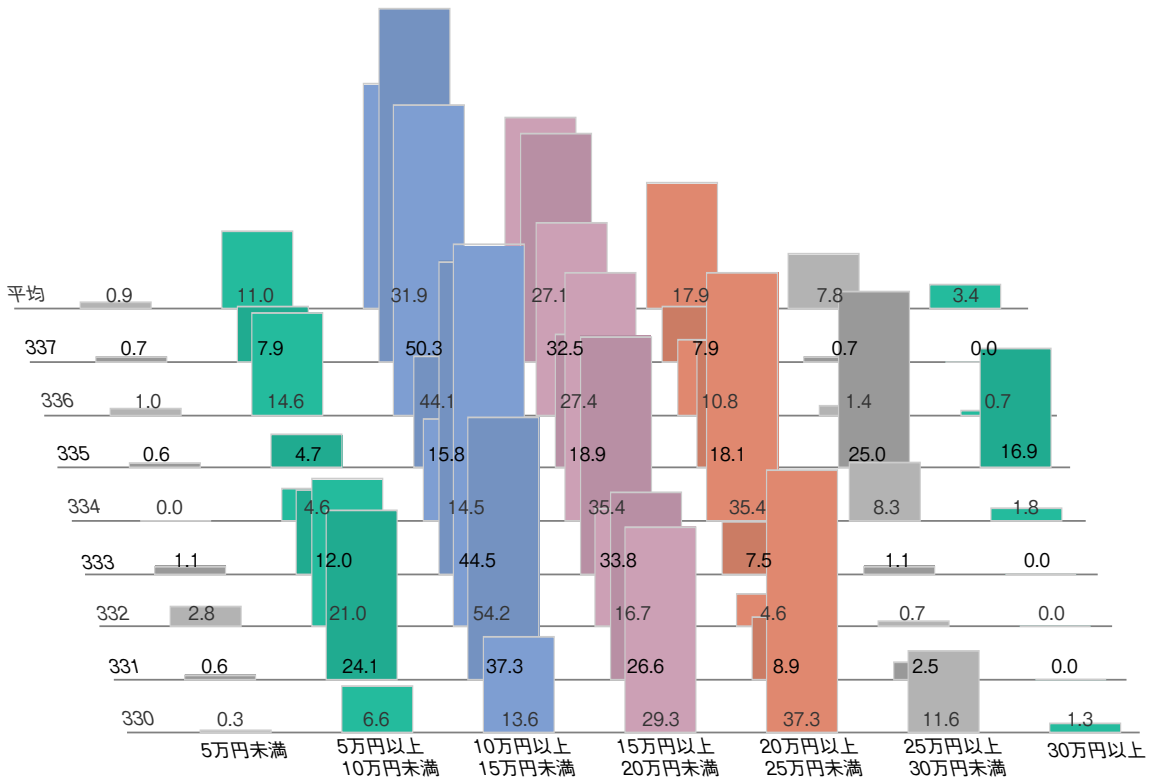
1. 死亡 ……9.8%
2. 健康上の理由 ……21.9%
3. 仕事上の理由 ……48.1%
4. 長期欠席 ……5.3%
5. 他の会員との不和 ……1.8%
6. 他クラブへ転籍 ……1.0%
7. 転勤・転居 ……7.3%
8. 引退・代替わり ……3.5%
9. 会費未払い ……1.3%

Q5. 現在、貴クラブの入会金はいくらですか。

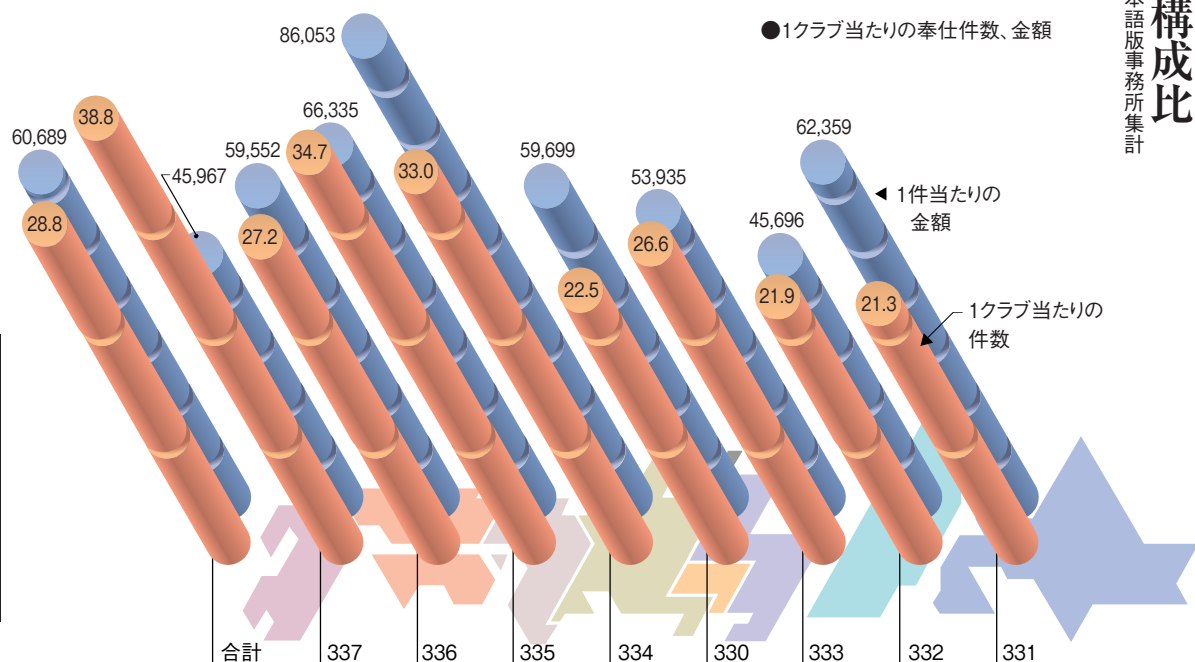
	入会金なし	1万円未満	1万円以上3万円未満	3万円以上6万円未満	6万円以上9万円未満	9万円以上12万円未満	12万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上
平均	11.6	2.5	31.3	45.9	2.2	5.9	0.1	0.4	0.1
337	7.9	5.3	53.0	32.5	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
336	5.5	3.1	30.8	56.8	3.1	0.7	0.0	0.0	0.0
335	5.8	0.8	9.7	58.7	1.4	21.6	0.3	1.4	0.3
334	5.9	1.2	26.1	53.5	6.5	5.9	0.3	0.3	0.3
333	17.0	1.1	30.2	47.5	0.8	3.0	0.0	0.4	0.0
332	15.8	5.8	52.1	24.1	0.4	1.4	0.0	0.4	0.0
331	15.7	4.4	58.5	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
330	21.6	1.0	19.9	50.2	2.7	4.0	0.0	0.3	0.3

Q6. 今年度の貴クラブの年会費は例会費などすべて含めていくらですか。

	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上25万円未満	25万円以上30万円未満	30万円以上
平均	0.9	11.0	31.9	27.1	17.9	7.8	3.4
337	0.7	7.9	50.3	32.5	7.9	0.7	0.0
336	1.0	14.6	44.1	27.4	10.8	1.4	0.7
335	0.6	4.7	15.8	18.9	18.1	25.0	16.9
334	0.0	4.6	14.5	35.4	35.4	8.3	1.8
333	1.1	12.0	44.5	33.8	7.5	1.1	0.0
332	2.8	21.0	54.2	16.7	4.6	0.7	0.0
331	0.6	24.1	37.3	26.6	8.9	2.5	0.0
330	0.3	6.6	13.6	29.3	37.3	11.6	1.3

アクティビティ地区別構成比

［2006・07年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

CSFⅡ2年目、LCIFの金額が大幅アップ

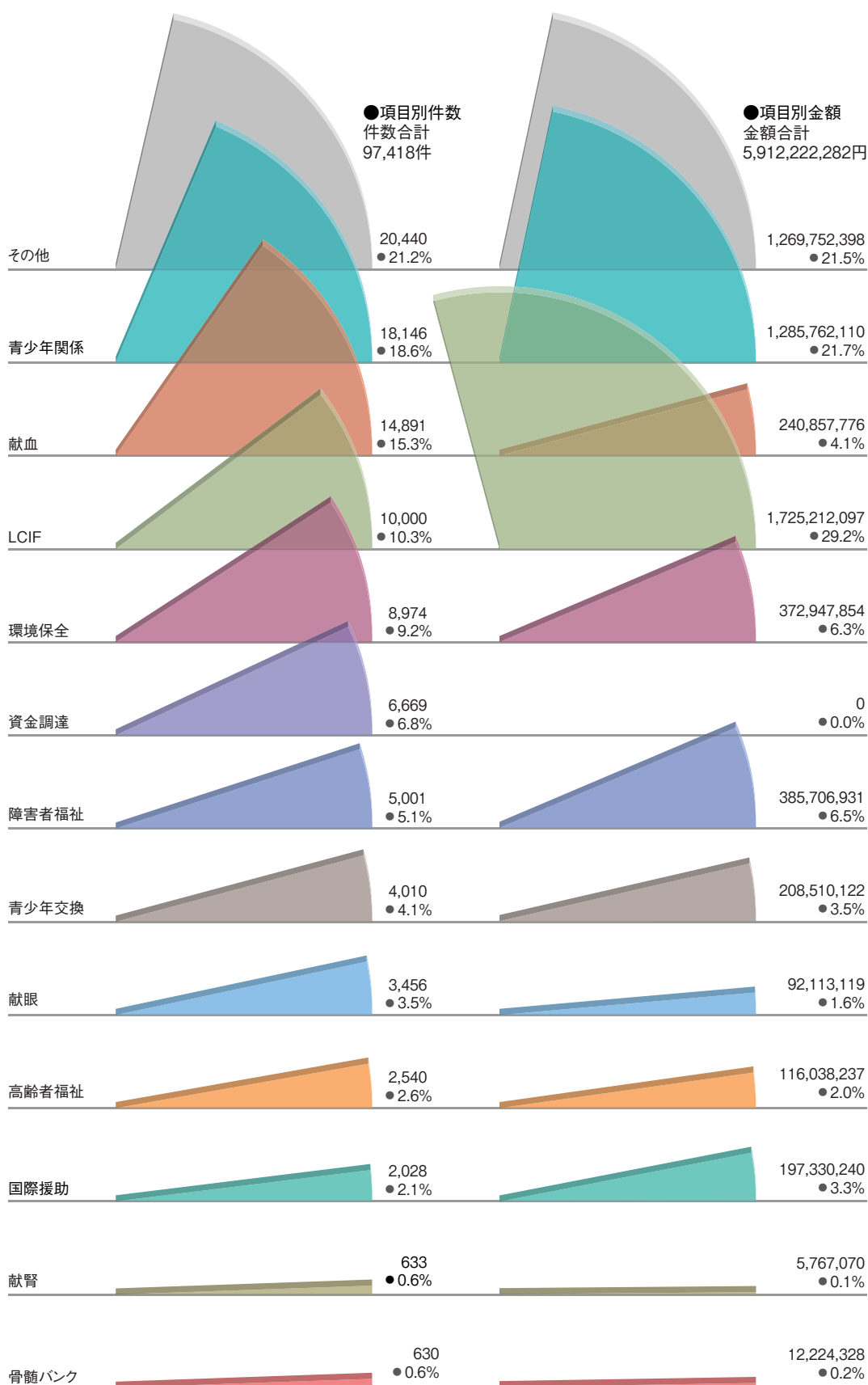
各クラブからの報告書を元にライオン誌日本語版事務所がアクティビティを集計した。05年度に比べ、全国の合計では金額、件数ともわずかに減少した。項目別件数は、その他を除き青少年関係が例年同様首位。項目別金額も昨年に続きLCIFが大きくリードした。CSFⅡが2年目ということもあり、昨年より更に3億3635万5667円増加し、全体の30％を占める割合となった。

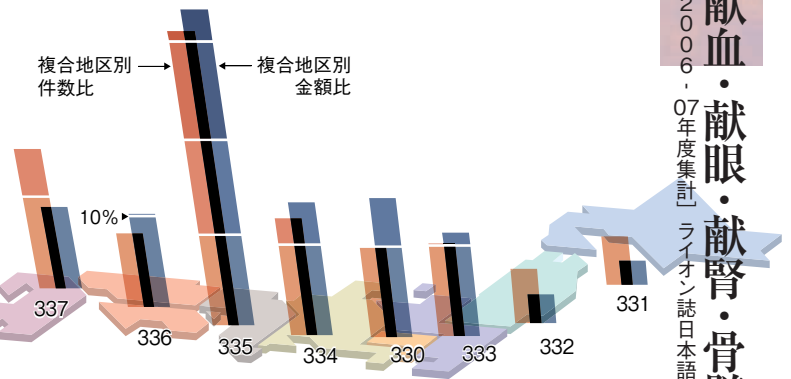
また、献眼、献腎、骨髄バンクは昨年に比べ、件数は増えているものの、金額や登録者は若干減少傾向となった。23ページ以降のグラフを見ると献血は335複合地区、献腎や国際援助は334複合地区、資金調達に337複合地区が特に力を入れているということが分かる。

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
330	330-A	3,687	18.1	302,430,763	82,026
	330-B	5,356	27.9	257,218,879	48,024
	330-C	2,207	21.0	111,968,523	50,733
小計		11,250	22.5	671,618,165	59,699
331	331-A	1,878	23.8	136,530,719	72,700
	331-B	1,705	17.9	97,356,626	57,101
	331-C	1,425	23.4	78,404,257	55,021
小計		5,008	21.3	312,291,602	62,359
332	332-A	1,497	22.0	55,661,404	37,182
	332-B	1,344	24.0	84,975,627	63,226
	332-C	2,111	25.4	69,590,789	32,966
	332-D	1,890	24.5	74,710,174	39,529
	332-E	1,180	20.7	72,456,558	61,404
	332-F	645	11.9	38,649,379	59,922
小計		8,667	21.9	396,043,931	45,696
333	333-A	1,737	21.7	106,574,078	61,355
	333-B	3,618	26.6	178,542,173	49,348
	333-C	3,816	29.1	210,970,018	55,286
	333-D	1,538	27.5	81,499,318	52,990
小計		10,709	26.6	577,585,587	53,935
334	334-A	4,834	41.0	493,576,634	102,105
	334-B	2,688	30.9	280,095,514	104,202
	334-C	2,481	29.5	146,256,563	58,951
	334-D	2,537	25.4	191,825,606	75,611
	334-E	2,051	38.7	143,844,641	70,134
小計		14,591	33.0	1,255,598,958	86,053
335	335-A	3,335	31.5	247,586,281	74,239
	335-B	6,533	32.0	464,715,606	71,134
	335-C	5,854	47.6	343,892,911	58,745
	335-D	1,716	24.9	100,552,246	58,597
小計		17,438	34.7	1,156,747,044	66,335
336	336-A	4,256	27.3	256,476,500	60,262
	336-B	3,346	33.1	165,761,948	49,540
	336-C	2,746	25.9	207,865,583	75,698
	336-D	2,503	23.0	135,203,709	54,017
小計		12,851	27.2	765,307,740	59,552
337	337-A	7,529	62.7	332,124,092	44,113
	337-B	2,538	28.8	104,550,213	41,194
	337-C	2,536	29.8	138,505,646	54,616
	337-D	4,301	30.1	201,849,304	46,931
小計		16,904	38.8	777,029,255	45,967
合計		97,418	28.8	5,912,222,282	60,689

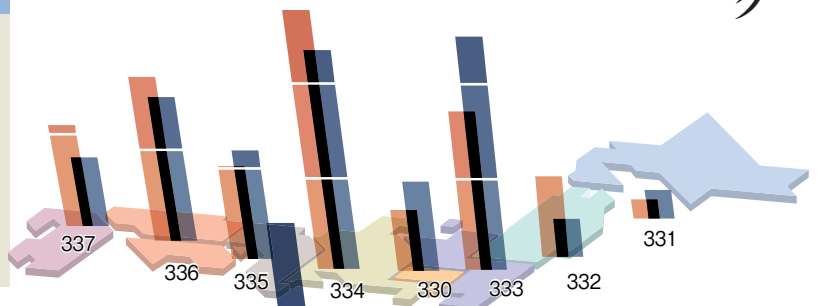
主要アクティビティ構成比

［2006・07年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

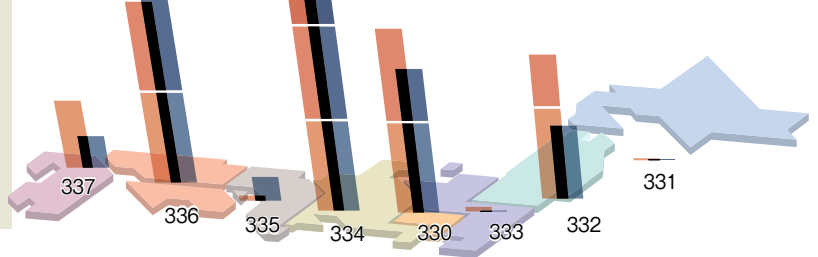
献血・献眼・献腎・骨髄バンク

［2006-07年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

献血

複合地区	件数	金額	200cc献血/人	400cc献血/人	成分献血/人
330	1,496	36,487,792	20,684	82,371	9,322
331	856	6,154,055	7,319	19,756	2,284
332	921	8,040,750	6,082	15,064	549
333	1,499	27,921,361	22,482	46,275	9,192
334	1,951	34,697,861	18,885	57,827	9,918
335	4,728	81,091,117	31,449	175,772	66,384
336	1,186	24,240,170	8,211	41,063	6,501
337	2,254	22,224,670	4,875	62,151	8,970
合計	14,891	240,857,776	119,987	500,279	113,120

献眼

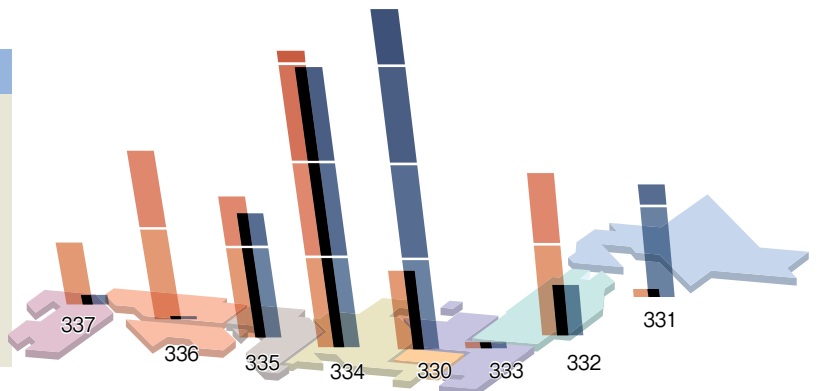
複合地区	件数	金額	アイバンク登録者	角膜提供者
330	234	9,155,739	1,523	47
331	75	2,643,546	573	3
332	301	3,912,211	317	0
333	584	22,661,161	2,422	34
334	938	21,594,068	3,746	153
335	349	10,918,565	72	5
336	603	14,291,997	1,383	56
337	372	6,935,832	1,722	35
合計	3,456	92,113,119	11,758	333

献腎

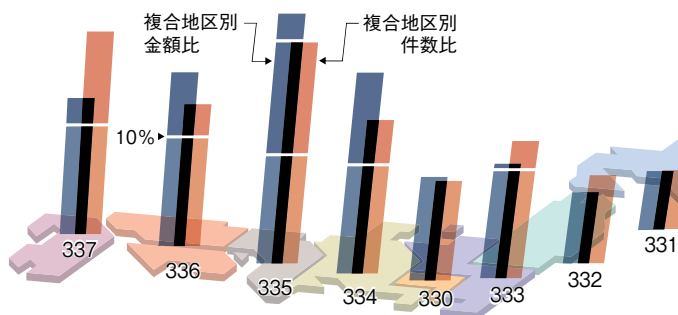
複合地区	件数	金額	腎バンク登録者	腎臓提供者
330	126	915,772	806	0
331	2	0	89	0
332	97	442,150	15	0
333	4	0	0	0
334	231	2,876,908	590	2
335	6	163,000	33	0
336	122	1,159,607	47	0
337	45	209,633	680	0
合計	633	5,767,070	2,260	2

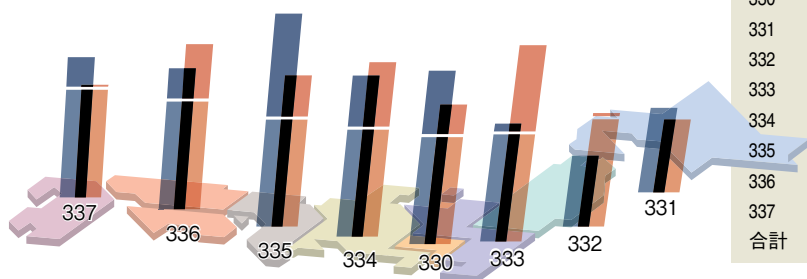
骨髄バンク

複合地区	件数	金額	骨髄バンク登録者	骨髄提供者
330	53	4,423,373	399	0
331	7	1,496,639	0	0
332	110	653,170	35	0
333	8	175,000	15	0
334	200	3,638,360	380	0
335	95	1,657,786	784	0
336	114	36,000	18	0
337	43	144,000	245	0
合計	630	12,224,328	1,876	0

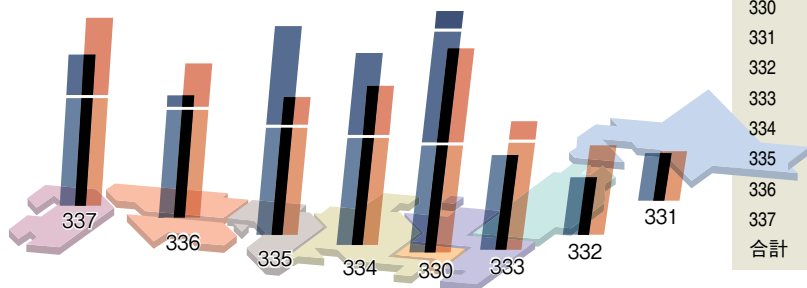
青少年関係・高齢者福祉・障害者福祉・環境保全

［2006・07年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

複合地区別 金額比
複合地区別 件数比
10%

青少年関係

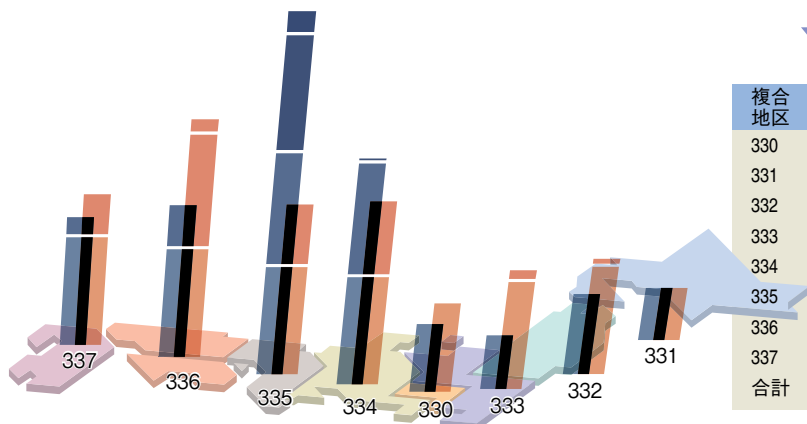
複合地区	件数	金額
330	1,695	123,977,157
331	945	65,768,654
332	1,492	85,191,335
333	2,227	135,978,765
334	2,501	229,661,619
335	3,618	286,987,150
336	2,362	199,278,513
337	3,306	158,918,917
合計	18,146	1,285,762,110

高齢者福祉

複合地区	件数	金額
330	316	18,822,390
331	164	9,001,302
332	259	7,506,306
333	417	12,506,377
334	400	16,441,709
335	358	22,044,229
336	368	14,817,229
337	258	14,898,695
合計	2,540	116,038,237

障害者福祉

複合地区	件数	金額
330	864	83,972,565
331	225	17,103,898
332	402	19,607,265
333	605	32,576,367
334	729	65,998,732
335	648	72,302,797
336	692	42,323,574
337	836	51,821,733
合計	5,001	385,706,931

環境保全

複合地区	件数	金額
330	720	23,620,789
331	404	16,881,106
332	925	26,218,779
333	963	17,944,459
334	1,474	75,203,456
335	1,363	118,445,029
336	1,907	51,636,385
337	1,218	42,997,851
合計	8,974	372,947,854

国際援助・YE・LCIF・資金調達

［2006・07年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

国際援助

複合地区	件数	金額
330	247	24,711,406
331	59	3,474,277
332	274	5,739,278
333	192	41,973,451
334	408	58,685,185
335	140	16,839,581
336	377	24,488,424
337	331	21,418,638
合計	2,028	197,330,240

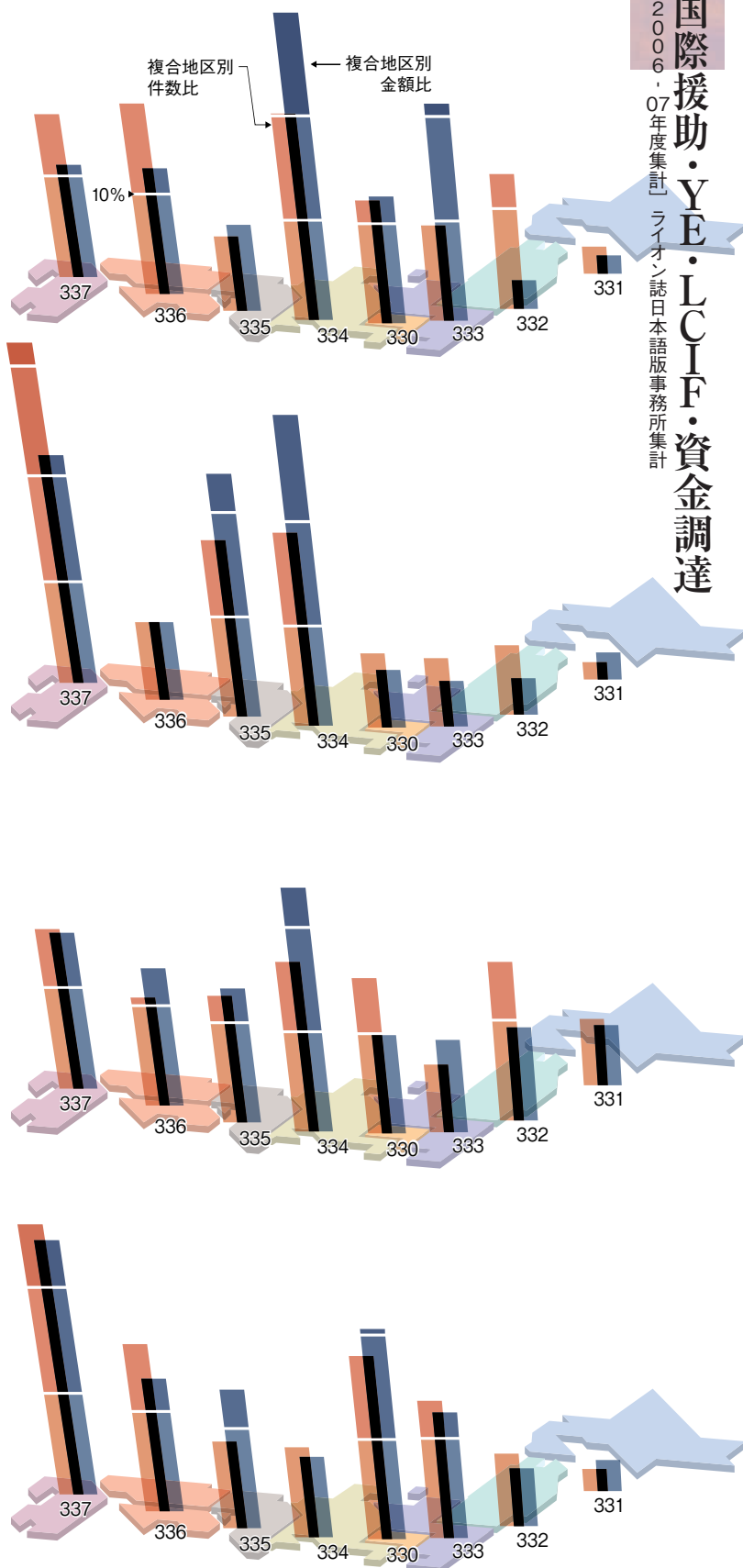
青少年交換

複合地区	件数	金額
330	307	12,034,595
331	80	6,358,579
332	271	7,280,799
333	273	9,146,086
334	762	62,448,209
335	701	48,983,605
336	323	16,816,736
337	1,293	45,441,513
合計	4,010	208,510,122

LCIF

複合地区	件数	金額
330	1,513	173,061,637
331	667	105,481,510
332	1,578	162,435,138
333	672	162,640,678
334	1,667	400,738,311
335	1,245	228,375,923
336	1,074	230,595,439
337	1,584	261,883,461
合計	10,000	1,725,212,097

資金調達

複合地区	件数	金額
330	1,194	127,304,274
331	126	17,946,780
332	484	34,352,076
333	889	78,976,137
334	600	51,426,840
335	578	82,835,824
336	1,083	80,720,837
337	1,715	151,290,263
合計	6,669	624,853,031

国際理事だより

■国際理事
谷野徹
（山口県・下関ウエスト）

韓国・テグ 第46回OSEALフォーラム出席報告

第46回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムが10月12日から15日に掛けて、隣国韓国の第三の都市テグで開催されました。詳細についての公式報告は組織委員会から発表がありますので、ここでは感想も交えた概要を皆様にお伝えしたいと思います。

私は12日の午後に開始された第2回ステアリング委員会から出席しました。キージュン・ウー・フォーラム委員長の開会宣言に始まり、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長、ジミー・ロス前国際会長、アルバート・ブランデル第1副会長、テーサップ・リー名誉フォーラム委員長の紹介とあいさつに続いてフォーラム規則の採択、第1回ステアリング委員会決議事項の確認、そして今回の公式行事について改めて説明がありました。

2日目は朝8時からの第1回複合地区協議会議長、地区ガバナー会議でスタート。この会議は最終日までの3日間、毎朝開催されます。

午後は巨大な競技場を使用した大掛かりな開会式が挙行されました。多数の参加者によるパレードが延々と続き、最後に国際役員が入場、フォーラム委員長による開会宣言で式典がスタートしました。韓国首相、テグ市長その他多数の来賓の出席があり、式典に花を添えておられました。

イベントとして90人以上のモデルによる韓国人デザイナーのファッションショーと韓国を代表する歌手の公演があり華々しい式となりました。

3日目は国際会長と地区ガバナー、また第1副会長と副地区ガバナーの会議と、チーム20Kセミナー、元地区ガバナーの指導力セミナー、そしてCSFⅡセミナーが開催されました。いずれの会場も満席の状態で熱心な意見発表が予定時間を過ぎるまで続けられ、国際会長テーマ「変化への挑戦」の下、フォーラム参加者のライオンズに対する真摯な思いが伝わってきました。特にCSFⅡセミナーにおいては、テーサップ・リーCSFⅡ国際委員長がOSEAL地域の世界一の献金実績に称賛と謝意を示され、一同今後も目標達成に全力を注ぐことを確認して終了しました。

夜には308複合地区（マレーシア）レセプション、日本レセプション、タイ・レセプション、そして最後はすばらしい韓国の太鼓演奏で開始された国際会長晩餐会が開かれ、盛りだくさんで思い出深い一日が終わりました。

最終日の閉会式では国際会長他、国際役員があいさつの中で、印象深く大成功のフォーラムであったことを強調し、組織委員会のすべてのメンバーに対して感謝の意が表明されました。ウー・フォーラム委員長からは2万4020人という過去に例のない多数の参加者を得たことが発表されました（日本からは3285人）。ワールドカップスタジアムでの開会式等も印象深くすばらしいものであり、今後のライオンズの奉仕活動に大きく寄与するに違いありません。

最後に全員で2008年6月にタイ・バンコクで開催される第91回国際大会、そして11月の香港フォーラムでの再会を誓って、この実り多いフォーラムが閉幕しました。

91st
LIONS CLUBS
INTERNATIONAL
CONVENTION
BANGKOK 2008

LIONS ROAR-R-R BANGKOK 2008
バンコク国際大会情報
［微笑みの国への誘い］

第91回国際大会／2008年6月23日（月）～27日（金）

国際大会の舞台となるバンコクの魅力を、310複合地区（タイ）のワラパ協議会議長に聞いてみました。

まず最初に挙げてくださったのは王宮とワットプラケオ。黄金に輝くワットプラケオはタイで最高の格式を誇る王室寺院です。本尊は翡翠の仏像で、これにちなんで別名エメラルド寺院。隣接する王宮は現在、儀式や祭典の場となっています。日中、世界中から訪れた観光客でにぎわう一帯は、夜になるとライトに彩られて、ワラパ議長いわく「まるで天国のよう」（ページ下の写真の通り）。

次なるオススメは、水上マーケット。「東洋のベニス」と謳われた古き良きバンコクの姿を見ることが出来ます。運河に浮かぶ細長い小舟は一つひとつが商店になっていて、野菜や果物、日用品が山と積まれていたり、麺類や粥などの食事を出したり、あらゆるものが売られています。「日本とは異なるタイの歴史と文化を体感出来るはず」とワラパ議長。ただし、生活に密着した活気ある水上マーケットを見たいなら、バンコクの中心部から80キロばかり離れたダムノン・ダドゥアク水上マーケットまで足を伸ばさなければなりません。運河に舟がひしめくのは午前中の早い時間です。

早朝に水上マーケットを訪れるのが難しいなら、市内を流れるチャオプラヤー川で水の都の雰囲気を味わってみましょう。川には市民や旅行者の足になっているエクスプレス・ボートが走り、渡し船がひっきりなしに行き交っています。両岸には豪華なホテルや歴史的な建造物、三島由紀夫の小説に描かれたワット・アルン（暁の寺）などの寺院が点在し、特に夕方から夜にかけての景色は最高、なのだそうです。夜景を眺めつつディナー・クルーズを楽しむのもよいでしょう。ボートは手頃な料金でチャーターすることも出来るので、ぜひお試しくださいとのこと。

「タイでは初めての国際大会に、日本の皆さんの参加を心から歓迎します」

バンコク国際大会へ日本から多数の参加を

11月6日、東京・丸の内のパレスビルで第3回八複合地区国際大会委員長連絡会議が開催され、バンコク国際大会に向けた本格的な協議が始まった。会議には国際理事会大会委員会に所属する重松良次国際理事と福井正憲アポインティー、杉本忠夫2008〜10年国際理事候補者、第91回国際大会（タイ・バンコク／08年6月23日〜27日）ホスト委員会のソムサクディ・ロヴィス副委員長（元国際理事）が出席。ロヴィス副委員長は日本から大勢の参加者を送り出してほしいとあいさつした。会議では、日本からの代議員派遣の推進について話し合った他、国際本部やロヴィス副委員長からの情報を基に大会日程や会場を確認。今後は、日本割り当てホテルの室数確保に努めると共に、各行事の設営、パレードの参加体制などについて協議する。

ライオンズ国及び地域が201に

インド・ニューデリーで開かれた国際理事会（32ページに決議事項掲載）で、ライオンズ国及び地域の「セルビア・モンテネグロ」を「セルビア共和国」とすると共に、新たに「モンテネグロ共和国」を加えた。これにより国及び地域数は一つ増えて201になった。セルビア・モンテネグロ（旧ユーゴスラビア連邦共和国）は二つの共和国で構成されていたが、06年6月にモンテネグロが独立した。両国には今年8月末現在、それぞれ1クラブが活動している。

OSEAL地域推薦の国際理事候補者

第46回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムで、2008〜10年国際理事の候補者3人の推薦が決議され、日本のライオン杉本忠夫（北海道・札幌ライラック・ライオンズクラブ）と、韓国のライオンクワンスー・チャン、マレーシアのライオンエリス・オスマー・スリヤティが推薦を受けた。ライオン杉本は81年入会、93年度クラブ会長、95年度キャビネット会計、02年度複合地区長期リサーチ委員長、03年度地区ガバナー、複合地区ガバナー協議会議長、

05～07年CSFⅡナショナル・コーディネーター。100%ガバナー賞、国際会長賞2回、国際会長感謝状、累進MJF。

OSEALフォーラム開催予定

テグ・フォーラムにおいて来年以降のフォーラム開催予定が発表された（左記）。なお、第47回OSEALフォーラム第1回ステアリング委員会は08年3月8日～9日、香港で開催される。

第47回：香港／08年12月4日～7日
第48回：タイ・パタヤ／09年日程未定

CSFⅡ献金額最新報告

10月24日、視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）のナショナル・コーディネーターからテーサップ・リーCSFⅡ国際委員長へ、各担当エリアの実績が報告された。その結果、献金額は全世界で1億2800万^{ドル}に上り、最低目標額1億5千万^{ドル}の85・3%まで到達したことが分かった。日本（エリアV1～4）は合計4400万^{ドル}で、目標額5100万^{ドル}（挑戦目標額2億^{ドル}に対する目標）の86・3%に達している。

全国から寄せられた協力金、支援金に関する報告

10月26日に開催された八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議において、鈴木正二元333複合地区議長から日本武道館で行われた薬物乱用防止全国大会（6月8日）の収支報告（左掲）が、加藤弘明333‐A地区ガバナーから7月に発生した中越沖地震義援金収支の経過報告が、それぞれ行われた。中越沖地震義援金については、10月25日現在、333‐A地区に寄せられた金額はLCIF緊急援助金を含む6392万5592円で、これまでに第1次から第3次まで合計4352万6千円を支出したことが報告された。

ライオンズクラブ国際協会330～337複合地区
薬物乱用防止全国大会収支報告書（2007.10.02最終）

科　目	予算案	実　績
収入の部	50,000,000	43,929,082
1 登録料	45,000,000	39,050,000
2 青少年アクティビティ	5,000,000	*
3 国際本部補助金	0	4,760,000
4 雑収入	0	114,765
5 受取利息	0	4,317
支出の部	50,000,000	43,929,082
1 会場費	10,000,000	10,211,160
2 舞台設備費	8,000,000	10,363,500
3 音響設備費	6,000,000	6,100,500
4 招聘費（国連関係）	2,000,000	1,255,688
5 招聘費（国際協会）	1,000,000	896,351
6 アトラクション費	10,000,000	5,895,000
7 旅費交通費（セミナー講師）	400,000	0
8 旅費交通費（発表者）	800,000	323,000
9 会場警備費	1,000,000	0
10 広報広告費	3,000,000	613,620
11 記録写真費	1,500,000	454,000
12 記念誌その他印刷費	2,000,000	4,609,672
13 実行委員会会議費	800,000	0
14 委員会会議費	1,000,000	487,400
15 事務通信費	800,000	891,481
16 事務職員給与	1,000,000	1,240,920
17 諸雑費	700,000	586,790
差引収支差額	0	0

＊登録料に含む

日本ライオンズのアクティビティの傾向は?

ライオン誌は9月から10月に掛けて国内クラブを対象にアンケートを実施（回答率63・9%）。今年度の重点アクティビティについて次の結果を得た。最も多くのクラブが重点的に取り組むと答えたのが青少年関係（72・8%）。以下、献血（67・1）、CSFⅡ（54・2）、地域清掃（49・1）、薬物乱用防止（29・9）と続く。最終年度に入ったCSFⅡは昨年の5位（32・2）から2ランクアップした。複合地区ごとに見ると、335の献血（86・0%／全国平均67・1）、331の交通安全（55・3／17・6）、333の献眼（32・1／15・2）など地域的特色も見られる。

同アンケートの会員動静に関する項目は15^{ページ}、クラブ運営に関する項目は16^{ページ}に掲載。全集計結果は『ライオン』誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「ライオンズ情報資料」→「各種調査結果」ページに掲載している。

会員減少に歯止めを。334-E地区で会員増強大会

334-E地区（長野県／仁科良幸地区ガバナー）は10月19日、長野市松代町のホテルで会員増強大会を開いた。会員減少に歯止めが掛からない現状を受け、山浦晟暉チーム20K国際委員と今期15人の新会員を迎えた松本ライオンズクラブの丸山正芳会長を招き、クラブ三役とMERL委員長が参加した。仁科地区ガバナーは「各ゾーンを訪問し、クラブにより会員増強への温度差を感じた。活気があり例会が楽しいクラブには人が集まる」とあいさつ。ライオン山浦は「若者を中心に会員増強をしないとクラブの存続が難しい。水がよどみなく流れるごとく常に会員増強という息吹が必要」と会員増強の意義を強調した。（情報／武内浩地区PR・ライオンズ情報委員長）

第30回を迎える国連ライオンズ・デー

ライオンズと国際連合の協力関係を祝い、毎年ニューヨーク国連本部で国連ライオンズ・デーが開かれている。第30回目の08年は3月14日（金）に開催。国際平和ポスター・コンテスト最優秀賞授賞式や、国連大使との特別昼食会、国連ビル内見学のオプショナル・ツアーも用意される。参加希望者は国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）「その他のプログラム」→「国際協調」→「国連ライオンズ・デー」ページで、申し込み用紙をダウンロード。

会議録 9月 10月

主な議題だけをまとめました

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第3回会議は9月18日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①会議の進行、②第2回国際理事候補者選挙管理委員会からの報告、③国際役員との懇談、④第46回OSEALフォーラム（韓国・テグ）、⑤各委員長連絡会議・委員会報告ついて協議した。②会議要録を了承。OSEALの支援を求めることを確認し、古郡世話人が書簡に署名。

複合地区会則委員長連絡会議

第1回会議は9月27日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①世話人、副世話人の互選、②06年度会議からの申し送り事項、③07年国際会則および付則改正の確認、④07年シカゴ国際理事会決議事項の確認、⑤クラブ紛争処理手順、⑥その他について協議した。

①世話人に高橋義太郎委員長（332）、副世話人に高岸和男委員長（334）を互選。

ライオン誌日本語版委員会

第3回委員会は10月5日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①07年度ライオン誌日本語版編集長方針（確認）、②10月号出来、③11月号記事内容の確認、④12月号以降台割（案）と主要記事予定、⑤ウェブサイト関連、⑥オンライン報告システムServannA、⑦その他について協議した。

④1月号以降の具体的内容を検討。表紙デザインは3点提出されたが意見がまとまらず、再度デザイン案を作成し次回会議で決定する、他。

解散クラブ／名称変更

■解散クラブ

山梨県・甲府西／埼玉県・さいたま翼／北海道・札幌むいね／北海道・浦臼／北海道・苫前町／秋田河辺／群馬県・草津温泉／富山水橋／大阪大淀／兵庫県・城崎／兵庫県・但東／兵庫県・八千代／鳥取県・岩美／鳥取県・伯耆日野／広島県・安芸河内／宮崎県・都城荘内

■クラブ名称変更

山梨県・長坂→北杜

訃報

ライオン日下部和造（静岡県・沼津千本）

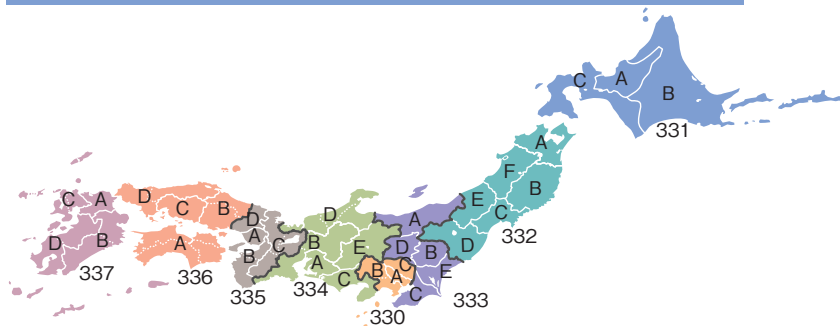
10月20日死去、88歳。65年入会。93年度334複合地区協議会議長、334-C地区ガバナー。

日本ライオンズクラブ
クラブ数・会員数

世界のライオンズ

2007.8.31 国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　200	45,033	1,295,400	5,469

日本のライオンズ

2007.9.30各キャビネット事務局集計		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	205	1	5,406	157
330-B	神奈川・山梨・東京	191	0	5,563	66
330-C	埼玉	104	0	2,879	24
330	計	500	1	13,848	247
331-A	北海道（道央）	77	0	2,749	-6
331-B	北海道（道北・道東）	95	-1	2,920	46
331-C	北海道（道南）	61	0	2,013	5
331	計	233	-1	7,682	45
332-A	青森	68	0	2,059	23
332-B	岩手	56	0	1,800	24
332-C	宮城	83	0	1,669	-18
332-D	福島	77	0	2,202	23
332-E	山形	57	0	1,986	54
332-F	秋田	53	0	1,458	5
332	計	394	0	11,174	111
333-A	新潟	80	0	2,989	16
333-B	栃木	56	0	1,390	21
333-C	千葉	132	1	3,561	43
333-D	群馬	56	0	2,090	20
333-E	茨城	80	0	2,870	44
333	計	404	1	12,900	144
334-A	愛知	118	0	5,901	67
334-B	岐阜・三重	87	0	4,024	27
334-C	静岡	84	0	3,509	35
334-D	富山・石川・福井	100	0	4,390	78
334-E	長野	53	0	2,282	15
334	計	442	0	20,106	222
335-A	兵庫（東）	107	1	2,939	76
335-B	大阪・和歌山	204	0	6,975	78
335-C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,622	52
335-D	兵庫（西）	66	-3	2,284	34
335	計	500	-2	16,820	240
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	0	6,398	80
336-B	鳥取・岡山	99	0	3,702	18
336-C	広島	106	0	4,067	50
336-D	島根・山口	109	0	3,676	11
336	計	470	0	17,843	159
337-A	福岡・長崎	120	0	4,965	46
337-B	大分・宮崎	86	-2	2,817	-1
337-C	佐賀・長崎	85	0	3,231	-20
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	143	0	4,556	5
337	計	434	-2	15,569	30
総計		3,377	-3	115,942	1,198
世界のライオンズの		7.5%		9.0%	

9. 計50件、総額2,415,880ドルに上る一般援助金、国際援助交付金及び四大交付金を承認。
10. 交付金申請4件を先送りとした。
11. 理事会方針書のLCIFの資金運用における署名権限者から個人名を削除し、代わりに役職名を挿入することをもって同方針書を改訂することを承認。

■リーダーシップ委員会
1. グループリーダーの任命、カリキュラムの内容及びセミナー開催予定日を含む2008年地区ガバナー・エレクト・セミナーの計画を承認。
2. 22複合地区における上級地方ライオンズ・リーダーシップ研究会開催の支援として交付金を承認。
3. 202複合地区による南太平洋諸島の会員向け指導力育成活動の支援として交付金を承認。
4. 335-A地区における3段階式研修プログラムの支援として最高2,000ドルの交付金を承認。
5. 理事会方針書第14章における瑣末な事務的改訂を承認。

■長期計画委員会
1. 国際協会のイメージ刷新及び広報計画を65万ドルの予算をもって導入することを承認。同計画では、国際協会の新しいイメージに関する資料の作成と配布、国際協会ウェブサイトとライオン誌のデザインの大幅な変更の他、2008-09年度までに「すべてはひとりのライオンから（仮称）」を標語とする協会全体を対象とした意識高揚キャンペーンの展開などが予定されている。
2. 国際協会及びLCIF監査委員会の監査活動を見直す作業部会の創設を承認。現行の同委員会のメンバーと活動範囲も見直しの対象となる。
3. 以下の通り、国際協会初のビジョン声明文を採択すると共に、現行の使命声明文を改訂。
国際協会のビジョン声明文
「地域社会と人道奉仕におけるグローバルリーダーを目指す」
国際協会の使命声明文
「ライオンズクラブを通じて、ボランティアに社会奉仕の手段を与え、人道的ニーズを満たし、平和と国際理解を育む」
4. 2017年の国際協会100周年に伴う記念行事の計画面で、理事会に助力する「100周年記念計画特別委員会」の創設とそのメンバーを承認。

■会員増強委員会
1. 東ヨーロッパにおける会員増強への予備計画を承認。同時に、同予備計画の詰めと導入に向け、現行の予算枠から48,000ドルを充当することを承認。
2. 理事会方針書を改訂し、モンテネグロ共和国を加えると共に「セルビア・モンテネグロ」との表記を「セルビア共和国」に差し替えることにより公認国の合計数を201とする。

■PR委員会
1. 複合地区向けPR補助金予算枠から20万ドルを国際協会のイメージ刷新プロジェクトに再配分。
2. スリランカ向け公式版ライオン誌の発行を決定。
3. ライオン誌編集者会議の2008-09年度開催を承認。
4. アリゾナ州にあるメルビン・ジョーンズ記念碑の維持・改修費として2,000ドルの給付を承認。
5. メルビン・ジョーンズ墓所の維持費として1,000ドルの給付を承認。
6. PR予算のうち広告分に対する30万ドルの上乗せを承認。
7. 公式プロトコールにおいて「視力ファーストIIキャンペーン・ナショナル（国／複数国）コーディネーター」の位置を「元国際理事」と「複合地区協議会議長」の間に復活。

■奉仕事業委員会
1. ライオンズ眼鏡再生センターの運営基準（2007年10月1日発効）を承認。
2. 13の地区に対し2007-08年度地域レオ会議交付金の支給を承認。
3. 14の地区に対し2007-08年度児童世界シンポジウム交付金の支給を承認。

国際理事会会議の決議事項要約

2007年9月27日～10月1日
インド・ニューデリー

■会則及び付則委員会

1. 国際会則及び付則の項目記載要領を別紙A（略）の通り変更する改正案を、2008年国際大会に提出するとの決議案を採択。別紙Aの写しは全ライオンズクラブに配布され、国際会則及び付則改正案の「公式通達」にも添付される。
2. 国際会則第4条第1～6項及び国際付則第6条第3項にある「事務総長」を「国際本部長」に変更する改正案を、2008年国際大会に提出するとの決議案を採択。

■大会委員会

1. 2008年バンコク大会における資格証明委員会メンバー、地区ガバナー・エレクト及び本部職員の日割り許容額を設定。
2. 大会用ホテルの予約受付期限は、大会委員会が毎年個別に設定することを承認。

■地区及びクラブ･サービス委員会

1. 219のクラブ（会員数1,406名）の解散を承認。
2. 17複合地区（カンザス州）、26複合地区（ミズーリ州）、30複合地区（ミシシッピ州）及び31複合地区（ノースカロライナ州）より提出された地区分割案を承認。
3. 以下に対する受賞条件を承認。
   - 地区ガバナー優秀賞（旧称「100%地区ガバナー賞」）
   - リジョン・チェアパーソン優秀賞（新設）
   - ゾーン・チェアパーソン優秀賞（新設）
   - クラブ会長優秀賞
4. 地区分割を希望する地区による口座残高の完済期限を、同分割案が理事会に申請された会計年度の5月31日から6月30日に変更することをもって地区分割に関する規定を改定。

■財務及び本部運営委員会

1. 2007-08年度第1四半期予想（黒字）を承認。
2. 提出期限到来後120日を過ぎてから提出された元地区ガバナーからの経費支払請求1件を、酌量すべき事情を考慮し承認。
3. 以下のメンバーが2007-08年度も引き続きタスクフォースを構成することを承認。
   元国際理事　A・P・シン（委員長）
   国際理事　谷野徹
   国際理事　スンギュン・チョイ
   元国際理事　ロバート・アイクホーン
   元国際理事　フィリップ・ソーステル
4. 新規のクラブ解散規定の適用において、地域によっては特別な措置が必要となる場合があることを明記するために理事会方針書を改訂。
5. 理事会方針書第22章における瑣末な事務的改訂を承認。
6. 理事会方針書第7章における瑣末な事務的改訂を承認。

■LCIF

1. CSFII資金のうち84,515,296ドルをラッセル・インベストメント・グループにおける資産運用の初期投資額とすることを承認し、職員に2007年9月30日をもって献金及び投資の各実績額を修正するよう指示。
2. 人道主義交付金（用途無指定）の支出方針を承認。
3. LCIF資金獲得活動の見直しの結果を承諾し、職員に対し、CCS社との協議の上、具体的かつ実行可能な導入案の策定を指示。
4. 2007-08年度分視力ファースト関連交付金用として1,200万ドルのつなぎ資金の利用を承認。
5. LCIF予算から1万ドルをGET2020（2020年までに地球からトラコーマの撲滅を目指すWHO主導のプログラム）の支援に充当することを承認。
6. CSFII完了後の献金者対応案を承認。
7. ライオンズとスペシャルオリンピックスとの協賛による「オープニング・アイズ」プログラムを1年間延長するため、交付金100万ドルを支給することを承認。
8. 四大交付金の対象である就学前児童向け視力検査プログラムを1年間延長するため、技術援助交付金67,700ドルの交付を承認。

Miracle in Mosinee

モジニーの奇跡

ウィスコンシン・ライオンズ イラクの少女を助ける

ジェイ・コップ（『ライオン』誌国際本部版シニア・エディター）

アメリカ中西部ウィスコンシン州のほぼ真ん中にあるモジニー。

町の一角に居を構えるワシニュスキー家の前には、うっそうとした松の森が広がっている。住人であるエミルとダイアン夫妻にとっては、見慣れたお馴染みの風景だ。

が、この家に滞在しているイラクの少女は、広大な森に強烈な印象を抱いたようだ。コンクリートやほこりに覆われ、ヤシがまばらに点在する都市バグダッドから来た7歳のザハラは、モジニーを「ジャングル」と呼んだ。

ワシニュスキー夫妻は、この描写を興味深く思い、また彼女が目を凝らしてみたら、ついに物が見えるようになったことをとても喜んだ。

生まれつき目に障害を持つ少女

ザハラは、先天的な目の障害を持っていた。彼女の角膜は膨張し、水膨れ状になっていた。彼女は物体やその形が何となく分かる程度しか見えていなかった。彼女の角膜移植手術を担当したウィスコンシン州の眼科医ケビン・フラレティー博士によると、彼女は蒸気で曇った窓ガラスを通して世界を見ていたようなものだという。

彼女の生活をより悲惨にしていたものが不快な痛みだ。目の膨張により、彼女には常に目の中に砂が入っているような感覚があった。

ライオンズクラブの会員であるワシニュスキー夫妻は、8月末にザハラが片目の角膜移植を受けてから、急速に回復した彼女を見守ってきた。手術前の彼女は、ただ家に入るだけでも危なっかしい様子だった。

それが今では、前庭で自転車を乗り回し、食料品店ではショッピングカートの下に潜り込み、また以前は鼻を画面に押しつけながら見ていたテレビを、手術後には60㌢離れた場所で見るようになった。

小柄で、ウェーブのかかった黒髪のザハラは、おとなしく、とても恥ずかしがりやだ。彼女は、もう片方の目の手術が終わるまで一緒に滞在する祖母ブシュラに非常になついている。バグダッドでは、二人は同じベッドで寝ていた。

ザハラは、一度も学校に通ったことがない。彼女はほとんど家から出ることはなかった。両親は、彼女が転んでけがをしたり、他の子どもたちにひどい扱いを受けたりするのではないかと心配していた。彼女は目が不自由なため孤立していた。

手術後に見せたザハラの変化

ワシニュスキー夫妻は、これまでにライオンズの青少年交換（YE）により数十カ国の100人以上の青少年を受け入れてきた。その経験から、感受性が強い青少年が、新しい環境にどのような影響を受けるか知り尽くしている。

そんな彼らでさえも、ザハラの変化には目を見張る。視力を得ることで新しい見通しが出てきたからだ。

彼女はビデオ鑑賞を楽しみにしていたが、特にお気に入りはジュディ・ガーランド主演のかつての名画『オズの魔法使い』だった。

「彼女は分かっているのよ」

と、ダイアンは主張する。

彼女が大好きな場面は、臆病なライオンが魔法使いに勇気を懇願するところだ。家に帰りたいと願う少女ドロシーと、それぞれ欠点を持つ3人の仲間を描いた映画の中の「何か」に、彼女は共鳴したのだろう。

ケンペン軍曹とザハラの出会い

約1年前、当時イラクに駐在していたアメリカ陸軍のジョン・ケンペン軍曹は、兵士たちが投げたキャンディーを、ある少女だけが一度もつかめていないことに気が付いた。彼女は痛みがあるのか、目を手で覆いながら立ちつくしているだけだった。

ザハラの目が見えないことに気付いた軍曹は、彼女を衛生部隊に連れて行った。その後、イラク人の医師と話をしたが、彼らではどうすることも出来ないとの返事だった。

ケンペンはウィスコンシン州北西部のクランドンに住む母親に、悲しい少女の話を伝えた。彼の母はライオンズに助けを求めることを提案し、クランドン・ライオンズクラブのフランク・ボセック元会長に連絡を取った。ライオンボセックは躊躇することがなかった。

「これこそ、ライオンズがやるべきことです。目の不自由な人たちを救うことです。私にとって子どもたちが最優先なのです」

ザハラを援助するために協力したのはクランドン・ライオンズクラブ、27B-2、27C-1両地区（ウィスコンシン州）のライオンズ、州都マディソンにあるライオンズ・アイバンク、アスピラス・ワウサウ病院とフラレティー博士、そして国際協会だ。

「これは奇跡」。祖母はそう語った

ブシュラは、ザハラがイラクに帰ったら、今までと全く違う生活を送ることになるだろうと話した。

「彼女は学校に通います。他の子どもたちと遊びます。そして危険を回避します。これは奇跡です。視力がすべてです。目が見えなければ、何が出来るでしょう」

ワシニュスキー家にはYE生の写真で埋め尽くされているポスターが飾ってある。ザハラもまもなく、世界中に散らばった彼らの家族の一員になることだろう。

「（もし彼女が視力を取り戻していなかったら）彼女に何が起こっていたか、誰にも分かりません」

ダイアンは少し目を潤ませながら語る。

「またキャンディーを投げ始めたら、彼女はきっと独り占めにしてみんなを驚かせることでしょう。彼女は誰にも負けないわ！」

奔流50年　回想の日本ライオンズ

第12回（最終回）

災害列島日本に愛の手を

噴火、水害、大地震などに救援活動相次ぐ

日本列島は災害列島でもある。そのこともあってか、日本のライオンズクラブは草創期から地域を超えて多くの合同救援活動を展開してきた。

初めの頃、ライオンたちは寄金を持ち寄り、まとまった金額にするために力を合わせた。それが社会にライオンズクラブの存在を知ってもらう一つの力になった。初期の合同事業を見ると、災害見舞いがずらりと並ぶ。合同事業第1号は1955年のミンダナオ島地震見舞いであった。第2号が新潟大火、次いで北海道冷害（56年）、九州地方水害（57年）、伊勢湾台風（59年）、チリ地震津波（60年）、筑豊炭鉱災害（61年）、新潟地震（64年）、北海道冷害（64年）と続く。

60年代初期に集められた寄金は、1人当たり100～200円というケースが多かった。都市銀行の大卒初任給が2万円前後という時代だった。

伊勢湾台風の際には、名古屋の会員たちが自らの被災にひるむことなく、災害救援に立ち上がった。その年、名古屋では年次大会が予定されていたが、さすがに大会を開く余裕はなかった。窮状を見かね、新潟ライオンズクラブと新潟イースト・ライオンズクラブが肩代わりを申し出た。新潟ライオンズクラブは55年の新潟大火に対する全国のライオンズの救援活動がきっかけで誕生したクラブだった。

70年代、80年代と被災地への支援、救助活動が続き、雲仙普賢岳噴火災害の際には、被災者の会員親子が公共機関の回復の日まで、スクールバスの運行奉仕を続け、地域に感謝の声が広がった。

1995年、阪神淡路大震災ではライオンズが迅速な救援活動を展開した

ライオンズクラブの災害への救援活動が余す所なく発揮されたのが、95年1月の阪神淡路大震災への救援活動だった。

初めはすべてが混乱の中にあった。地震発生の翌日、被災地兵庫県のライオンたちが活動を始める。中ライオンズクラブと加美ライオンズクラブの会員が水と食料の救援を開始した。翌19日、広島県・呉うるめライオンズクラブが水と食料を、山口ライオンズクラブからは医師と看護師が医薬品を満載した救急車で駆けつけた。20日、東京で緊急のガバナー協議会議長連絡会議が開かれ、全国の会員に1人当たり2千円以上の義援金の拠出が呼び掛けられた。神戸の隣・明石市の明石魚住ライオンズクラブが連日の炊き出し奉仕を展開すれば、女性だけのクラブ兵庫県・福崎サルビア・ライオンズクラブもボランティアの一員として神戸に駆けつけた。

被災地のライオンたちも奮起し、「頑張ろう！神戸」キャンペーンを展開した。震災発生から半年間でライオンズのアクティビティは5370件、約20億円に達した。

この後も、新潟県中越地震や今年発生した中越沖地震などに救援の手が差し伸べられていく。日本にライオニズムの灯が点って半世紀、かすかで小さかったともしびが、年を経て巨大な友愛の炎となり、燃え盛っている姿であった。（原武夫）

酵素とは?

酵素は消化・吸収・燃焼・排泄などのさまざまな生命活動の過程で行われる化学反応が円滑に行われるための潤滑油のような働きをしています。人間をはじめ、植物や微生物に至るまですべての生物が持ち備えているものです。

体内には5000種類の酵素が存在しています!

体内には、およそ5000種類の酵素が存在しているといわれています。その働きは大きく二つに分類されます。

一つは「消化酵素」です。消化酵素は食べたものを消化し、栄養素を吸収しやすい形にします。消化酵素の分泌が十分に行われている人は、食べたものを効率よく消化して、無駄なく栄養素を吸収できます。逆に消化酵素が不足すると、消化・吸収がうまく行われません。

もう一つが「代謝酵素」です。代謝酵素は体内に吸収された栄養素を使ってエネルギーを作るなど体のさまざまな機能を行うために重要な役割を担っています。

食生活で体内酵素が失われつつある?

人間の体の中でつくられる酵素の量は決まっているという説もあります。人は年をとると酵素をつくる力が衰えてきます。お酒の飲みすぎ、喫煙、睡眠不足、偏った食生活や不規則な生活をする人は、アルコールや疲労素を解毒・排泄するためにたくさんの酵素が使われ、体内の酵素が減少します。

酵素は食べ物にも含まれていますが、多くの食べ物では熱に弱い酵素が加熱調理によって破壊されてしまいます。

食べ物から酵素を摂りいれる。

酵素不足を解消するには、外から酵素を補う必要があります。漬物や納豆、みそ、ヨーグルトなど発酵食品には、発酵段階で有益な微生物がつくり出す酵素が豊富に含まれています。酵素不足を補うには、発酵食品を摂りいれると効率的です。

発売元 阪神ケミカル株式会社(阪神グループ)
代表取締役会長 高田 眞(富山ライオンズクラブ会員)
詳しい内容の資料請求は… お電話 0120-706-374 FAX 052-203-8179 氏名(フリガナ)・住所電話番号を明記の上、お申込み下さい。

総代理店 大和製薬株式会社
商品情報ホームページは 大和製薬 検索

未来を担う子どもたちを守る、青パトロールカー

熊本中央ライオンズクラブ／協力：熊本県・八代、天草本渡、阿蘇小国郷、熊本菊南各クラブ

LCIF一般援助交付金：23,583ドル／事業完了日：2007年8月28日

熊本中央ライオンズクラブでは1年程前、45周年記念事業に何をするかが話題となり、過去の記念事業を紐解いてみた。記念植樹、銅像の建立など数々のアクティビティを行ってきたが、そのほとんどは、長きにわたって形に残るものだった。

そこで今回は、将来への大きな芽を育てようと、青少年の健全育成に役立つ計画が練られた。

青パトロールカーの存在

最近、子どもへの暴力、虐待、イジメなどの問題がマスコミで扱われない日はない。次世代を、また未来を担う子どもたちが危険にさらされている。

その子どもたちの安全を守るためには、地域が一丸となって防犯活動を支援していくことが必要なのではないか。そんなことから、「青パトロールカー」の存在が浮上した。

青パトロールカーとは民間の地域ボランティア団体が、防犯のために巡回している青色回転灯付パトロールカーである。しかしこの青パトロールカー、まだ普及率が低い。よって事業を行うに当たっては、各地域の警察と自治体の協力が不可欠であった。

5地域のクラブとの共同事業

執行部(当時)は、熊本県警に相談を持ち掛けた。県警はすぐに対応してくれ、県下の防犯協会に呼び掛けて、青パトロールカーの導入希望を募った。すると、五つの地域の防犯協会から要望があるとのことだった。試算してみると、ざっと600万円強。

「単独事業ではちょっと重荷だが、何とかならないものか」

クラブのパワーが集中した。

「LCIF一般援助交付金を申請し、該当地域にあるライオンズクラブと共同事業としてやるのはどうだろう」

年が明け、五つの防犯協会が確定し、その地域のライオンズクラブ(八代、天草本渡、阿蘇小国郷、熊本菊南)に話を持ち掛けてみることにした。すると、快く賛同を頂くことが出来た。

2006年6月から念入りな調査、協議を重ね10月31日、やっとLCIF交付金申請書の提出にこぎつけた。

07年4月18日、無事申請が承認され、援助交付金が入金される。いよいよ事業の発進である。

青パトロールカーと一緒に寄贈する防犯グッズ(防犯ベストと帽子)の準備に時間が掛かり、予定より2カ月遅れとなったが、8月28日、熊本県庁駐車場にて熊本県警、各防犯協会、五つのライオンズクラブ並びに報道各社を交えて贈呈式を実施。4台の青パトロールカーと防犯グッズ250組を、各地域の防犯協会の方に持ち帰って頂いた。早速翌日から活躍しているそうだ。

今回の事業を通して、子どもたちの元気な姿を見るのが楽しみとなった。これからも、子どもたちの安心安全が高まることを願い、ウィ・サーブの精神で奉仕を続けていきたい。

戸田強(熊本中央ライオンズクラブ会長)

ライオンがくれた「魔法のめがね」

コロラド州ウィンザーに住むクロス・バーチェット君は、ゲームやパズル、両親が読んでくれる童話が大好きな3歳の男の子。託児所から、ライオンズクラブが無料で提供する視力検査の知らせが来た時も、両親はクロス君の視力について特に心配はしていなかった。そのため検査の後、クロス君に重度の遠視の可能性があり、眼科医の診察が必要だと言われた時は非常に驚いた。

地元の眼科でも診断ははっきりしなかった。3メートル先の絵を見る検査では、クロス君が何も答えないので、眼科医は検査をあきらめ、小児科医へは「無反応児」と伝えた。帰り道、母親のケリーが「なぜきちんと答えなかったの」とクロス君に聞くと「絵が見えなかったから」と答えた。

その時初めて、両親はクロス君が極度の弱視のため、片方の目だけで生活していたことを知った。託児所でも誰もそのことに気付かなかった。もしライオンズによる「就学前児童向け視力検査プログラム」がなければ、クロス君が学校に通い始めるまで、視力障害を持っていることに気付かなかったはずだ。

ケリーさんは次のように話している。

「息子が初めて眼鏡を掛けた日、ライオンズの皆さんにもそばにいて頂けたら……。息子は眼鏡をかけて主人を見上げるなり『パパって、とっても大きいんだね。はっきり見えるよ』と言ったのです。家に帰る途中、車から外の街路樹の枝を見ながら『木に、何かとんがったものがついているよ！』と言ったり、妹の顔をまじまじと見つめていたり……。ライオンズクラブのおかげで、息子の世界がいっぺんに明るくなりました。これからもクロスのような子どもたちを支援し続けてください」

このバーチェット家の様子が最近、コロラド州のテレビ番組で取り上げられた。収録の間中、クロス君はまるで魔法を掛けたように何でもはっきり見える自分の眼鏡のことを「魔法のめがね」と呼んでいた。

家族と一緒に「魔法のめがね」をかけて微笑むクロス君

児童の視力障害は珍しくなく、中でも弱視は失明の主な原因となっている。就学前児童向け視力検査は1999年からLCIF四大交付金プログラムの一つとなった。ライオンズが実施する視力検査活動に交付金を提供し、弱視の兆候を早期に発見・治療することで幼少時の失明を防止する活動を支援している。残念ながら、未就学児童の視力検査率は低い。効果的な治療を受けるためには、早い段階で検査を受けることが最も重要である。

プログラムの対象は1～5歳の子どもで、検査はボランティアが行う。検査結果はデータベースに蓄積され、その後の専門医によるフォローアップ検診の内容も記録される。

ライオンズクラブはこれまでに、65万人以上の子どもたちの視力検査を行ってきた。検査後、専門医の診療を受けた児童は全体の6％、うち65％が弱視の可能性ありと診断された。この結果からも、就学前児童の視力検査プログラムが非常に意義のある活動だということが分かる。プログラムに関する詳しい情報は、公式サイト（www.lionsclubs.org/JA/content/lcif_gr_child_photo.shtml）で確認出来る。

CSFⅡ Report

大森山動物園のジャズ・フェスタでCSFⅡをPR

秋田山王ライオンズクラブ

2006年8月16日、秋田山王ライオンズクラブと大森山動物園（市営）、スペシャルオリンピックス日本の共催で「第1回 NIGHT ZOO JAZZ FESTA in MILVE―守ろう秋田のゼニタナゴ―」が大森山動物園で開催された。このフェスタでは、「CSFⅡを市民に広くPRし、人道的活動の理解と参加を呼び掛ける」「大森山に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴを守る」「障害者・一般市民に本場のジャズを共に楽しんで頂く」という趣旨の下、視覚・聴覚障害者と一般来園者をジャズ・ライブに無料招待した。結果、収益はなかったものの、千人を超す来場者があり大盛況であった。

継続事業としての自信

事業終了後、来場者や障害者支援団体の多くから「来年も開催してほしい」との熱望があった。また驚いたことに、ニューヨークのミュージシャンから参加依頼のメールも入った。これがきっかけで、継続事業としてやれるのではないかという、自信がクラブ内に生まれていった。

今年度、工藤裕会長は事業の継続を決定。「今回こそは、CSFⅡを成功させるべく工夫を凝らし研鑽していかなければ」と、クラブに一つの目標が出来た。

昨年の事業資金は、協賛広告と寄付だけでなんとか賄えた。が、継続事業となるとそうはいかない。新企画を練るに当たり、まずは本来の目的である収益について思案がなされた。「フェスタを開催したことで、大森山動物園の来園者数が千人増の6千人にもなったのなら、園内を区切って入園料（500円）とは別にチケットの販売をしてもいいのではないか」「ジャズ・フェスタは約4時間。入場者が飲食出来るように、売店を出してはどうか」など、次々と新収入源の開発がなされていった。

他団体との共催で効果拡大

2007年8月17日、いよいよ「第2回 NIGHT ZOO INTERNATIONAL JAZZ FESTA in MILVE―守ろう秋田のゼニタナゴ―」が、夕方17時45分から同動物園のピクニック広場で開催された。今年は秋田山王ライオンズクラブと大森山動物園、中途視覚障害者に光と希望を願う会の共催であった。ジャズ・ライブは、海外ミュージシャン2組を加え、演奏家のレベルアップを図った。昨年に引き続き、入場者は千人を超えた。そして収益金の一部は、ゼニタナゴ募金と中途視覚障害者に光と希望を願う会へ寄付した。

2年の事業経験から、思いを同じくする地域の他団体との共催は非常に有効であると痛感した。その活動の中で、会員一人ひとりがリーダーシップを発揮することが出来れば、ライオンズクラブの地位向上につながると思う。これからのライオンズクラブの活動は、地域に対して確固たる実績を残すことが発展の道だと確信している。

（関昌威前会長）

SightFirst Update

これまでに拠出した視力ファースト交付金は合計2億1,100万ドル以上に

視力ファースト諮問委員会は8月に合計14件、総額620万ドルの交付金を承認した。

視力ファーストは1990年に交付金の拠出を開始して以来、今までに2億1100万ドル以上を交付してきた。最初の視力ファースト・キャンペーン（CSF）を通して集められた基金が底をついてきたため、視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）が早急に必要となった。

今回承認された交付金の一つに、エチオピアのライオンズ及びカーター・センターに対する310万ドルの事業がある。これは、2年間にわたるトラコーマ制御活動（2007年9月開始予定）、及び1年間にわたるオンコセルカ（河川失明）症抑制活動（2008年9月開始予定）の資金を賄う。

エチオピアのアムハラ地域は、痛みを伴い失明する可能性がある伝染病トラコーマの感染率が高い地域である。エチオピアでは、1千万人以上がトラコーマを患っている。LCIFからの交付金は、最も必要な地域でトラコーマ撲滅の取り組みが続くことを保証している。

「私たちは必ずこのプロジェクトに全力を尽くしますので、ご安心ください。私たちの目的はトラコーマとの大きな戦いに打ち勝つことです」

とエチオピアの交付金運営管理者であるライテベベ・Y・ベルハンは話す。

ライオンズとカーター・センターによるこの取り組みは6年間にわたる継続事業で、これまでにLCIFから1620万ドルの資金援助を受けている。ライオンズとカーター・センターは、最近の交付金を使ってOEPA（アメリカ・オンコセルカ症根絶計画）とAPOC（オンコセルカ抑制のアフリカ・プログラム）と協力して、アフリカとラテンアメリカにおけるオンコセルカ及びトラコーマとの戦いを続けている。感染症患者の苦しみが軽減され、この分野において著しい進展が見られたのは、これらの団体の協力によるところが大きい。

「同じライオンズの仲間として、私はこの成功をどれ程誇りに思っているか伝えたいと思います。これは私の人生の中で、最も喜ばしいパートナーシップの一つです」

元アメリカ大統領であり、ノーベル賞受賞者でもあるジミー・カーター元地区ガバナーは、2007年のシカゴ国際大会でライオンズと視力ファーストについてこう語った。

ライオンズは、承認された9件の交付金を活用し、インド、ネパール、スリランカ、ケニヤ、グアテマラの各地域で十分な眼科サービスを受けられずにいた、視力回復手術を心底必要とする患者を対象に10万8500件の白内障手術を提供する。視力ファースト基金を通して、既に730万件の白内障手術が実施された。

エチオピアの羊飼いの子どもたちはトラーコーマにかかる危険性が高い。ライオンズは市民に洗顔と環境の変化について指導している（写真／ソニア・ペレトロー）

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は62ページ、または『ライオン』誌ウェブ・マガジンをご覧ください。

福井葵ライオンズクラブ
どろんこ祭り共催

福井葵ライオンズクラブ（木下賀之会長／79人）は9月2日、休耕田にどろ田を作ってのどろんこ祭りを開催。参加した子どもたちはコンクリートの上でなく、自然の中で遊ぶ楽しさを体験した。

地域特有の資源である田んぼを遊び場として活用し、地域の子どもが大学生や大人と触れ合うという、世代を超えた交流が目的。福井大学、JA福井市、岡保地区と共催している。

コンセプトは「素」。大人も子どもも素に戻ってどろんこの中で夢中で遊ぶことで、自然を身体全体で感じることが出来るイベントだ。

当クラブは更にイベント開催と並行して餅つき大会とコマ回し教室、手作り輪投げの三つのテント村を設営した。餅つき大会は地元、岡保地区の女性の方々の協力を得ながらメンバーが杵を振るい、きなこ餅などにして配った。大人気を博し、お昼休みと相まって、つきたてのお餅には長い列が出来た。子どもたちは初めてお餅をこねて楽しそう。久しぶりに大変な肉体労働だったが、地元の方々とすてきな協働が出来た。

コマ回し教室ではメンバーが昔取った杵柄で伝統技を伝授するという企画で始めたが、これがなかなかうまくいかない。だんだんと真剣になっていき、子どもたちから笑われてしまった。終始笑い声と歓声に包まれ、子どもたちの瞳も輝いていた。

手作り輪投げでは、地元のお年寄りに習い、自分たちで縄をなって輪を作り、それで輪投げをしようという手作りの楽しみを演出した。簡単そうでなかなか難しく、若いメンバーも四苦八苦。子どもたちに負けじと汗を流していた。

今回は大学・JA・地元とライオンズという協働でのイベント開催だったが、上手に役割分担出来たと思う。ご協力を頂いた皆様にお礼を申し上げたい。

（PR委員会）

連絡先↓0776・33・1862

（編）用意された休耕田は長さ60メートル、幅30メートルあり、親子連れなど約250人が全身泥まみれとなって楽しんだようです。

山梨県・南アルプス・ライオンズクラブ

心身障害児（者）野外療育訓練に参加

イラスト／篠田和夫

7月26、27日、中巨摩心身障害児（者）父母の会主催の野外療育訓練が静岡県西伊豆町の宇久須海水浴場で実施された。参加家族45人の他、職員やボランティア、相談員、看護学校生と、南アルプス・ライオンズクラブ（新津辰夫会長／147人）から4人の総勢57人が参加した。

新津会長が「年に一度の親子での海水浴を大いに楽しんでください」とあいさつ。リフト付きバス2台に分乗し出発。車中ではゲームや歌などで楽しい時間を過ごし、大仁洋らんセンター、土肥金山での昼食を経て目的地に到着した。早速着替えて待ちに待った海水浴。浮き輪を使い家族と沖まで行ったり、車いす使用の子どもたちはボランティアの協力を受け、ゴムボートに乗り歓声を上げた。更に砂浜でのスイカ割りなど楽しいひと時とスイカの甘い味も、忘れられない思い出となったようだ。

翌日、東海地方は梅雨明け。すばらしい天候に恵まれた中を一路、三津シーパラダイスへ。水族館、シャチの海、イルカのショーを見学し、途中、沼津の魚センターで土産を買い、帰路に着いた。

2日間の野外療育訓練に参加し、障害を持った子どもたちの笑顔が今でも心に残っている。ご両親を含め彼らとの交流は良い経験となった。最後に、訓練に携わってくださった多くの皆様に心から感謝を申し上げたい。（社会奉仕委員長／清水富雄）

連絡先→055・283・1325

（編）皆で楽しい時間を過ごし、子どもたちにとって、この夏いちばんの思い出になったことでしょう。

兵庫県・川西中央ライオンズクラブ

子ども将棋大会を実施

川西中央ライオンズクラブ（村山興治会長／24人）は、川西市子ども会連絡協議会と共催で毎年「子ども将棋大会」実施している。今年も9月8日、第30回大会を川西市役所大会議室で開催。44人の豆棋士が参加し戦いを繰り広げた。

長年にわたり当クラブでは上位入賞者にメダルを授与し、その栄誉を称えてきた。村上会長は「私の息子もこの将棋大会でメダルをもらい、今でも大切に保管しています」とあいさつ。「始め」の号令で一斉にスタートすると、小学生から中学生までが真剣な面持ちで盤面を見つめて一手一手駒を進め、会場いっぱいに緊張が走った。大勢の保護者は後部座席から熱い視線を送った。

日本の伝統ある将棋は、大人、子どもに関係なく礼儀やルールが重視され、先を読む力が求められる。将棋を学び体験することにより、日本人が失いつつある良き品格を身に付けて良きリーダーになることを願い、今後も事業を継続していきたい。（第2副会長／横山道雄）

連絡先→072・758・3099

（編）参加者だけでなく、保護者や会員も会場の手に汗握る攻防にハラハラドキドキしたことでしょう。

北海道・恵庭ライオンズクラブ

青少年サイクリングのつどい

恵庭ライオンズクラブ（村本隆二会長／84人）は9月23日、「第22回青少年サイクリングのつどい」を開催。当日は澄みきった秋晴れの中、約150人の親子が、朝早くから恵庭市中島公園に集合した。

この事業は青少年健全育成の一環として、親子の触れ合いと交通安全の啓発を目的に、団体行動を通じて心身を鍛え、楽しい出会いと思い出作りをしてもらおうというもの。

午前10時、約14キロにわたるサイクリングがスタート。参加者たちは恵庭岳から流れる美しい漁川の河川敷を楽しそうにペダルを漕いだ。途中、中恵庭公園での昼食では豚汁サービスがあり、おかわりをする子どもの列が出来、250食を完食した。

その後はゲーム大会で大いに盛り上がり、他校の子ども同士の友情も芽生え、その様子を見守る父母の温かい眼差しがとても印象的だった。

また、5メートル四方のいけすを作り、ニジマスやヤマメのつかみ取り大会を実施。子どもたちはびしょ濡れになりながら魚を追いかけた。

中には子どもの頃に参加したという親も。昭和61年に始まった事業だが、継続の大切さと感謝の気持ちでいっぱいになった。

ゴールの後、参加賞を手に「疲れたけど楽しかった！」「またね」と手を振る子どもたちの笑顔がいつまでも心に残った。

（PR委員長／岡田広幸）

連絡先↓0123・33・9198

（編）つかみ取り大会では6歳の女の子が50センチの大物をゲットして、大きな歓声を浴びていたそうです。

新潟南ライオンズクラブ

中越沖地震を乗り越えサッカー大会

新潟南ライオンズクラブ（伊藤和子会長／43人）は8月3日、4日の2日間、少年たちの更なるサッカー技術向上と健全な心身の育成、発達を願って「第1回新潟南ライオンズカップ　グランセナ・釜本サッカーフェスティバル」を主催。猛暑の中、メンバー総出で運営に携わり、選手たちと共にさわやかな汗を流した。

大会は12歳以下で構成する選抜チームで、県内14チーム、県外2チームが参加してリーグ戦と決勝トーナメントで競われた。

わずか2週間前に中越沖地震が起きたばかり。甚大な被害のあった柏崎からも2チームの参加予定があり、その他のチームも交通規制などで予定時間に集まれるか、ぎりぎりまで開催を心配した。そうした中、競技委員や各チームのスタッフ、何よりも少年たちのサッカーへの熱意でこの開会に至ったのだった。

開会式では伊藤会長から「地震に負けないで思いっきり練習の成果を出してください」とあいさつがあり、名誉会長である日本サッカー協会の釜本邦茂副会長からは「日本代表、そして世界に羽ばたく選手を目指してほしい」との激励。その言葉に目を輝かせ、奮闘する少年たちを見て、逆に勇気をもらった大会となった。

（幹事／小林芳樹）

連絡先↓025・228・8864

（編）子どもたちは地震という不安と戦いながらも、仲間と共に気持ち良い汗を流したことでしょう。

埼玉県・浦和ライオンズクラブ

新潟県中越沖地震復興へ向けて

２００４年10月に起きた新潟県中越地震からいまだ復興中にもかかわらず、今年7月16日、今度は新潟県中越沖地震が柏崎市を中心に発生、多くの地域で更なる被害を被った。

浦和ライオンズクラブ（26人）は7月22日、旧中山道を中心にした「浦和まつり」で緊急救援募金を行い、多くの市民から浄財をお預かりした。その総額は13万２８７９円。協力者の3分の2はお祭りに来た若者たちで、少ないお小遣いの中から気持ちよく募金する姿に、日本の青少年はまだまだ大丈夫だと強く感じた。

そして8月9日、募金を柏崎ライオンズクラブ（五十嵐紀代年会長／58人）に寄託するため柏崎に向かった。現地では、連日の復旧活動に奮闘している五十嵐会長を始め三役の皆様が対応してくださり、救援金を直接手渡すことが出来た。我々は目前に広がる災害の爪痕に初めは言葉を失ったが、老若男女がそれぞれの立場でベストを尽くし復興作業に励む姿を見て、究極の場面で発揮される日本人の心の強さと優しさをしみじみ感じ、胸が熱くなった。

更に9月1日から4日まで、さいたま市民会館うらわにて柏崎視察報告として「新潟県中越沖地震写真展」を開催。会場には連日多くの方々が見学に訪れ、関心の高さをうかがわせた。見学者の中には、柏崎出身の方もおり、タイムリーな企画に共感して頂いた。

昔のことわざで「地震・雷・火事・親父」と言うが、地震の恐ろしさをしみじみと見せ付けられ、常に防災には心掛けるべきだと痛感させられた。

がんばれ、被災された皆さん!! そして一日も早い復興を心から祈念致しております。（会長／小松豊吉）

連絡先↓０４８・８３２・２３６７

（編）写真展はＵＲＡＷＡヤングママの会共催、柏崎ライオンズクラブ協賛、埼玉新聞社後援で開催され、埼玉新聞に大きく紹介されました。

滋賀県・近江守山ライオンズクラブ

目田川カキツバタ植栽事業

近江守山ライオンズクラブ（長谷川裕士会長／54人）の名称は、「琵琶湖（うみ）に近い所」の意と、「比叡山の東を護る寺＝護山寺」から成る。後世、護山が守山となった。当地では、近江源氏に由来する「源氏ボタル」が昭和36年頃まで名を馳せた。守山は自然環境に恵まれた地であった。

県内でも湖南地域は琵琶湖浄化を最大の命題として、下水整備、川の浄化、水質向上のための施策を打ち、随分改善されてはきた。が、守山市内の里川等には手付かずのものがあり、当クラブが3年前から、守山市、自治会、河川関係者と共に取り組むのが、市内中心部を流れる一級河川目田川の川岸に作った多目的公園である。除草、川の整備、次にホタルのすめる環境作り、更に四季咲のカキツバタの植栽も実行に移し、いくつもの難問をクリアしてきた目的はアメニティー守山の実現である。ボーイスカウト、ガールスカウトとも協力し２００７年６月、第一次植栽の２５０株のカキツバタが立派に咲いた。その後も川の流れの調整をしながら、近いうちに市民を巻き込んだ取り組みをと、守山市職員互助会の方々と熱く語り合っている。

ごみ拾いから始まり、市民の憩いの場を作っていく地道なアクティビティこそ、献血に続く、大きな目玉奉仕事業として育っていくものと確信している。　（元会長／南井繁樹）

連絡先→０７７・５８２・３５９４

（編）同クラブの献血活動では、21年間連続１００万CC採血達成中だそうです。

北海道・帯広ライオンズクラブ

ミニバスケットボール大会を開催

帯広ライオンズクラブ（高井信夫会長／40人）は8月25日、26日の2日間にわたり、帯広市立柏小学校と明星小学校の体育館2会場にて「帯広ライオンズクラブ杯帯広市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会」を開催した。この大会は今回で30回を重ね、当クラブ主催となってからは8回目となっている。青少年育成を重要課題とする当クラブが、レオクラブ活動と共に近年大いに力を入れている事業だ。

大会には男子16チーム、女子17チームが参加。それぞれ3部編成となり、約５００人の選手が各部優勝を目指した。

試合のハラハラ感もさることながら、びっくりするようなスピード感、そして個人技とチームプレーのコラボレーションには毎回感心させられ、観戦を楽しみにしているメンバーも少なくない。

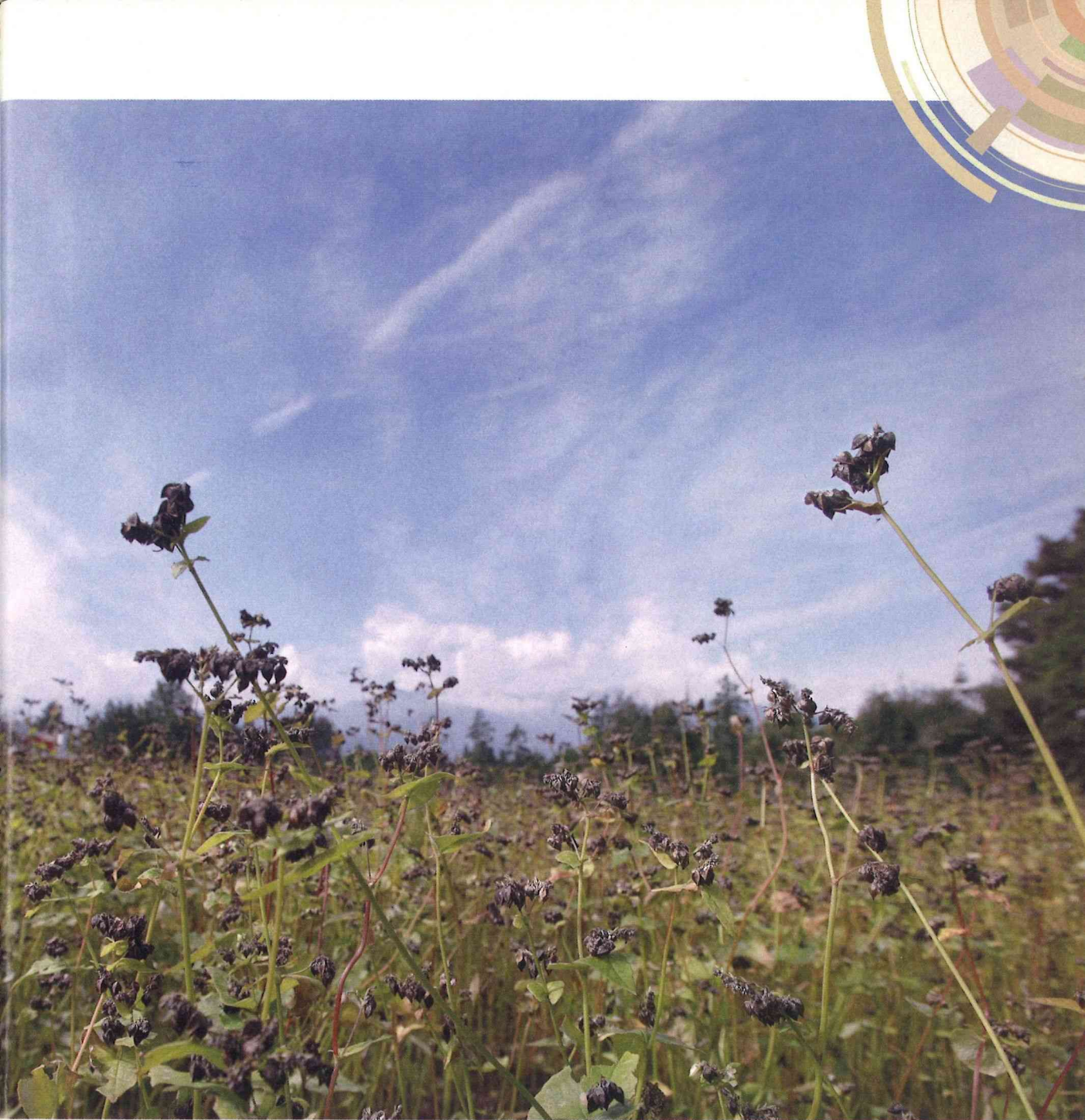
大人の完成されたプレーとは一味違い、子どもたちの一生懸命なプレーは、スポーツの原点を感じさせてくれる。幼い頃からスポーツを通じ、団体活動を身につけて行くことは将来にわたり大きな財産となるだろう。また、応援する父兄の熱い思いに触れることも出来、この大会を大変誇りに思えるのである。

（ＰＲ情報委員長／豊田典正）

連絡先→０１５５・２３・６７０５

（編）大会に参加した少年たちがライオンズに入会し、会員として活躍する日も遠くないかもしれませんね。

長野県伊那市
今年の新そば、出来は如何に。「信州そば発祥の地」を訪ねて。

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

そば畑の意外な事実

信州そば発祥の地が長野県伊那市にあるという。何でもその歴史は奈良時代にまでさかのぼるらしい。ちょうど10月も半ばを過ぎた新そばの季節だったこともあり、そのそばを求め長野へと向かった。

西に中央アルプス、東には南アルプスを仰ぎ、「暴れ天竜」の異名を持つ天竜川に沿って南北に伸びる県南部の盆地・伊那谷。比較的温暖で降水量も多いことから、この地域は古くからの米どころで、稲作を中心に果樹や酪農などさまざまな農業が営まれている。余談だが、日本三大桜の名所に数えられる高遠城も、古くからこの伊那谷の要所であった。

総面積の8割以上を山地が占め、ほとんどが火山灰土で覆われている信州は稲作には不向きな土地が多いが、やせた土地程よく育つそばには格好の土地柄。その上、一日の寒暖差が激しく朝夕に深い霧に包まれる気候は、良質なそばを育む最高の条件だ。だとすれば、稲作の盛んな伊那はそば作りに適していないかというとそうでもない。実際はそばの収

【扉写真】信州産そば粉だけで打った十割そば
❶8月上旬にまかれたそばの種は、通常75日後に収穫される。今年は、台風にもやられず出来映えは上々
❷収穫はコンバインで行われる。土を掻き込むことなく茎ごと刈り取り、機械がゴミとそばの実を選別する
❸「早刈りのそばっておいしいんですよね」と目を細める田中さん

穫量が県内第2位のそばどころである。

「伊那のそばの多くは田んぼで作っています。厳密に言うと元田んぼ。稲作の減反（生産調整）としてそばを作っているのです」と話すのは、JA上伊那OBの野笹吉男さん。

伊那市を中心とした2市4町4村で構成される上伊那地区全体で今年は約300ヘクタール、伊那市だけで133ヘクタールの土地でそばが作られている。そばの産地として名高い戸隠よりも作付け面積では規模が大きいという。野笹さんが指さす先には、既に白い花を落としたそば畑があった。これからちょうど、そばの収穫が始まると言う。

待ちに待った新そば収穫の日

そばは、刈り取るには最高の状態だった。葉が落ち始め、実の約9割が黒々となり、霜が降りる直前が刈り時である。

畑の主、田中淳尋さんは7年前に脱サラし市内でそば屋を営んでいる。店では1日限定30食しかそばを打たないというこだわり派。ひき立て、打ち立て、茹でたてのそばを提供するだけではなく、そばを育てるのもすべて自分でというスタイルを貫いている。普通は農家に生産を委託し、乾燥済みのそばの実、もしくはひいたそば粉を納品してもらうケースが多いというから、田中さんのように

❹タンタンタンッと素早いテンポでそばを切っていく伊藤さん。20人前はあろうかというそばは、2分も掛からないうちに切り分けられた
❺新そばのシーズンを前に、市内の内の萱で開かれる「行者そばまつり」。奈良時代、駒ケ岳を目指す道中に立ち寄った行者がそばの種を置いていったという故事にちなんだイベントだ
❻焼きみそを混ぜた「辛つゆ」で食べる行者そばに、約2千人が舌鼓を打った

一から作るそば屋は珍しい。

そば畑は、自分の土地と借りている土地を合わせて0・4ヘクタール。昨年は120キロのそばの実を生産した。自分の手で土を起こして、種をまいて、収穫だけ機械を持っている組合に協力してもらう。大変な労力だろうと田中さんに伺うと、意外にそうでもないようだ。

「種は筋にまくのではなく、ばらまき。肥料も虫よけもしない。水はけさえ良ければ、そばは勝手に育ちますから、思った程の手間は掛かりません」

水はけが悪いと、そばは絶対に芽を出さない。「やせた土地程よく育つ」というのにもちゃんと根拠があるのだ。種をまいてすぐに夕立が来て地面が乾くような土地ならば、3日ぐらいで発芽する。この辺りのそばは8月上旬にまいた種を10月半ば頃に刈り取る。青い袋の中には収穫されたばかりのそばの実が30キロ。触ってみると少し湿り気があった。

ふるいで大きなゴミや、約5パーセントは混じっている使えない実を取り除き、機械や天日で実を乾燥させる。

「この時期ならばだいぶ空気が乾燥しているので2時間天日で干せば十分」と田中さんは話す。乾燥した後石臼でひき、ようやくそば粉の完成。新そばとして振る舞われる。

辛味大根と焼きみそでたぐる、ルーツ「行者そば」

話を「信州そば発祥の地」に戻す。駒ケ岳の麓に内の萱（うちのかや）という集落がある。ここの名物「行者そば」こそが信州そばのルーツだというのだ。

遠く奈良時代の初め頃、修験道の開祖と言われる役小角(えんのおづの)が、修行の地として駒ケ岳へ向かう折、立ち寄った内の萓の人々に受けたもてなしのお礼にと、一握りのそばの種を手渡したのが始まり。

時は流れて天保年間の頃、無類のそば好きであった高遠の初代城主、保科正之公がこの行者そばを好んで食べたと伝えられる。食べ方にも特徴があり、大根の絞り汁と焼きみそを入れたつゆに辛味大根おろしとねぎを薬味に添えた「辛つゆ」にそばをくぐらせ、一気にたぐる。余談だが、会津藩に転封となった保科公はそば職人を帯同、更には辛味大根を持ち込んだ。大根の絞り汁で味わう会津のそばには、今も「高遠そば」という名が付けられている。

この行者そば、毎年10月半ばに内の萓で開かれる「行者そば祭り」で味わうことが出来る。

「昔は食糧事情がそれ程良くなかったから、貴重なしょうゆではなく、身近なみそを使ったのではないかと言われています」と話すのは、今から20年前、立ち上げ当初の行者そば祭りでそばを打っていた職人の伊藤祐一さん。「行者そば」という名前が付いたのは祭りが始まってからなのだそう。

10月14日の日曜日、今年も行者そば祭りが開かれた。県内外からそば好きが集まり、例年通り2千食用意されたそばが足りなくなる程の活況を見せた。

蜂の子、イナゴ、ざざ虫

「蜂の子はアツアツのご飯と一緒に。イナゴはご飯でもいいけど、やっぱり酒のつまみだね」

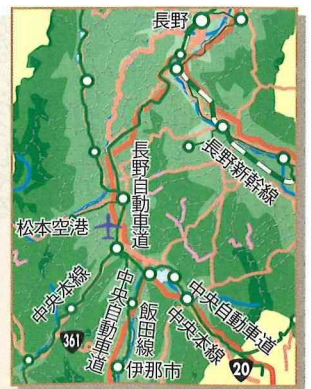
こんなコメントを期待して、昆虫食文化が根付く伊那を訪れたのだが、期待は見事にはずれた。

「好きな人はよく食べるけど、毎日食卓に上がるものじゃないよ。そもそも貴重品だし」というのが本当のところ。動物性タンパク質を摂取しにくい山間部で虫を食べるようになったと言われるが、伊那地方にはそれが食文化として色濃く残っている。

写真右手前から、蜂の子、イナゴ、ざざ虫の佃煮。信州を代表する三大珍味の揃い踏み

しかし、さまざまな食品が手軽に手に入る現代、虫を食べる人は確実に減っている。イナゴも蜂の子も、ほとんどが甘く煮た佃煮として調理されるが、今の子どもはまず食べないという。

寒さも厳しさを増す12月、冷たい風が天竜川の川面を渡ると、おそらく世界でも食用にするのはここだけであろう水棲昆虫「ざざ虫」漁が始まる。ざざ虫は川底の石の下などにいるトビケラやカワゲラといった川虫の幼虫のことで、名前の由来は「ザーザーと流れる川の瀬にいる虫」だから。近年は川漁師の高齢化や、川の護岸工事が進んだせいで収穫量が激減し、今では高級珍味である。やはり佃煮がポピュラーだが、蜂の子やイナゴに比べ口の中にわずかに苦みが残る。通向きの味だそうだ。

長野
長野新幹線
長野自動車道
松本空港
中央本線
中央自動車道
中央自動車道
飯田線
中央本線
伊那市
361
20

クラブ紹介

諏訪湖から南に約20キロ、中央アルプスと南アルプスを望む伊那谷で奉仕活動に精を出しているのは伊那ライオンズクラブ(斉藤喜啓会長/80人)。飯田ライオンズクラブのスポンサーで1963年に結成され、今年45周年を迎えている。

ガールスカウト支援を始め親子坐禅道場、障害者とのクリスマス会、小学生へのおでかけ講座を開催するなど、これまで多彩なアクティビティを行ってきた。07年は、クラブの伝統を守りながらも「チャレンジ&チェンジ」を基本方針とし、その一環として初めての試みとなる「献血例会」を8月に行った。献血や献眼は以前から行っていたが、例会としてメンバー一同で取り組むのは初めて。県赤十字血液センターの協力の下、市民に献血を呼び掛けた。

岐阜県の恵那ライオンズクラブとクラブ名の読み方が似ていることで、また、静岡県の袋井ライオンズクラブとは同じ経度を理由に姉妹提携し、長く交流している。

■伊那ライオンズクラブから読者プレゼントがあります(65ページ)

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

（投稿要領→62ページ）

目配り、気配り、心配り

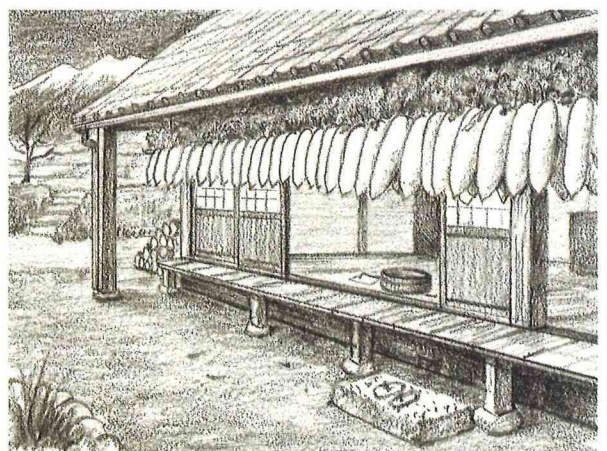
生駒　健之輔（熊本県・人吉）

8月2日午後のことであった。クラブ事務局から「百田勝彦前地区ガバナーから、お届け物があります」と電話があり、早速受け取りに行った。思いも掛けない出来事に、なぜ私に？　という思いと、何千人といる地区内会員の中のたった一人にまでも目配りをしてくださったことが、何よりも嬉しかった。

我クラブでは、クラブ会報を地区ガバナー他数カ所に郵送している。沖縄県で行われた337‐D地区年次大会で、百田地区ガバナー（当時）にお会いした時、

「会報の郵送いつもありがとう。有効に使わせてもらっていますよ」

と、担当者としてはうれしい言葉を頂いた。会報最優秀クラブ賞を受賞しただけでもありがたいことなのに、一層の喜びであった。授賞式では、我がクラブの前田保会長が代表して壇上でアワードを受けるはずだったが、帰路の飛行機の時間の都合で、壇上でというのは叶わなかった。そんなこともあり、前地区ガバナーのご配慮だったのだろう。ねぎらいの意味を込めて、担当者あてに品物を送ってくださったのだと思う。

ここで少し、人吉ライオンズクラブの会報について書かせて頂きたい。会報は、例会案内を兼ね、また例会欠席者も会の流れを把握出来、スムーズに出席出来るようにとの考慮のもとに、第299例会から例会号が毎回発行され、現在第1116号を数える。この299号に、

「この会報は、ライオンズクラブと会員、会員と会員のパイプ役として、またクランプとしての役割を全うすることを目的として発行していきます」と標記してある。そのとおり、例会は欠席しても、会報を読んでよく把握しておられる方もいらっしゃる。

それにしても、前地区ガバナーから一会員にこんな気配りをして頂けるとは思いも寄らなかった。やはり上に立つ人の度量の広さは、すばらしいの一語に尽きると思った。

3年前、こんなこともあった。私は第1回キャビネット会議に、初めての地区役員とし

イラスト／小川和政

て緊張の面持ちで出席していた。この時も突然名前を読み上げられ、ライオン誌ベスト・エッセー賞の受賞を告げられた。「俺はうれしかったつバイ」と本当に喜んでくださったのが、鐵井博キャビネット幹事（当時）。以来、ご好意を頂いている。尊敬する先輩から目を掛けて頂くことがいかに心の励みになるか、計り知れないものがある。

先日、玉川孝リジョン・チェアパーソンの話の中で、

「ことさらあおるつもりはないが、世代交代等もろもろの問題点が予見されるのは明白であり、ライオンズクラブも非常に危機的状況にある」

「ライオンズ・ライフを省みると、すばらしい出会いがあり、先輩ライオンに接し、奉仕の何たるかを学び、ライオンズクラブに在籍していたからこそ今の自分がある」

と言われていた。

人は人によって成長し、人格を高められるが、残念ながら人によって落としめられることもあり得る。また無駄な努力はないが、報われない努力はいくらでもある。しかし、いずれもライオンズクラブには無数の先人のお手本があり、自分もそうなれる可能性があるということである。

今回の出来事で、百田前地区ガバナーのご好意に感謝しつつ、今後の自分がどうあるべきか深く思い巡らす時を与えて頂いた。

（印刷業・55歳）

第90回国際大会によせて

瀬野　和博（愛媛県・今治）

偶然なのか幸運なのか分かりませんが、今回私は、25万人目のメルビン・ジョーンズ・フェローとして表彰されることになり、第90回シカゴ国際大会に参加しました。7月5日の第2回総会での表彰と6日の代議員投票に合わせて、3日に現地入りをしました。

私にとってシカゴは2度目でしたので、あまり不安を感じていませんでしたが、飛行時間11時間余りにわたる長旅は、体力の無さから年齢を実感しました。ホテルにチェックインするや否や、夕方まで仮眠を取る程でした。

夏時間の関係もあると思いますが、午後8時を過ぎる頃、やっと日が暮れてきました。とにかく外に出ようと、ダウンタウンの街中に出てみることにしました。街は通りを一部、歩行者天国としており、大変な人込みで驚かされました。後で分かったことですが、翌日が独立記念日だったそうです。

相当遅い食事になりましたが、まずはステーキでも食べようと思い、シカゴでもそこそこ有名なレストランへ行くことにしました。出てきたステーキは相変わらずデカイ。ポテトも私の手の平ぐらいあり、半分食べるのがやっとでした。

翌4日は、夜7時の日本ライオンズ代議員会・夕食会まで予定が何もありませんでしたので、グラントパーク、シカゴ美術館、運河クルーズ等市内散策を夕方まで楽しむことにしました。

日本ライオンズ夕食会では、こんなに多くの日本人が来ていたのかと思われる程、会場は混雑していました。

5日は今回最大の目的のＭＪＦ25万人目表彰の日。朝、9時過ぎに会場であるユナイテッド・センターに出向きました。会場の大きさに驚き、セッティングの派手さに圧倒され、さすがアメリカだなあと感心しました。

10時に式典が始まりましたが、私の出番はいつになっても来ず、やっと「出番になります」と呼ばれたのが、終了30分前。そして、アショク・メータＬＣＩＦ理事長から紹介されて壇上に上がり、ＭＪＦ25万人記念の盾と写真撮影をして終わりました。この間、たっ

た1分間程で、11時間余りを掛けて太平洋を渡り、このためにやって来たのは何だったのかと、さすがに少し呆れてしまいました。

しかし、会場はNBAのシカゴ・ブルズのチャンピオン・フラッグが天井に掲げられ、スポーツ・エンターテインメントのすごさ、スケールに改めて感嘆しました。

最終日、6日は無事、トラブルもなく代議員投票を済ませることが出来ましたことを付記しておきます。

（海運業・55歳）

がんばれ夕張 がんばれサッカー少年

若狭　祥平（北海道・札幌わかば）

昨年、新聞やテレビの報道で夕張市の財政破綻が連日物議を醸した。同じ北海道に住む我々にも地域の経済破綻はひとごとではない。長く続く経済不況で、第2、第3の夕張市がいつ出てもおかしくない状況であり、その動向が注目されている。

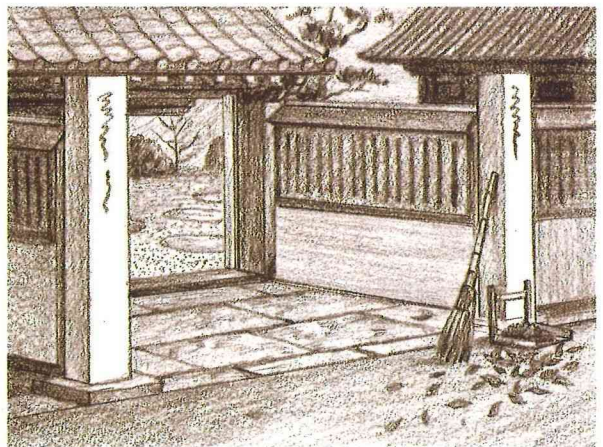
日本のエネルギーの大半が石炭で賄われていた明治初期から昭和30年代半ばまで、夕張市は人口12万人を超え、地方の中核都市としてその機能を果たしていた。

今日の破綻は、その後の市政の方向転換の過ちが大きな負担となったものであると言っても過言ではないだろう。そこに暮らす市民のライフライン、医療、教育に関しても負担増が如実に現実化し、更に市民の土地離れが進むという悪循環。

今では人口1万2千人を割り込んだ。夕張メロン以外これといったブランド、産業のないこの街の再生は、これから先、現実の厳しさのみがうかがわれる。

そんな中、この地にゆかりのある有名芸能人、スポーツ選手や北海道出身の大物歌手たちが続々と夕張を訪れ、イベントを開催し支援している。

今年9月、U-10（10歳以下）対象の「札幌わかばライオンズクラブ杯・日刊スポーツゆうばり少年サッカーフェスティバル」が夕張市で行われた。これは、北海道を活気付かせるために、日刊スポーツ新聞社が各地で開催している大会の一つ。札幌でも昨年、U-15（15歳以下）を対象にした大会が開催され、我がクラブはこれに協賛し、「札幌わかばライオンズクラブ杯」として成功させていた。その実績から、今回夕張中央ライオンズクラブにもご協力頂き、昨年に続き協賛することを決定した。

我がクラブは結成して3年、会員25人の小さなクラブである。この大きな青少年育成事業に若干の不安を感じながらも、会長の強い意志を支えようと全員が団結した。

この大会は15日～17日の3日間、夕張市平和運動公園で開催された。初日は、朝から小雨模様。我々が夕張市に到着した頃には本降りになり、深緑の樹間に霧が立ち込めて、これから先の空の具合が心配になる。

運営する日刊スポーツ新聞社の面々も間もなく始まる開会式、トーナメント第1試合をすべて35分に短縮して決行することとなり、試合時間を心配する。結局初日は、試合時間をすべて35分に短縮して決行することとなり、参加32チ

ームを大会本部席前に集結させた。

この大会には、札幌、小樽、江別、岩見沢、苫小牧などから800人の選手が登録。父母やチーム関係者等を合わせると2千人を超す人が、夕張の街を元気にするため、この地に集まったことになる。北の大地の小さな街に温かい友情の輪が広がった。3日間の大会期間中、夕張市内のホテルに12チームが宿泊し、近くの商店街にも少なからず経済効果をもたらした。

大会2日目の16日には雨も上がり、青空がのぞく絶好のスポーツ日和となって、スケジュールは順調に進行した。

最終日、滝澤嘉門地区ガバナー、広田聡キャビネット幹事、河口一廣キャビネット副会計、そして夕張出身の札幌すずらんライオンズクラブ金子均会長が大会本部を訪れて我々をねぎらってくれた。ガバナーは開口一番、会場周辺の環境の良さに驚かれ、子どもたちの一生懸命さに目を細め、「すばらしいアクティビティだね」と声を掛けてくれた。この一言がどれだけ我々を勇気づけたことか。

本大会決勝戦である札幌ジュニアFCと北小樽サッカースポーツ少年団の試合は、決勝戦にふさわしい一進一退のゲームとなった。2対2のまま延長戦でも決着がつかず、PK戦の末、サドンデスでようやく北小樽が札幌を制しチャンピオンとなった。

1個のボールで仲間のイレブンと心通わせ懸命にゴールを目指す子どもたち。大声で指示を出す監督、コーチ、そして応援する父母たちの必死さがひしひしと伝わる最高のゲームであった。

この一つの大会で、夕張市とサッカー少年たちに希望と夢を持たせることが出来たかどうかは分からない。しかし、これからもこの事業を継続していきたいと願っている。

（印刷業・62歳）

出雲の神様の縁結び

荒木　八洲雄（島根県・松江湖城）

「人と人の縁」これ程貴重な間柄（結び）はありません。出雲の縁結びの神様の実に見事なさばきもあれば、ややこしい人生の綾もあり、神様もまとめられるのは、なかなか大変なのではと推察します。

かく言う私共夫婦の縁結びもまた、ひと味違うものでありました。
思い起こせば懐かしい、今からざっと60年も前のこと——。
海軍航空隊ナンバーワン劣等生の小生、すかさず島根県警に拾われて、若い20歳のお巡りさん。配置は、当時日本初の交通巡査でした。場所は松江市のどまん中にある、人通りの多い朝日町交差点の中央で、ちっちゃなボックスの上に突っ立っての交通整理の日々でした。

当時の交通整理は、イギリス進駐軍（当時は英印軍）のターバンを巻いた兵隊さんの指導の下、手信号で車や人をさばいておりました。まさに戦後日本の交通お巡りのルーツです。
予科練上がりということもあって、特攻隊張りの白いマフラーをたなびかせ、それこそ、さっそうと手振り脚振りで巧みに整理している姿は、交差点を往き来する人（特に女学生を始め若い娘さん）にはもてたものです。
ところが、私は一風変わっていました。その交差点の近くの造船所に勤める女事務員さんに目を向け、一途にその娘さん（現在の愛妻）に注目していたのです。
その辺りが、出雲の神様の引き合わせでありましょうか、当時のごく薄っぺらな映画雑誌を手渡すところから赤い糸がだんだんと太くなり、ついに相思相愛。昭和22年に結婚し、50有余年。金婚式を超えてダイヤモンド婚式とやらへ——。
私は、縁結び程、不思議な巡り合わせは無いとつくづく思います。
幸いにして現在、私たちは夫婦円満、仲良しカップルとして日々楽しく健康に送っています。俗に「内助の功」と言いますが、妻は、優しい気配りで温かく包んでくれ、最高の伴侶だと感謝しています。また、3人の子宝にも恵まれ、おのおの立派に成人。しっかりと家庭を営んでくれ何よりです。
私は妻に、二つの勲章を授けたいと思います。一つは立派な思いやりの「内助の功労賞」もう一つは「3人の子宝賞」です。
今ではお互いにライオン、ライオン・レディーとして、松江湖城ライオンズクラブの最古参、最高齢であります。生涯現役として若いライオンの皆さんに人生のアドバイスをし、夫婦仲良しの範となって、万事のコンサルタントをしながら、ご恩返しの日々を送っていきたいと思っています。
「ウィ・サーブ！」

（無職・80歳）

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

秋澄むや筑波の嶺に二神あり　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

（評）筑波山は茨城県中西部、関東平野にそびえる山。山頂は二峰に分かれ、男体山（八七〇メートル）の頂に筑波大神（伊弉諾尊）、女体山（八七七メートル）の頂に筑波女神（伊弉冉尊）が祀られ、南西の中腹に拝殿のみの筑波神社がある。平野の中央に立つので、山容は周辺のどこからでも見えるが、とくに秋は大気が澄んで、筑波嶺の二神も間近に見える。

蒸気噴く昭和新山雁渡る　（愛知県・南知多）内田　白花

（評）昭和新山は北海道洞爺湖南岸有珠山の東麓に生じた側火山。標高四〇二メートル。一九四三年（昭和十八）十二月から一九四五年九月にかけて、溶岩に押し上げられた土地が隆起、その上に噴火により溶岩円頂丘が形成された。天然記念物に指定されている。いまも蒸気を噴き上げ、その上を雁が渡っている。

■２００８年１月号から実施する本誌のリニューアルに伴い、「俳壇」は本号をもって終了致します。
長らくご愛読、ご投句を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

【入選】▼

秋天へ飛天の舞のこふのとり　（埼玉県・大宮中央）尾形　康夫

亡き母の手あと匂へり古団扇　（富山県・となみ東）斉藤　譲一

もてなしのまづ先付の菊膾　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

仲秋の仰ぎし名月今朝西に　（兵庫県・和田山）北垣　正幸

散策の風透き通る湖の秋　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

新涼の風月食を窓辺より　（大阪夕陽丘）角野　慶子

まなかひに大和三山豆を引く　（大阪夕陽丘）北川　匡子

小鳥来る午后には晴るる予感して　（大阪夕陽丘）田中　一栄

コンバイン刈田匂へるただ中に　（滋賀県・志賀堅田）小笹　均

大富士を降りて下界の暑さかな　（京都鴨川）松井　昭男

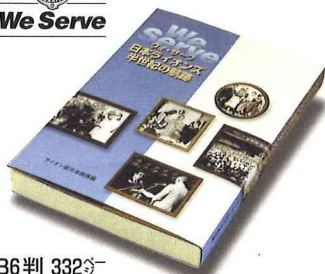
眠らざる八尾坂町風の盆　（奈良）小林　成子

瀬戸の海秋夕焼けをフェリー行く　（大阪府・東大阪）木村　稔

空海の山に声明朝寒し　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　洋蔵

蟷螂の鎌上げしまま枯れてをり　（香川県・長尾）鶴居　健

郷帰り父母の名並ぶ彼岸墓　（大分県・四日市大分）酒井猪一郎

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

乱れなく形とどめて燃え尽きる蚊取線香うづまきのまま
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

（評）夏の夜の一隅で、蚊遣りの火が紅を点じて、綿々と渦巻き状に燃えうつってゆくのは、情感をそそるものである。一夜を経て、蚊取線香は燃え尽きてもなお「乱れなく形」をとどめ「うづまきのまま」あるところに、作者は感動を覚えたのであろう。短歌の素材は、注意して見れば日常身辺にある。それを一首に仕立てることで、日常のものが思わぬ姿を見せるのである。今月でこの歌壇は最後となるが、皆さんの抒情が燃え尽きることはない。渦巻状に綿々と、そして螺旋状に上昇されることを祈っている。

【入選】▼

団十郎の名は負はねども朝な朝な藍の見得切る大き朝顔
（青森県・弘前）岩間　甫

同心の地球と月のずれはじめ月に写れる地球の丸み
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

雨にぬれ枝垂るる真紅の百日紅ことしの花は烈しさのなき
（新潟八千代）荻島　俊雄

台風のあとの増水に揉まれつつ流れにしたがふ葦の乱れの
（栃木県・小山西）大森由紀子

そよ風に仕舞い忘れし風鈴の秋を知らせる音も淋しく
（岐阜県・大垣水都）小玉　啓一

奉仕の心述べいる夫の肩越しの落日淡し能登上布（じょうぶ）着る吾（あ）にも
（石川県・羽咋）竹津　弘子

日は西に暑さもそよ風蝉しぐれ窓辺に別れの蝉をみるなり
（兵庫県・和田山）北垣　正幸

若き人と争ふよりも黙しをり戦の日々の遥けき会議
（兵庫県・山崎）竹田　長司

空の色確かめむとて鰡跳ねる秋夕焼の茅渟の海
（大阪府・東大阪）木村　稔

電話にて早期退職伝えくる友の声少しトーンの高し
（大分県・中津沖代）松本　達雄

■２００８年１月号から実施する本誌のリニューアルに伴い、「歌壇」は本号をもって終了致します。長らくご愛読、ご投歌を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

遮断機の向こうは恥が積んである
（青森県・八戸中央）大久保健峰

（評）行く手を阻んだ遮断機を持ち上げようとしたことがある。頑として動かない。「通さないぞ」という強固な意志が手に伝わってきて諦めた。その先には、絶対に見せては触れさせてはならないものがあるようだ。ふりかえれば、私自身が、その遮断機になることがある。そこで引きさがるのが、武士の情けというものであろうか。

郷愁がじっと佇む跨線橋
（青森県・弘前チェリー）波多野祥二

（評）猛烈に故郷を想うことがある。今すぐにでも、故郷に帰りたいと思うことがある。誰もが知っている「誰か故郷を想わざる」とか「帰ろかな」とか「夕焼け雲」とか、流行歌だけを拾っても、望郷の歌は数限りない。その念が生じるのは特に失意の時であり、一日のうちでは夕暮れどきだ。跨線橋に佇んで一人涙する。故郷の母も夕日を見ているか。

■２００８年１月号から実施する本誌のリニューアルに伴い、「柳壇」は本号をもって終了致します。
長らくご愛読、ご投句を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

【入選】▼

傾くとみんな他人の顔をする
（青森県・五所川原）坂本　憲昭

言い勝って安定剤の世話になる
（青森県・弘前中央）髙橋　敬

コメ輸出日本銘柄誇り持て
（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

買う気などない松茸の香りかぐ
（岩手県・水沢中央）千葉　行平

お達者と言われて老いが滲みてくる
（新潟県・五泉）金子　昭三

円周率元に戻って真ん丸に
（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

腹時計だけで暮せる老いひとり
（千葉県・東庄）藤﨑　久男

ブレーキ痕想い出せずに二日酔
（長野県・塩尻）黒須　俊男

貧乏くじ自ら買って出て当り
（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘胤

達筆で粗品と書いて粗品来る
（京都鴨川）栩谷　四朗

土饅頭うそもまるめる老夫婦
（京都府・宇治）佐藤　正昭

鈴虫が水琴窟でコンクール
（鳥取県・倉吉打吹）尾﨑　明友

柏手を打って追加の酒を待つ
（鳥取県・倉吉打吹）田原隆之助

耳だけは年をとれない調律士
（鳥取県・倉吉打吹）谷田　朋子

続編に託す未完の夢を描く
（宮崎橘）井上　忠一

MY BEST SHOT

選：河相正名（日本写真家協会会員）

畔柳東一
愛知県岡崎竜城
[みのり]

●選評

実りの秋真っ盛り、見ているだけで心が豊かになってくる。稲を守るための網と竹竿が画面の3分の2を占め、秋の到来をダイナミックに演出している。カメラポジションを稲穂の上スレスレにし網を頭上まで張り巡らせ、遠景の森を黒くし網を光らせた構成が成功している。穂の中にある赤い彼岸花も程よいアクセントとなった。

優秀作

中野喜行　福島県白河小峰
[熊の滑り台]

吉田幸蔵　愛知県江南
[ミツバチ]

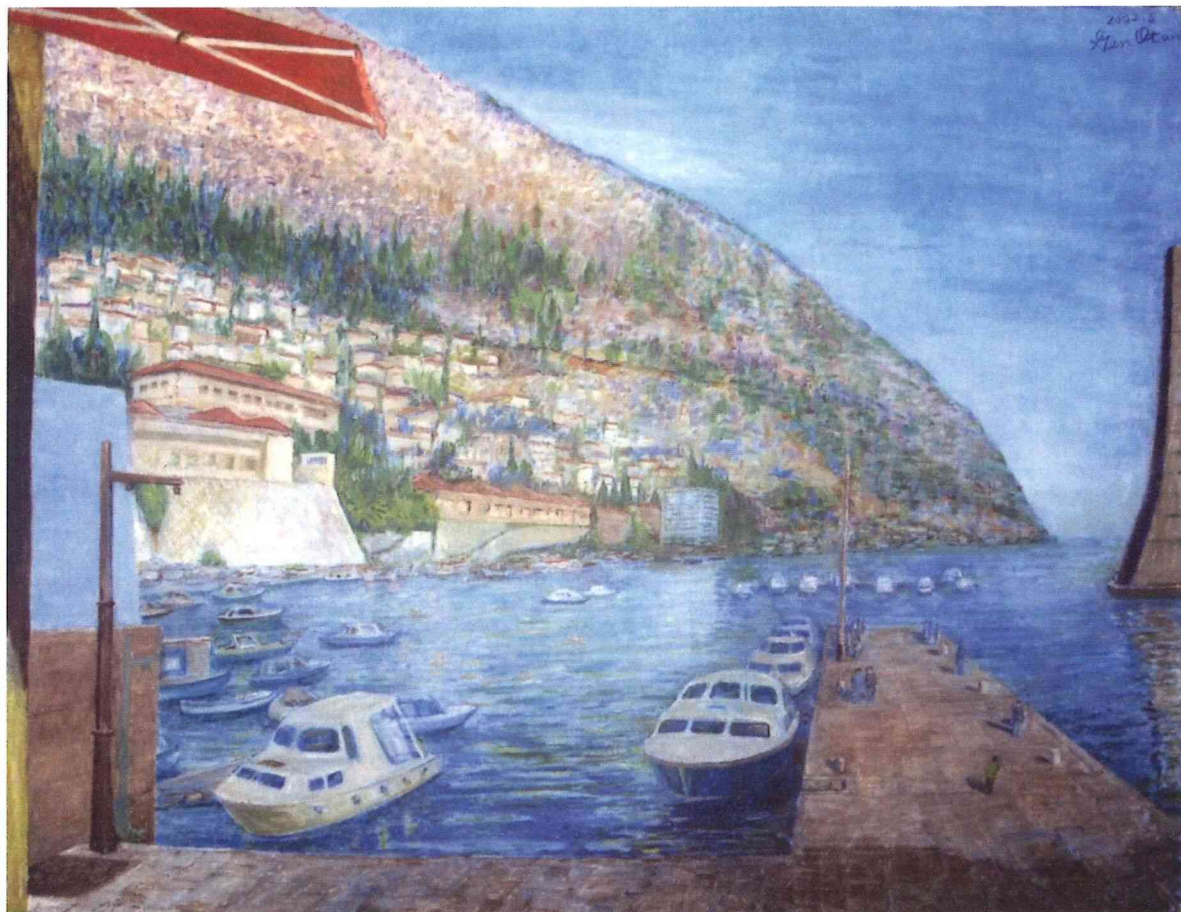
岩佐清　岐阜県高山
[ハイ、チーズ]

山野智要之亮　広島あさひ
[蕎麦咲く農村]

入選

横内孟　山梨県南アルプス［桜下の石仏］
木村文丸　青森県弘前［初秋］
尾山剛　愛知県幸田［象の行進］
山田武夫　愛知県名古屋樟［風雲急］
安藤正一　愛知県豊田［人形使い］
成瀬正幸　愛知県豊田［鮎焼き］
西田千恵子　岐阜県高山［秋の祭り］
松下正治　大阪梅田新道［散策］
高山勇　和歌山県富田川［祭り］
吉野耕司　京都府宮津［夫婦協和］
菊野善之助　愛媛県松山ホスト［ネムの花］
重藤一美　広島県甲山［鉄馬飛翔］
上野春夫　広島県三原［御陣乗太鼓］

■2008年1月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「マイ・ベスト・ショット」は本号をもって終了致します。長らくご愛読、ご投稿を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

「ドゥブロヴニクの小港」油絵50号

大谷源太郎
群馬県
高崎中央ライオンズクラブ
店舗設計施工

海を懐にしたドゥブロヴニクを「アドリア海の宝石」と称した人たちがいた。昨年末、東欧を訪れた時、この話を聞いてたまらずスロベニア、クロアチアを旅行することにした。

スロベニアからクロアチアの海岸をドゥブロヴニクまで約450キロ。海の幸に恵まれたこの土地に誰もが注目するのは当然のことで、往事のヴェニス政権、ビザンチン帝国、遠くモンゴルまでもが攻め込んできたことが歴史に刻まれている。

この国は数年前、恐ろしい内戦などを経験し、彼ら彼女らの瞳の底には人への疑心の気配を感じざるを得なかった。にもかかわらず陽光の降り注ぐアドリア海と背景の山脈が織りなす姿は、良港を持たないイタリア東海岸の分まで幸を凝縮させているようにさえ思えた。

（おおたに　げんたろう・73歳）

■2008年1月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「ライオンズ・ギャラリー」は本号をもって終了致します。長らくご愛読、ご投稿を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

読者から

自転車が人の命を救うとは！

●自転車が、自宅近くに放置されているのをよく見掛けます。その自転車が、他国では多くの人の命を救うことが出来るなんて（「放置されていた自転車が、命を運ぶ足になる」10月号THEME）。恵まれた日本では想像もつきません。お金は均等に渡ったらよいですね。

静岡県・豊田●鈴木登美子

ラッシュの夏

●「ライオンズクエスト2007ワークショップ・ラッシュの夏」（10月号ピックアップ）を読んで、ワークショップが夏休み期間の7、8月に全国20カ所で開催されたことを知った。また、335-D地区が校内型ワークショップ開催にこぎつけたとあり、興味を持った。

山口県・豊北●安部三雄

四万十川の景色

●10月号は写真が印象的でした。まず、表紙の赤い花（マンジュシャゲ）、「SCENE」の阿波踊りの人など……。中でもいちばん良いと思ったのは「ふるさと探訪」の写真。四万十川に飛び込もうとしている子どもの姿と川の色味を見て、気持ちがすきっとしました。夏の色と秋の色とが楽しめました。

秋田県・大曲●佐藤俊夫

例会に親を招いて親孝行

●10月号こころのチキンスープ「クラちゃん、それはあかんよ」はいい話でした。家族例会の時、奥さんがいない方は、親を呼んで親孝行……本当にこんな発想もあったんですね。全く思いつきませんでした。

岡山ひかり●白金史郎

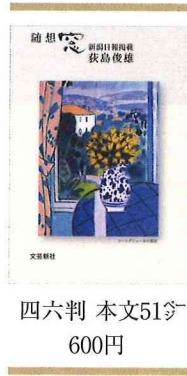
貧困に胸が痛む

●10月号の築地通信に載っていた、NGOの国際会議で、アフリカから参加した女性の話にとても胸が痛みました。私も実際に9年前、フィリピンで奉仕活動をしたことがあるのです。貧しいのに、現地の子どもから帰りに（たった一つですが）アメをもらって泣いてしまいました。帰国後、ゲームに熱中している我が子を見て「本当に同じ地球の子どもなのか！」と悲しくなり、カツを入れました。

和歌山県・新宮●広里嘉一

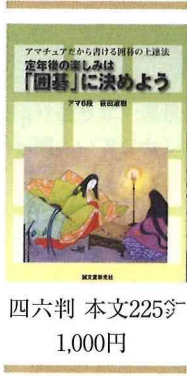
クラブ会員刊行物

●随想「窓」

著者／荻島俊雄（新潟八千代）発行／文芸新社（TEL025-265-2774）

新潟日報「窓」欄に掲載された随想をまとめた。

四六判 本文51ページ
600円

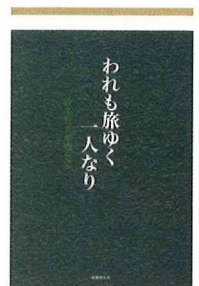
●定年後の楽しみは「囲碁」に決めよう

著者／荻田淑樹（兵庫県・神戸シニア）発行／誠文堂新光社（TEL03-5800-5780）

アマチュアが、同じアマチュアの目線で教える囲碁の上達法。

四六判 本文225ページ
1,000円

●われも旅ゆく一人なり

著者／波多野五楽庵（ライオン波多野祥二／青森県・弘前チェリー）発行／新葉館出版（TEL06-4259-3777）

波多野五楽庵句集。人生の節目を契機に出版した。

A5判 本文59ページ
1,300円

訂正とお詫び

本誌11月号において以下のような誤りがありました。

25ページ「日本ライオンズクラブクラブ数・会員数」の表中、「333-e 茨木」は「333-E 茨城」の誤りでした。

45ページ「クラブ・リポート」で、愛知県・豊橋ライオンズクラブの報告者ライオン斎藤慎一の役職は環境保全・市民奉仕・社会福祉委員長の誤りでした。

関係各位にご迷惑をお掛けしたことをお詫びし、訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

10/25 東京恵比寿 荘 英隆
10/25 神奈川県横浜みなとマリン 小柴 登司
10/30 兵庫県神戸レインボー 団 英男

読者プレゼント

■新そばを10人の読者に

「ふるさと探訪」(49ペ) に登場した長野県・伊那ライオンズクラブから「そば処こやぶ本店」の新そばが、10人の読者にプレゼントされます。地元農家から仕入れた玄そばを石臼でひいた生手打の二八そば。新そばの豊かな香りとのどごしをお楽しみください。

そばの名産地・伊那谷は、信州そば発祥の地と言われ、毎年10月に行われる行者そば祭りでは、焼きみそと大根のおろし汁を入れた「辛つゆ」をつけて頂く「行者そば」が振る舞われます。

※写真はイメージです

EDITOR'S ROOM

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「信州そば」「紅参茶」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は12月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌事務所

ウェブサイトからの応募
www.thelion-mag.jp/modules/form1

■OSEALフォーラム土産を5人の読者に

韓国・テグで開催されたOSEALフォーラムの土産として、紅参茶を5人の読者にプレゼントします。テグでは古くから、漢方薬の材料を扱う市が開かれてきました。

高麗人参の中でもより珍重される紅参で作った健康茶。高麗人参は4、5千年も前から生薬として高く評価され、約千年前に人工栽培が始まったと言われています。栽培に6年を擁する紅参には大地の栄養が凝縮されて詰まっています。顆粒状なので飲みやすくお気軽にご利用頂けます。

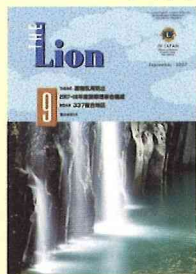
『ライオン誌』日本語版バック・ナンバー

2007年11月号

THEME：女性会員
PICK UP：新潟県中越沖地震
ふるさと探訪：福井県越前

2007年10月号

THEME：ミレニアム開発目標
PICK UP：ライオンズクエスト
ふるさと探訪：高知県四万十

2007年9月号

THEME：薬物乱用防止
2007-08年度国際理事会構成
ROAR：337複合地区

クロスワードパズル

■前回の答え

コ	ウ	シ	キ	セ	ン
ハ	ン	シ	ヨ	ク	■
ル	■	ク	■	タ	フ
ビ	ス	■	ロ	ー	ア
ヨ	■	ト	ウ	■	イ
リ	テ	ン	シ	ヨ	ン

答えは「視力ファースト」
※パズルは11月号で終了しました

次号予告

THEME 視力ファースト

世界中の失明の80％は回避出来る。ライオンズクラブは長きにわたり取り組んできた視力保護活動を地球規模で実施するために、1989年、視力ファーストをスタートさせた。ライオンズの最も野心的で成功を収めている同事業を、掘り下げて紹介する。カーター・センターとの協働によるトラコーマやオンコセルカ症撲滅への取り組み、大野重昭視力ファースト諮問委員へのインタビュー、アフリカ及びラテンアメリカでの事業例など。

インタビュー

最終年度を迎えたCSFⅡ。キャンペーンの現況と、残り半年の見通しを福井正憲国際委員に聞く。

ふるさと探訪

秋田県能代市

別名「べらぼう凧」とも呼ばれ、アッカンベーの絵柄で知られる「能代凧」。他にも歌舞伎絵や武者絵など、20種類以上の絵柄が、華やかな色彩で描かれる。風の強い能代地方では、昔から凧揚げが盛んで、江戸時代には大人、子どもを問わず、こぞって凧揚げを楽しんだという。今でも毎年4月には「能代凧揚げ大会」が開催され、舌を出したユニークな顔が空を舞う。

青少年育成事業は我々の使命

ライオン誌
日本語版委員
◉
渡邊豊隆

20年程前、スイスに旅した時のことである。郊外の住宅地をタクシーで通過中、自転車に乗った少年が飛び出してきて接触した。中年の運転手は転んだ少年を助け起こし、けがの無いことを確認。大声で少年を叱りつけゆがんだ自転車を片付けさせた。「ガシャン!」という音を聞きつけた母親が飛び出してきて、運転手と何やら話し合っている。通訳嬢に聞くと、母親は、

「日頃のしつけが行き届かず申し訳ない、車の塗装は子どもに賠償能力が無いので私が弁償し、子どもには十分注意するので勘弁してほしい」

と言い、運転手は、

「子どもをよく叱っておきなさい。車の損害は奇麗な奥さんのために無料にしましょう」

と答えていたそうだ。

けがが無かったとはいえ、日本であれば（法による運転手の前方不注意がとがめられるのはさておき）後遺症のための診断を始め、激しい親の抗議に遭うなど、前例のようなことはまず考えられない。

日本の現代社会においては自と他の意識が失われ、何事（特に教育に関して）も責任転嫁の風潮が著しく感ぜられる。60年ぶりに改正された教育基本法がうんぬんされるのもむべなるかなである。

およそ教育は学校教育、家庭教育、社会教育から成り立っている。学校教育では「智育」を、家庭教育では「徳育」を、社会教育ではそれらを総合実践する教育である。

教育は国家百年の大計であり、ライオンズクラブの創始者メルビン・ジョーンズもボーイスカウト、ガールスカウトの育成援助を示唆している。我々が長年YE活動を、はたまた薬物乱用防止を奉仕の重点にしているゆえんである。

前年度、全日本規模で開催された薬物乱用防止全国大会で谷村新司さんは、「母の子守唄で育った子どもたちを、薬物から守るのは大人の務めである」と訴えた。青少年の社会教育に奉仕することはライオンズクラブの大きな使命であろう。

Official publication of Lions Clubs International.

We Serve

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

ライオン誌12月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2007年（平成19年）11月20日発行　毎月1回20日発行　第50巻第6号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　Tel（03）3542-9571　印刷所　凸版印刷株式会社

皆さんは、ある女性がすべてのドアを一度だけノックする機会を与えられ、
ドアがすぐ開かないと死んでしまい、永遠に帰れなくなるという伝説を聞いたことがあると思います。
私はあなた方にとってのその機会なのです。私はあなた方のドアをノックしています。
私は奉仕のための素晴らしい機会をいっぱい差し上げることが出来ます。
ライオンズの皆さん、盲人のために暗闇と戦う十字軍の騎士になってくださいませんか？

ヘレン・ケラー

1925年7月、オハイオ州サンダスキーにおけるライオンズクラブ国際大会にて

視力ファーストⅡキャンペーン

世界中から予防可能な失明をなくすために